

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 9 月		工事概要	施工延長L=14.0m	
契約番号	2026000744			道路土工 N=1.0式	
路線名	押釜・馬場線			擁壁工 N=1.0式	
工事等名	道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事			カルバート工 N=1.0式	
				舗装工 A=73.3m2	
工事等場所	南相馬市原町区馬場字川原田 地内		排水構造物工 L=4.5m		
総工事費	当初請負		仕様概要	構造物撤去工① N=1.0式	
	当初設計			構造物撤去工② N=1.0式	
	変更請負			仮設工 N=1.0式	
	変更設計			交通誘導警備員B N=56人	
1. 設計図書及び福島県土木工事共通仕様書に準じ入念に施工すること					
2. 詳細は監督員の指示による					
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2026000744)		
道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (押釜・馬場線3号橋) 工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
道路土工		
法面工		
擁壁工		
カルバート工		
舗装工		
排水構造物工		
構造物撤去工①		
構造物撤去工②		
仮設工		
交通安全施設工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計 (税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕 (押釜・馬場線3号橋) 工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には √ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲：予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

位置図

道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事

施工箇所



凡 例

0 1000 2000 3000 4000
1:50,000

原町市

総 括 情 報 表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	00 市 町 村 実施設計書 当初 20260000609 0 1 実施単価 71 S（相双 1）地区 00-08.09.01(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 土木工事 20260000609道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 I C T 施工補正 復興係数（共通仮設費） 復興係数（現場管理費）	40 04 道路改良 00 冬期割増なし 01 金銭的保证 06（土木）一般交通影響有り 2 00 必要無し 01 月単位 00 I C T 補正なし 01 補正あり 1. 3 01 補正あり 1. 1		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
道路改良					Y100H002672
道路土工					Y211Y002677
路肩盛土工					Y3627
路肩盛土					Y4627
埋戻し 小規模 土砂	0.2	m3			SPA181 00 施工 第0 -0001号表
法面整形工					Y3258002692
法面整形（盛土部）		m2			Y4409002694
法面整形 盛土部 法面締固めなし	23.3	m2			SPA301 00 施工 第0 -0002号表
法面工					Y211R002717
植生工					Y3200002718
張芝		m2			Y442A002724

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工（植生マット・シート工）（材料含） 植生マット工 S1（施工規模 500～1000m ² 未満）	23.3	m ²			S7044 00 施工 第0 -0003号表
筋芝		m ²			Y442B002725
法面工（植生筋・筋芝・張芝工）（材料含） 筋芝工（野芝・高麗芝） S1（施工規模 300～500m ² 未満）	2.4	m ²			S7045 00 施工 第0 -0004号表
擁壁工					Y211S002748
作業土工					Y320B002749
床掘り		m ³			Y45W5000043
床掘り 土砂 標準	102.5	m ³			SPA161 00 施工 第0 -0005号表
埋戻し		m ³			Y45W5000044
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	64.3	m ³			SPA181 00 施工 第0 -0006号表
基面整正		m ²			Y45W5000045
基面整正	29.8	m ²			SPA169 00 施工 第0 -0007号表
上流側水路摺付け工					Y3024

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
重力式擁壁工					Y4020
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設	18.8	m3			SPB401 00 施工 第0 -0008号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	33.3	m2			SPB431 00 施工 第0 -0009号表
吸出し防止材設置	8.5	m2			SPA831 00 施工 第0 -0010号表
基礎コンクリート工					Y4036
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設	1.8	m3			SPB401 00 施工 第0 -0008号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1.8	m2			SPB431 00 施工 第0 -0009号表
底版コンクリート工					Y4036
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設	3.0	m3			SPB401 00 施工 第0 -0011号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付)打設	1.2	m3			SPB401 00 施工 第0 -0011号表
止水板 止水板(塩ビ製) CF(塩ビ製) 200×5mm	8.8	m			SPA845 00 施工 第0 -0012号表
下流側水路摺付け工					Y3024

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
重力式擁壁工					Y4020
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 パツク納(クレーン機能付)打設	11.8	m3			SPB401 00 施工 第0 -0011号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	22.4	m2			SPB431 00 施工 第0 -0009号表
吸出し防止材設置	7.9	m2			SPA831 00 施工 第0 -0010号表
基礎コンクリート工					Y4036
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 パツク納(クレーン機能付)打設	1.2	m3			SPB401 00 施工 第0 -0011号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1.2	m2			SPB431 00 施工 第0 -0009号表
底版コンクリート工					Y4036
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 パツク納(クレーン機能付)打設	2.7	m3			SPB401 00 施工 第0 -0011号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 パツク納(クレーン機能付)打設	1.0	m3			SPB401 00 施工 第0 -0011号表
止水板 止水板(塩ビ製) CF(塩ビ製) 200×5mm	6.0	m			SPA845 00 施工 第0 -0012号表
カルバート工					Y2120002822

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業土工					Y33K5000021
床掘り		m3			Y45W5000126
床掘り 土砂 標準	25.2	m3			SPA161 00 施工 第0 -0005号表
埋戻し		m3			Y45W5000127
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	165.9	m3			SPA181 00 施工 第0 -0006号表
土材料		m3			Y45W5000013
購入土 良質土（ほぐした土量）	27.3	m 3			T8350 00
基面整正		m2			Y45W7000179
基面整正	28.1	m2			SPA169 00 施工 第0 -0007号表
場所打函渠工（構造物単位）					Y325F008211
函渠		m3			Y45SJ008212
函渠 24-12-25（20）-55%高炉 幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満	51.7	m3			SPA941 00 施工 第0 -0013号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工（太径鉄筋含む）－材料費含む－ 一般構造物（補正無） S 1（1工事当りの全体数量10t未満）	2.19	t			S7000 00 施工 第0 -0014号表
鉄筋工（太径鉄筋含む）－材料費含む－ 一般構造物（補正無） S 1（1工事当りの全体数量10t未満）	1.94	t			S7000 00 施工 第0 -0015号表
防護柵工					Y4036
防護柵設置工 コンクリート建込（材料含） Co 塗装 Gr-C-2B 時間的制約を受けない	18.0	m			S7012 00 施工 第0 -0016号表
舗装工					Y2124002982
アスファルト舗装工					Y3212002988
下層路盤		m2			Y4438002989
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚190mm 1層施工	75.4	m2			SPD005 00 施工 第0 -0017号表
路側材					Y4635
再生骨材（骨材）クラッシュラン RC-40	0.2	m3			T8454 00
上層路盤		m2			Y4439002990
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚100mm	73.7	m2			SPD009 00 施工 第0 -0018号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路側材					Y4635
粒度調整碎石 M-40 40~0mm	0.1	m ³			T8344 00
表層		m ²			Y443B002992
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚40mm	73.3	m ²			SPD023 00 施工 第0 -0019号表
排水構造物工					Y2121002865
側溝工					Y3215003024
プレキャストU型側溝		m			Y443G003027
排水構造物工（U型側溝）（材別） L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	4.5	m			S7140 00 施工 第0 -0020号表
U型側溝 J I S 3種落蓋型 III A i 300 A a 300×c 300×L 2000 419kg/本	3.0	本			T2000 00
側溝蓋		枚			Y44T2003028
排水構造物工（蓋版）（材別） 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	9.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0021号表
U型側溝蓋（J I S 3種落蓋型） VII C g 300 L 500 45kg/枚	9.0	枚			T4000 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工①					Y2109007112
舗装版撤去工					Y3020
舗装版破碎		m2			Y44DD004678
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	31.5	m2			SPD311 00 施工 第0 -0022号表
舗装版運搬処理		m3			Y45UX009159
アスファルト塊運搬 DID区間なし 11.5km以下	1.6	m3			SPA869 00 施工 第0 -0023号表
調整データ	1.0	調整式			#0040 A=1, B=1, C=7
As殻処分費 As殻	3.8	t			T8498 00
上・下部工撤去工					Y3036
鋼製高欄撤去		m			Y44DC004687
高欄撤去	14.0	m			SPA851 00 施工 第0 -0024号表
桁材撤去		t			Y44DE008692

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
桁1次切断・撤去 相吊クレーンなし	15.5	t			SPA863 00 施工 第0 -0025号表
撤去材運搬					Y4005
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	15.7	t			SPA084 00 施工 第0 -0026号表
建設副産物処理費					Y4035
調整データ	1.0	調整式			#0040 A=1, B=1, C=7
鋼材スクラップ処理 ヘビーH1	15.7	t			TW205 00
コンクリート構造物取壊し		m3			Y443Y009054
構造物とりこわし工（人力施工） 鉄筋構造物	0.6	m3			S7308 00 施工 第0 -0027号表
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物	25.6	m3			S7307 00 施工 第0 -0028号表
殻運搬処理		m3			Y4448009066
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	26.2	m3			SPA961 00 施工 第0 -0029号表
調整データ		調整式			#0040 A=1, B=1, C=7

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Co殻処分費 有筋	65.5	t			T8498 00
旧橋上・下部工撤去工					Y3046
旧橋上部工取壊し					Y4046
構造物とりこわし工（人力施工） 鉄筋構造物	0.1	m3			S7308 00 施工 第0 -0027号表
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物	4.4	m3			S7307 00 施工 第0 -0028号表
殻運搬 コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし 機械積込	4.5	m3			SPA961 00 施工 第0 -0030号表
調整データ	1.0	調整式			#0040 A=1, B=1, C=7
Co殻処分費 有筋	11.3	t			T8498 00
旧橋下部・護岸取壊し					Y4020
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物	20.3	m3			S7307 00 施工 第0 -0028号表
殻運搬 コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし 機械積込	20.3	m3			SPA961 00 施工 第0 -0030号表
調整データ	1.0	調整式			#0040 A=1, B=1, C=7

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Co設処分費 有筋					T8498 00
	50.8	t			
作業土工					Y3036
作業土工					Y4020
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満					SPA161 00
	98.0	m3			施工 第0 -0031号表
仮設工					Y3093
大型土のう					Y4046
大型土のう製作・設置（ラフレンス設置） 流用土 作業半径5mを超え20m以下 設置面高さ $-3m \leq H \leq 2m$					S5710 00
	13.0	袋			施工 第0 -0032号表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下 設置・撤去高さ $-3m \leq H \leq 2m$					S5705 00
	13.0	袋			施工 第0 -0034号表
単管足場					Y4024
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場 安全ネット有 ラフレンス 排ガス対策(第3基)低騒音型使用					S1940 00
	22.8	掛m2			施工 第0 -0036号表
構造物撤去工②					Y2109007112
構造物取壊し工					Y321D009053

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート構造物取壊し					Y443Y009054
		m3			
構造物とりこわし工（機械施工） 無筋構造物					S7307 00
	13.4	m3			施工 第0 -0037号表
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物					S7307 00
	0.5	m3			施工 第0 -0028号表
舗装版切断					Y4485001588
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下					SPD321 00
	11.3	m			施工 第0 -0038号表
舗装版取壊し					Y443Z009055
		m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし					SPD311 00
	36.9	m2			施工 第0 -0022号表
殻運搬処理					Y4448009066
		m3			
殻運搬 コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし 機械積込					SPA961 00
	0.5	m3			施工 第0 -0030号表
殻運搬 コンクリート（無筋）構造物とりこわし 機械積込					SPA961 00
	13.4	m3			施工 第0 -0039号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込（騒音対策不要、舗装版厚15cm以下）					SPA961 00
	1.5	m3			施工 第0 -0040号表
側溝清掃車運搬 運搬距離 9.1km					S5200 00
	0.1	m3			施工 第0 -0041号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調整データ					#0040 A=1, B=1, C=7
	1.0	調整式			
Co殻処分費 有筋					T8498 00
	1.3	t			
Co殻処分費 無筋					T8498 00
	33.5	t			
As殻処分費 As殻					T8498 00
	3.5	t			
汚泥処分					T84981 00
	0.1	t			
仮設工					Y2138007139
大型土のうエ					Y3024
大型土のう					Y4046
大型土のう製作・設置（ラフレソール設置） 流用土 作業半径5mを超え20m以下 設置面高さ H<-3m, 2m<H					S5710 00
	2.0	袋			施工 第0 -0043号表
大型土のう撤去（再利用） 作業半径 6mを超え20m以下 設置・撤去高さ H<-3m, 2m<H					S5705 00
	2.0	袋			施工 第0 -0044号表
大型土のう撤去 作業半径 6mを超え20m以下 設置・撤去高さ H<-3m, 2m<H					S5705 00
	2.0	袋			施工 第0 -0045号表
水替工					Y324V005101

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ排水					Y44B1007207
		日			
ポンプ運転 常時排水 排水量 0以上 120未満	28.0	日			S5620 00 施工 第0 -0046号表
ポンプ据付撤去工	2.0	箇所			S5621 00 施工 第0 -0049号表
仮水路工					Y3290007236
仮設排水管設置					Y4036
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 据 付 高密度ポリエチレン管 φ600無孔管	18.0	m			S5400 00 施工 第0 -0051号表
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 撤 去 高密度ポリエチレン管 φ600無孔管	18.0	m			S5400 00 施工 第0 -0052号表
交通安全施設工					Y2017
交通安全施設工					Y3017
交通誘導警備員					Y4019
交通誘導警備員B [0.907]	56.0	人			R0900 00
直接工事費					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0016

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全費						Z0008
			式			
工事名標示板費						Y2YK2007379
			基			
工事名標示板加算額						S9990 00
		2.0	基			施工 第0 -0053号表
共通仮設費（率）						Z0009
			式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
			式			
工事原価						
一般管理費						
			式			
工事価格						
工事価格（まるめ）						
消費税等相当額						
			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0017

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事費計						

施工パッケージ内訳表

頁0-0018

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 小規模 標準単価： 4,063.8 機械構成比： 8.87% 労務構成比： 87.15% 材料構成比： 3.98% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0-0001号表 1 m3	
MA204 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		8.27%	TPMA204 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次	
MC271 タンバ及びランマ [ランマ] 質量 60～80kg		0.60%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 [0.842]		50.03%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.35%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手(特殊) [0.788]		17.77%	TPR0120 運転手(特殊)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		3.14%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.84%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5 上記以外(小規模) B=1 土砂 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

施工パッケージ内訳表

頁0-0019

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
法面整形 SPA301 盛土部 標準単価： 453.58 機械構成比： 11.87% 労務構成比： 75.95% 材料構成比： 12.18% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0002号表 1 m2	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	K9203	11.87%	バックホウ [クローラ型] 賃料	TPK9203
普通作業員 [0.842]	R0030	33.62%	普通作業員	TPR0030
運転手 (特殊) [0.788]	R0120	28.67%	運転手 (特殊)	TPR0120
土木一般世話役 [0.753]	R0010	13.66%	土木一般世話役	TPR0010
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	12.18%	軽油 1.2号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				
A=1 盛土部 B=2 法面締固めなし C=2 現場制約なし D=2 は質土、砂及び砂質土、粘性土 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-①-4				

施 工 内 訳 表

頁0-0020

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工（植生マット・シート工）（材料含） S7044 植生マット工 S1（施工規模 500～1000m2未満）	1	m2			施工 第0 -0003号表
法面工（人力施工による植生工） 植生マット工 肥料袋付 週休二日月単位 補正係数1.01	1.000	m2			TA151
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 植生マット工 B=2 S1（施工規模 500～1000m2未満） C=2 時間の制約を受けない D=1 土木工事標準積算基準 VI-2-④-4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
法面工（植生筋・筋芝・張芝工）（材料含） S7045 筋芝工（野芝・高麗芝） S1（施工規模 300～500m2未満）	1	m2			施工 第0 -0004号表
法面工（人力施工による植生工） 筋芝工 野芝・高麗芝 週休二日月単位 補正係数1.01	1.000	m2			TA155
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 筋芝工（野芝・高麗芝） B=2 S1（施工規模 300～500m2未満） C=2 時間の制約を受けない D=1 土木工事標準積算基準 VI-2-④-4					

頁0-0021

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0022

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 最大埋戻幅1m以上4m未満 標準単価： 2,025.1 機械構成比： 9.29% 労務構成比： 82.13% 材料構成比： 8.58% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0-0006号表 1 m3	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3) K9203		7.79%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
振動ローラ (ハンドガイド式) 0.5-0.6t K2600		1.41%	振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料 TPK9805	
タンバ及びランマ 60~80kg K2620		0.09%	タンバ賃料 TPK2620	
普通作業員 [0.842] R0030		40.17%	普通作業員 TPR0030	
特殊作業員 [0.780] R0020		26.27%	特殊作業員 TPR0020	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		15.69%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		8.45%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
レギュラーガソリン スタンド T0240		0.13%	ガソリン レギュラー スタンド TPT0240	
*** 単位当たり ***				
A=3 最大埋戻幅1m以上4m未満 E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

20260000609

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
基礎整正 SPA169 標準単価： 508 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0007号表 1	m2
普通作業員 R0030 [0.842]		100.00%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-7				

施工パッケージ内訳表

頁0-0024

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 27,663 機械構成比： 3.88% 労務構成比： 16.39% 材料構成比： 79.73% 市場単価構成比： 0.00%	コンクリートポンプ車打設		施工 第0-0008号表 1	m3
MC316 コンクリートポンプ車 [トラック架装] ブーム式		3.85%	TPMC316 コンクリートポンプ車 [トラック架装] ブーム式	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.53%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		2.91%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.76%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		1.75%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T8600 生コンクリート ② 18-8-40-60%		78.96%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.77%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=1 コンクリートポンプ車打設 D=1 10m3以上100m3未満 E=2 一般養生 F=1 延長無し				
K=2 高炉 L=13 18-8-40-60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用				

20260000609

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0025

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				
*****	*****	*****	*****	*****
型枠 SPB431 一般型枠 標準単価： 10, 100 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	鉄筋・無筋構造物		施工 第0 -0009号表 1 m2	
型わく工 [0.882] R0260		46.66%	型わく工 TPR0260	
普通作業員 [0.842] R0030		25.14%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		9.51%	土木一般世話役 TPR0010	
*** 単位当たり ***				
A=1 一般型枠 B=1 鉄筋・無筋構造物 C=1 土木工事標準積算基準 II-4-②-2				

頁0-0026

標準單価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0027

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 36.531 機械構成比： 3.50%	バックホウ(クレーン機能付)打設 3.50%	34.96%	施工 第0-0011号表 1 材料構成比： 61.54%	m3 0.00%
K9205 バックホウ [クローラ型・クレーン機能付] 2.9 t 吊 山積 0.8 m3 (平積 0.6 m3)		3.31%	TPK9205 バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料	
R0020 特殊作業員 [0.780]		10.07%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.842]		9.38%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		7.04%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		6.40%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T8600 生コンクリート ② 18-8-40-60%		59.80%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.65%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=3 バックホウ(クレーン機能付)打設 E=2 一般養生 K=2 高炉 L=13 18-8-40-60%				
M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
止水板 SPA845 止水板(塩ビ製) 標準単価： 2,958.6 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 55.88% 材料構成比： 44.12% 市場単価構成比： 0.00%	C F (塩ビ製) 200×5mm		施工 第0 -0012号表 1	m
普通作業員 [0.842] R0030		41.22%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		14.66%	土木一般世話役 TPR0010	
塩ビ止水板 C F 200×5mm T0888		44.12%	塩ビ止水板 C F 200×5mm TPT0888	
*** 単位当たり ***				
A=1 止水板(塩ビ製) B=1 C F (塩ビ製) 200×5mm C=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-2-⑩-3				

施工パッケージ内訳表

頁0-0029

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
函渠 SPA941 24-12-25 (20) -55%高炉 標準単価： 61.873 機械構成比： 1.13% 労務構成比： 65.05% 材料構成比： 33.82% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0013号表 1 幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満	m3
MC316 コンクリートポンプ車 [トラック架装] ブーム式		0.81%	TPMC316 コンクリートポンプ車 [トラック架装] ブーム式	
R0260 型わく工 [0.882]		21.40%	TPR0260 型わく工	
R0030 普通作業員 [0.842]		15.18%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		5.01%	TPR0010 土木一般世話役	
R0270 とび工 [0.864]		3.52%	TPR0270 とび工	
T8700 生コンクリート ⑫-2 24-12-25 (20) -55%		33.63%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.14%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
B=2 幅:2.5以上4.0以下かつ高さ:1.0以上2.5未満 C=1 一般養生・特殊養生(練炭、ジェットヒータ) D=2 基礎砕石なし E=1 均しコンクリートあり F=1 目地・止水板あり				
G=1 延長無し H=2 高炉 I=21 24-12-25 (20) -55% J=1 小型車割増なし K=1 冬期割増なし				

施工パッケージ内訳表

頁0-0030

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0031

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工（太径鉄筋含む） S7000 一般構造物（補正無） S 1（1工事当りの全体数量10t未満）	1	t	—材料費含む—		施工 第0 -0014号表
鉄筋工 加工・組立共（材料費含まず） 一般構造物 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	t			TA011
異形棒鋼 SD345 D16～D25 小口	1.030	t			T033D
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 一般構造物（補正無） B=2 S 1（1工事当りの全体数量10t未満） C=2 時間的制約を受けない D=2 トンネル内作業 無 E=2 法面作業 無					
F=12 異形棒鋼 SD345 D16～D25 G=1 太径鉄筋の割合 10%未満（補正なし） H=2 夜間作業 無 I=2 鋼材（小口）（5t以下） J=1 土木工事標準積算基準 VI-2-①-2					

施 工 内 訳 表

頁0-0032

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工（太径鉄筋含む） S7000 一般構造物（補正無） S 1（1工事当りの全体数量10t未満）	1	t	—		施工 第0 -0015号表
鉄筋工 加工・組立共（材料費含まず） 一般構造物 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	t			TA011
異形棒鋼 SD345 D13 小口	1.030	t			T033C
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 一般構造物（補正無） B=2 S 1（1工事当りの全体数量10t未満） C=2 時間的制約を受けない D=2 トンネル内作業 無 E=2 法面作業 無					
F=11 異形棒鋼 SD345 D13 G=1 太径鉄筋の割合 10%未満（補正なし） H=2 夜間作業 無 I=2 鋼材（小口）（5t以下） J=1 土木工事標準積算基準 VI-2-①-2					

施 工 内 訳 表

頁0-0033

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0034

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚190mm 標準単価： 1,289.3 機械構成比： 5.72% 労務構成比： 18.33% 材料構成比： 75.95% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0017号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		3.95%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.49%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.49%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		8.06%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		2.95%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.63%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		2.16%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材（骨材）クラッシャラン RC-40		74.21%	TPT8321 クラッシャラン C-40	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		1.50%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

施工パッケージ内訳表

頁0-0035

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0036

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤（車道・路肩部） SPD009 粒度調整碎石 標準単価： 637.83 機械構成比： 11.57% 労務構成比： 37.08% 材料構成比： 51.35% 市場単価構成比： 0.00% 全仕上り厚100mm			施工 第0 -0018号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		7.99%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス2014	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		1.00%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.99%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		16.31%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		5.97%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		5.32%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		4.37%	TPR0010 土木一般世話役	
T8344 粒度調整碎石 M-40 40～0mm		47.84%	TPT8345 再生粒度調整碎石 RM-40	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		3.03%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

20260000609

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0037

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0038

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 3.0m超 標準単価： 1,808.7 機械構成比： 1.38% 労務構成比： 10.17% 材料構成比： 88.45% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚40mm		施工 第0 -0019号表 1	m2
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		0.88%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.14%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.13%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		3.66%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		2.06%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.03%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		0.73%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度（13） 最大粒径13mm		80.70%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（20）	
T0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライム用、PK-4 タック用		7.17%	TPT0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローラー（パトロール給油）		0.49%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	

20260000609

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0039

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工 第0 -0020号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約 無 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	m			TDG03
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 L=2000mm 1000kg/個以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 側溝長さ標準 E=1 施工場所による補正無し					
F=1 基礎碎石を使用する（又は再利用撤去作業） G=2 再利用撤去無 H=1 土木工事標準積算基準 VI-1-⑥-2					

排水構造物工（蓋版）（材別） S7142 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1	枚			施工 第0 -0021号表
蓋版 機・労 昼間単価 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚以下 時間的制約 無 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	枚			TDG50
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=2 40を超え170kg/枚以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 施工場所による補正無し E=2 再利用撤去作業でない					
F=1 土木工事標準積算基準 VI-1-⑥-2					

施工パッケージ内訳表

頁0-0041

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 7スファルト舗装版 標準単価： 217.37 機械構成比： 12.85% 労務構成比： 81.24% 材料構成比： 5.91% 市場単価構成比： 0.00%	障害等なし		施工 第0-0022号表 1	m2
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 KQ049		12.85%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPKQ049	
土木一般世話役 R0010 [0.753]		29.54%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) R0120 [0.788]		27.52%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 R0030 [0.842]		24.18%	普通作業員 TPR0030	
軽油 T0250 ミニローリー (パトロール給油)		5.91%	軽油 TPT0250 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 7スファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 IV-3-②-2				

頁0-0042

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0043

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
高欄撤去 SPA851 標準単価： 1,549.1 機械構成比： 5.42% 労務構成比： 93.02% 材料構成比： 1.56% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0024号表 1	m
トラック [クレーン装置付] MA443		5.42%	トラック [クレーン装置付] TPMA443	
溶接工 [0.835] R0250		33.35%	溶接工 TPRA065	
特殊作業員 [0.780] R0020		27.89%	特殊作業員 TPR0020	
土木一般世話役 [0.753] R0010		15.26%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		14.23%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		1.56%	軽油 1. 2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 土木工事標準積算基準 II-2-⑱-5				

施工パッケージ内訳表

頁0-0044

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
桁 1 次切断・撤去 SPA863 標準単価： 9,181.2 機械構成比： 18.28% 労務構成比： 81.72% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	相吊クレーンなし		施工 第0 -0025号表 1	t
ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25t吊 K2535		18.28%	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ] 賃料 TPK2535	
溶接工 R0250 [0.835]		28.33%	溶接工 TPRA065	
特殊作業員 R0020 [0.780]		23.70%	特殊作業員 TPR0020	
土木一般世話役 R0010 [0.753]		12.99%	土木一般世話役 TPR0010	
普通作業員 R0030 [0.842]		10.65%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 B=2 E=1 相吊クレーンなし 土木工事標準積算基準 Ⅱ-2-⑱-9				

施工パッケージ内訳表

頁0-0045

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し SPA084			施工 第0 -0026号表 1	t
標準単価： 10,110 機械構成比： 17.23% 労務構成比： 78.98% 材料構成比： 3.79% 市場単価構成比：				0.00%
トラック [クレーン装置付] MA443		17.23%	トラック [クレーン装置付] TPMA443	
運転手 (特殊) R0120 [0.788]		39.73%	運転手 (特殊) TPR0120	
特殊作業員 R0020 [0.780]		38.87%	特殊作業員 TPR0020	
軽油 T0250 ミニローリー (パトロール給油)		3.79%	軽油 TPT0250 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 B=1 土木工事標準積算基準 I-2-③-2				

施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工（人力施工） S7308 鉄筋構造物	1	m3			施工 第0 -0027号表
鉄筋構造物 機・労 昼間単価 人力 時間的制約 無 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	m 3			TDH18
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 鉄筋構造物 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 土木工事標準積算基準 VI-1-④-2					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
構造物とりこわし工（機械施工） S7307 鉄筋構造物	1	m3			施工 第0 -0028号表
鉄筋構造物 機・労 昼間単価 機械 時間的制約 無 週休二日月単位 補正係数1.01	1.000	m 3			TDH17
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 鉄筋構造物 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=2 低騒音・低振動対策 不要（補正なし） E=1 土木工事標準積算基準 VI-1-④-2					

施工パッケージ内訳表

頁0-0047

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 標準単価： 2,211.8 機械構成比： 40.77%	機械積込 40.77%	労務構成比： 44.82%	施工 第0-0029号表 1 材料構成比： 14.41%	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		40.77%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		44.82%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.41%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし B=1 機械積込 C=1 DID区間なし D=25 10.9km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0048

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 標準単価： 1,895.8 機械構成比： 40.77%	機械積込 40.77%	労務構成比： 44.82%	施工 第0 -0030号表 1 材料構成比： 14.41%	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		40.77%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		44.82%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.41%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
* * * 単位当たり * * *				
A=2 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし B=1 機械積込 C=1 DID区間なし D=20 8.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0049

標準単価：機械構成比：労務構成比：材料構成比：市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価：290.57 機械構成比： 平均施工幅1m以上2m未満 19.72% 労務構成比：66.35% 材料構成比：13.93% 市場単価構成比：0.00%			施工 第0 -0031号表 1 m3	
KQ049 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		19.72%	TPKQ049 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		66.35%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		13.93%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=2 平均施工幅1m以上2m未満 C=1 土留なし D=1 障害なし G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-4				

施 工 内 訳 表

頁0-0050

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう製作・設置 (ラフレンクレーン設置) S5710 流用土 作業半径5mを超え20m以下 設置面高さ $-3\text{m} \leq H \leq 2\text{m}$	10	袋			施工 第0-0032号表
土木一般世話役 [0.753]	0.204	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.204	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.204	人			R0030
大型土のう $\phi 110\text{cm} \times 108\text{cm}$	10.000	枚			T0895
土砂	10.000	m ³			
バックホウ運転 (クレーン機能付) 機-28 70-7型後方超小 2.9t吊 山0.45m ³ (平0.35m ³)	0.204	日			SK728 施工 第0-0033号表
ラフレンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25t吊	0.204	日			K2535
諸雑費	2.000	%			#09
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=2 流用土 B= C=4 作業半径5mを超え20m以下 F=1 設置面高さ $-3\text{m} \leq H \leq 2\text{m}$ G=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑩-7					

施 工 内 訳 表

頁0-0052

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう撤去 S5705 作業半径 6m以下 設置・撤去高さ $-3\text{m} \leq H \leq 2\text{m}$	10	袋			施工 第0-0034号表
土木一般世話役 [0.753]	0.087	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.087	人			R0020
バックホウ運転（クレーン機能付） 機-28 ｸﾚｰﾝ型 2.9t吊 山積0.8m3（平積0.6m3）	0.087	日			SK728 施工 第0-0035号表
諸雑費	0.400	%			#09
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=2 撤去 B=1 作業半径 6m以下 E=1 設置・撤去高さ $-3\text{m} \leq H \leq 2\text{m}$ F=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑩-8					

施 工 内 訳 表

頁0-0053

[illegible]

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
手摺先行型桙組足場/単管足場/単管傾斜足場 S1940 手摺先行型桙組足場 安全ネット有 ラフレックレン 排ガス対策(第3基)低騒音型使用	100	掛m2			施工 第0 -0036号表
土木一般世話役 [0.753]	1.600	人			R0010
とび工 [0.864]	8.500	人			R0270
普通作業員 [0.842]	1.300	人			R0030
ラフレックレン賃料 油圧伸縮ゾブ型 25t吊	1.400	日			K2535
諸雑費	31.000	%			#09
*** 合 計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 C=1 手摺先行型桙組足場 安全ネット有 土木工事標準積算基準 II-5-⑦-2					

施 工 内 訳 表

頁0-0055

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0056

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 700.44 機械構成比： 15.05% 労務構成比： 58.43% 材料構成比： 26.52% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0-0038号表 1 m	
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.24%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.96%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		10.88%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.92%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		22.39%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.81%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-3-③-1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0057

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 標準単価： 1,527.2 機械構成比： 40.77% 労務構成比： 44.82% 材料構成比： 14.41% 市場単価構成比： 0.00%	機械積込		施工 第0 -0039号表 1 m3	
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		40.77%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		44.82%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.41%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし B=1 機械積込 C=1 DID区間なし D=20 8.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0058

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 4,846.9 機械構成比： 44.05%			施工 第0-0040号表 1 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 材料構成比： 16.08%	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.05%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		39.87%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=3 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) C=1 DID区間なし D=38 22.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

施 工 内 訳 表

頁0-0059

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 9.1km	100	m3			施工 第0 -0041号表
普通作業員 [0.842]	10.417	人			R0030 100/9.6
側溝清掃車運転 機-19 フロワ式 9.0m3	10.417	日			SK921 100/9.6 施工 第0-0042号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=9.1 運搬距離 (km) C=1 土木工事標準積算基準 II-3-⑥-2					

施 工 内 訳 表

頁0-0060

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0061

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう製作・設置 (ラフレンクレーン設置) S5710 流用土 作業半径5mを超え20m以下 設置面高さ H<-3m, 2m<H	10	袋			施工 第0-0043号表
土木一般世話役 [0.753]	0.204	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.204	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.204	人			R0030
大型土のう φ110cm×108cm	10.000	枚			T0895
土砂	10.000	m3			
バックホウ運転 (クレーン機能付) 機-28 70-7型後方超小 2.9t吊 山0.45m3 (平0.35m3)	0.204	日			SK728 施工 第0-0033号表
ラフレンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25t吊	0.204	日			K2535
諸雑費	2.000	%			#09
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=2 流用土 B= C=4 作業半径5mを超え20m以下 F=2 設置面高さ H<-3m, 2m<H G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-5-⑩-7					

施 工 内 訳 表

頁0-0062

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう撤去（再利用） S5705 作業半径 6mを超え20m以下 設置・撤去高さ H<-3m, 2m<H	10	袋			施工 第0-0044号表
土木一般世話役 [0.753]	0.074	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.074	人			R0020
ヲフレンクレン賃料 油圧伸縮ヅブ型 25t吊	0.074	日			K2535
諸雑費	0.500	%			#09
* * * 合 計 * * *	10	袋			
* * * 単位当たり * * *	1	袋			
A=3 撤去（再利用） B=2 作業半径 6mを超え20m以下 E=2 設置・撤去高さ H<-3m, 2m<H F=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑩-8					

施 工 内 訳 表

頁0-0063

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう撤去 S5705 作業半径 6mを超え20m以下 設置・撤去高さ H<-3m, 2m<H	10	袋			施工 第0-0045号表
土木一般世話役 [0.753]	0.094	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.094	人			R0020
ヲフレンクレン賃料 油圧伸縮ゾブ型 25t吊	0.094	日			K2535
諸雑費	0.400	%			#09
* * * 合 計 * * *	10	袋			
* * * 単位当たり * * *	1	袋			
A=2 撤去 B=2 作業半径 6mを超え20m以下 E=2 設置・撤去高さ H<-3m, 2m<H F=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-5-⑩-8					

施 工 内 訳 表

頁0-0064

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ運転 S5620 常時排水 排水量 0 以上 120 未満	1	日			施工 第0-0046号表
特殊作業員 [0.780]	0.170	人			R0020
工事用水中ポンプ運転 機-30 口径200mm 揚程10m	1.000	日			SK690 施工 第0-0047号表
発動発電機運転 機-16 ディーゼル 45KVA	1.000	日			SK526 施工 第0-0048号表
諸雑費	3.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 常時排水 B=5 排水量 0 以上 120 未満 D=1 10m E=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑧-4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
工事用水中ポンプ運転 SK690 機-30 口径200mm 揚程10m	1	日			施工 第0-0047号表
工事用水中ポンプ賃料 口径200mm 揚程10m	1.100	供用日			K0708
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=5 口径200mm 揚程10m B=1.1 賃料数量 C=0 電力消費量 D=					

施 工 内 訳 表

頁0-0065

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0066

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ据付撤去工 S5621	1	箇所			施工 第0-0049号表
土木一般世話役 [0.753]	0.500	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.100	人			R0020
普通作業員 [0.842]	2.000	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機-28 ク-ラ型 2.9t吊 山積0.8m3（平積0.6m3）	0.500	日			SK728 施工 第0-0050号表
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
B=1 土木工事標準積算基準 II-5-⑧-4					

施 工 内 訳 表

頁0-0067

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0068

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） S5400 据 付 高密度ポリエチレン管 φ600無孔管	100	m			施工 第0-0051号表
土木一般世話役 [0.753]	0.500	人			R0010 0.5*1
普通作業員 [0.842]	1.500	人			R0030 1.5*1
暗渠排水管 波状管 高密度ポリエチレン管（シングル）φ600	100.000	m			T5420
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据 付 B=1 高密度ポリエチレン管 φ600無孔管 C=2 2回以上使用の場合 D=1 土木工事標準積算基準 VII-6-①-1					

施 工 内 訳 表

頁0-0069

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） S5400 撤 去 高密度ポリエチレン管 φ600無孔管	100	m			施工 第0 -0052号表
土木一般世話役 [0.753]	0.250	人			R0010 0.5*0.5
普通作業員 [0.842]	0.750	人			R0030 1.5*0.5
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 撤 去 B=1 高密度ポリエチレン管 φ600無孔管 C=2 2回以上使用の場合 D=1 土木工事標準積算基準 VII-6-①-1					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0053号表
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-24					

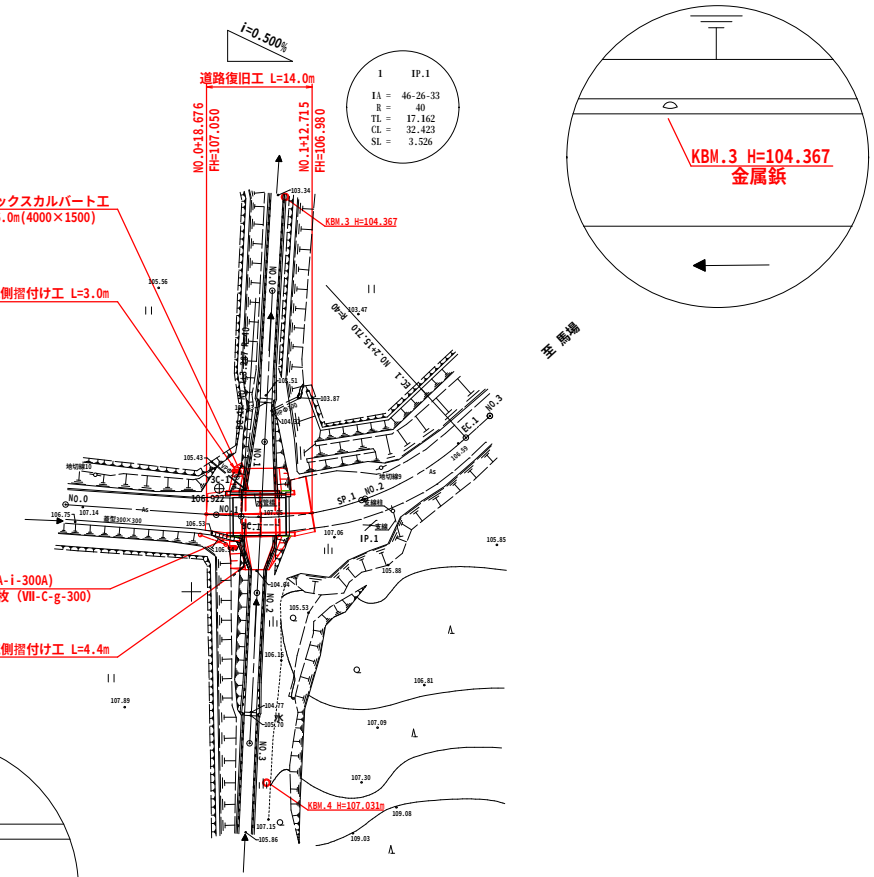
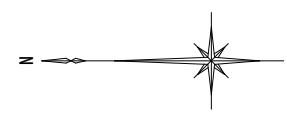
登録単価一覧表

頁0-0070

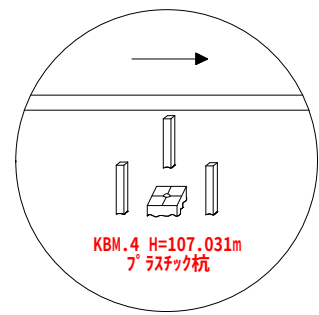
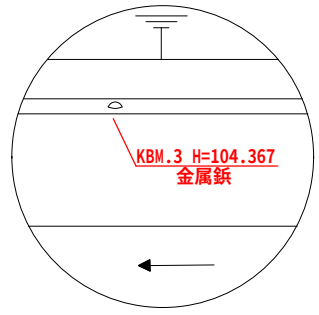
単価コード	単価名称・規格１・規格２	単位	単価	管理費区分
T8498	As殻処分費 As殻	t		直接工事費内の処分費
TW205	鋼材スクラップ処理 ヘビーH 1	t		直接工事費内の処分費
T8498	Co殻処分費 有筋	t		直接工事費内の処分費
T8498	Co殻処分費 有筋	t		直接工事費内の処分費
T8498	Co殻処分費 有筋	t		直接工事費内の処分費
T8498	Co殻処分費 有筋	t		直接工事費内の処分費
T8498	Co殻処分費 無筋	t		直接工事費内の処分費
T8498	As殻処分費 As殻	t		直接工事費内の処分費
T84981	汚泥処分	t		直接工事費内の処分費

平 面 図 縮尺 S=1:500
南 相 馬 市 原 町 区

馬 場
字 川 原 田



1	IP.1
IA	= 46-26-33
R	= 40
TL	= 17.162
CL	= 32.423
SL	= 3.526



中心線座標一覧表 (道路)

点 名	X 座 標	Y 座 標
NO.0	178916.639	95211.529
IP.1	178876.284	95208.770
NO.1	178896.686	95210.165
BC.1	178893.406	95209.941
SP.1	178877.450	95212.098
NO.2	178876.919	95212.261
EC.1	178863.638	95220.372
NO.3	178860.477	95223.272

中心線座標一覧表 (河川)

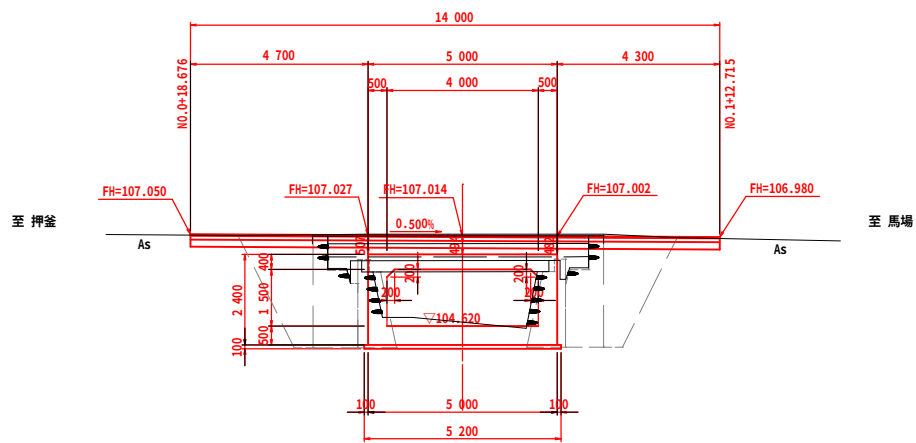
点 名	X 座 標	Y 座 標
NO.0	178889.264	95239.809
NO.1	178890.278	95219.835
NO.2	178891.292	95199.861
NO.3	178892.306	95179.886

基 準 点 の 座 標 値			
点 名	X座標	Y座標	備 考
3C-0	178967.692	95134.422	プラスチック杭
3C-1	178896.306	95213.644	プラスチック杭

平成 8 年 度			
道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
平 面 図			
縮 尺	S=1:500	図面番号	1 / 23
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

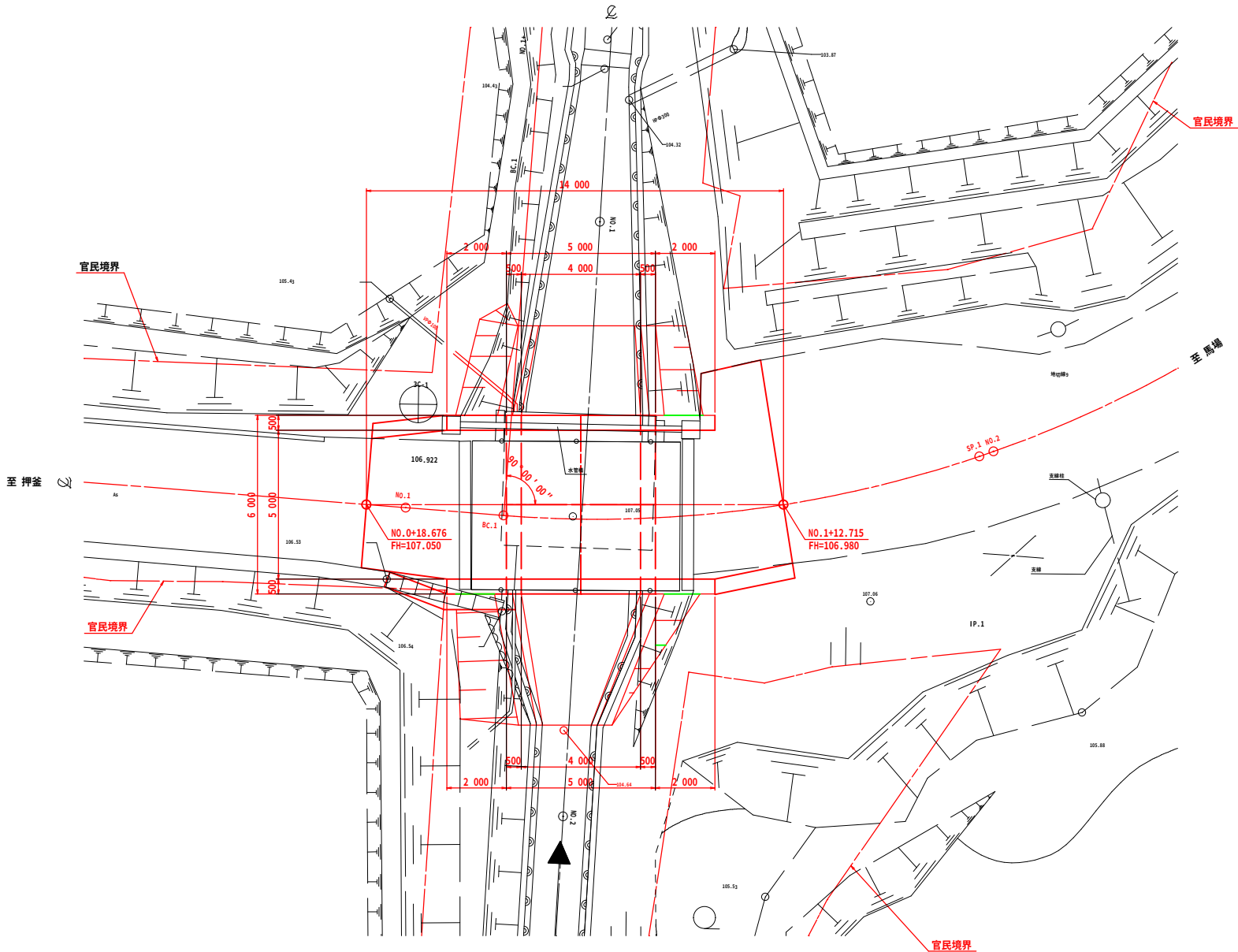
ボックスカルバート一般図
(押釜馬場線3号橋)

側面図 S=1:100

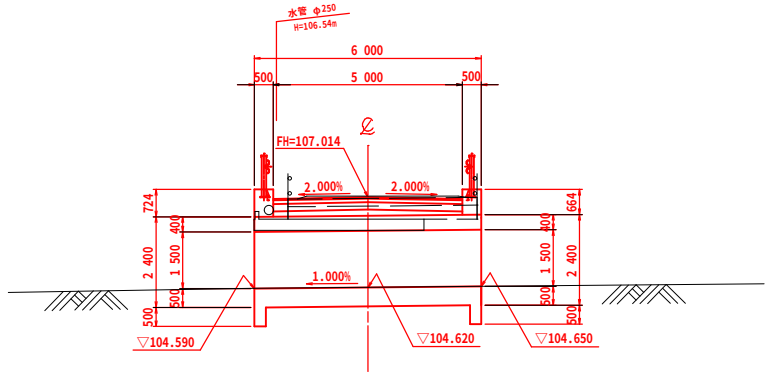


DL=100.000

平面図 S=1:100

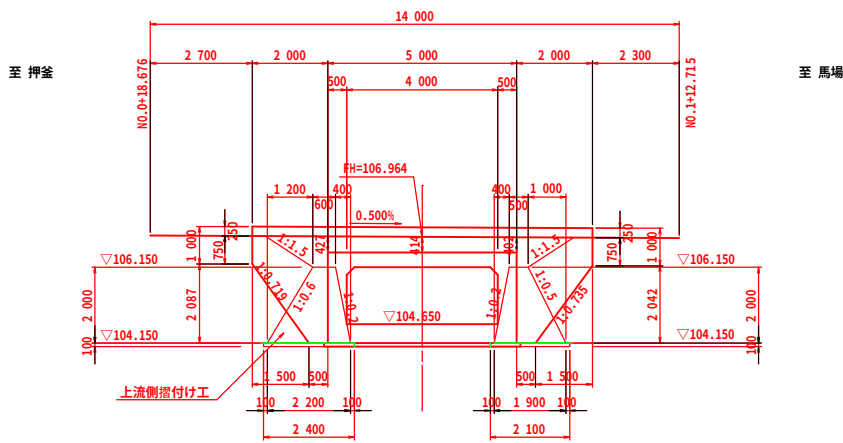


断面図 S=1:100



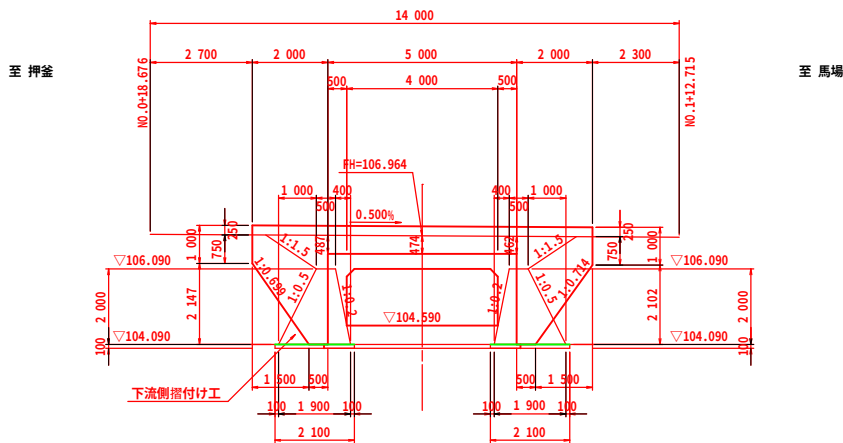
DL=100.000

上流側側面図 S=1:100



DL=100.000

下流側側面図 S=1:100



DL=100.000

設計条件

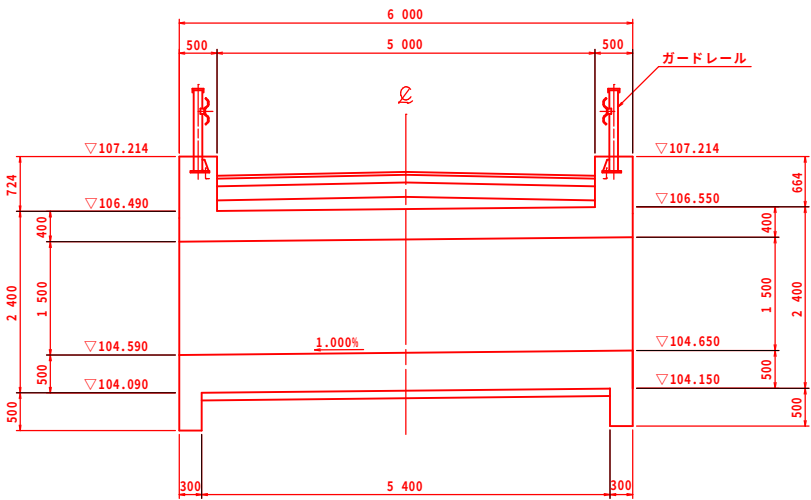
種 別	剛性函渠工
函 渠 長	6.0m
ブ ロ ッ ク 長	6.0m
内 空 断 面	4.0m×1.5m
活 荷 重	T-250kN
斜 角	90°00'00"
縦 断 勾 配	0.5%
形 式	RCボックスカルバート
基 礎	直接基礎
使 用 材 料	コンクリート
鉄 筋	SD345
支 持 地 盤	60.631kN/m2
適 用 仕 様 書	道路土工—カルバート工指針(平成21年度版)

※床掘完了後、地盤支持力60.631kN/m2以上あることを確認すること。

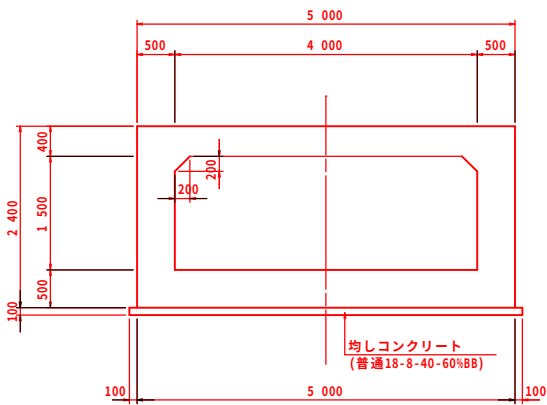
平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
ボックスカルバート一般図			
縮 尺	S=1:100	図面番号	2 / 23
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

ボックスカルバート工構造図 S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

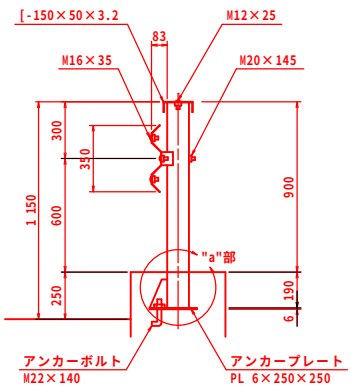
側面図



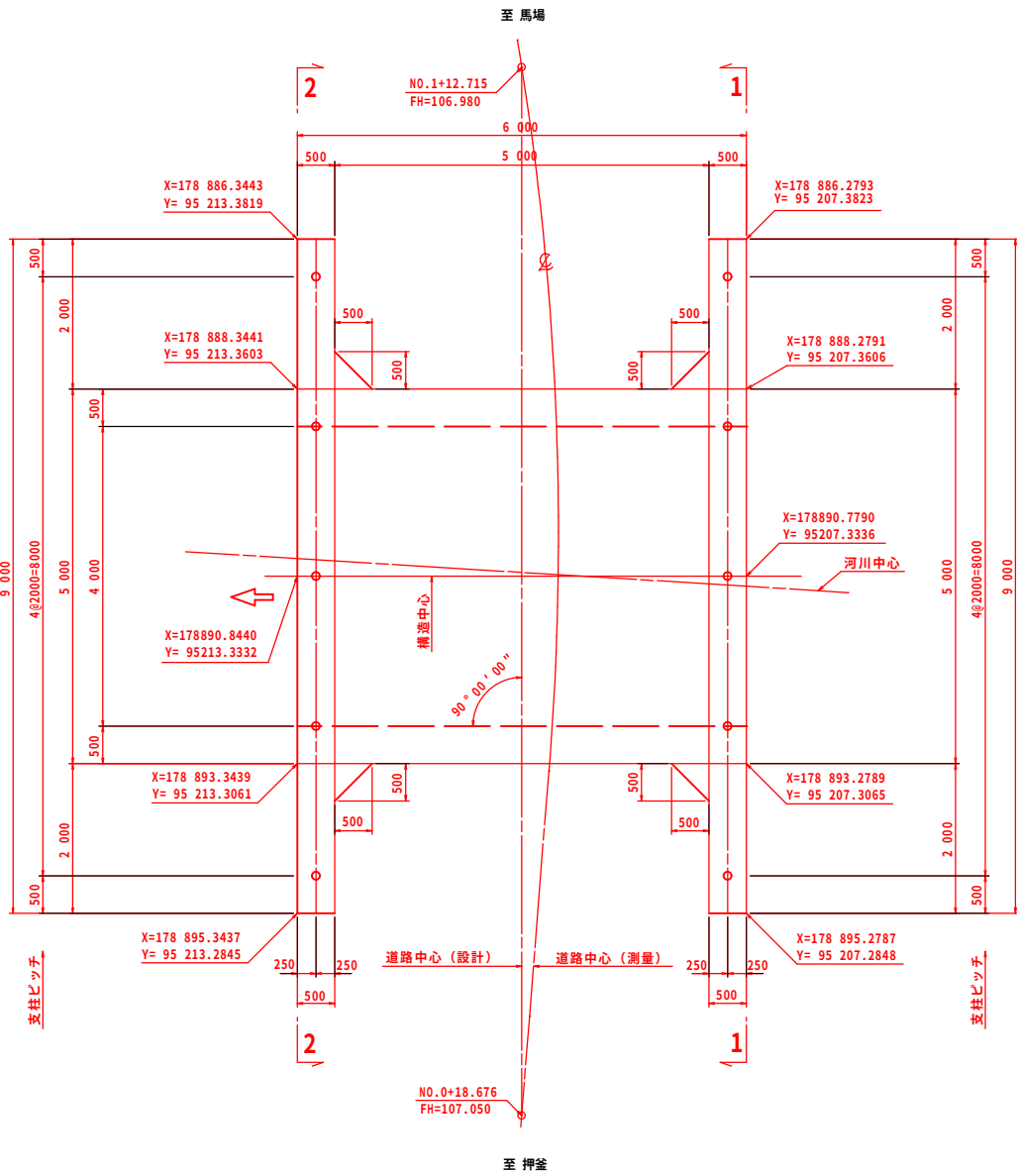
標準断面図



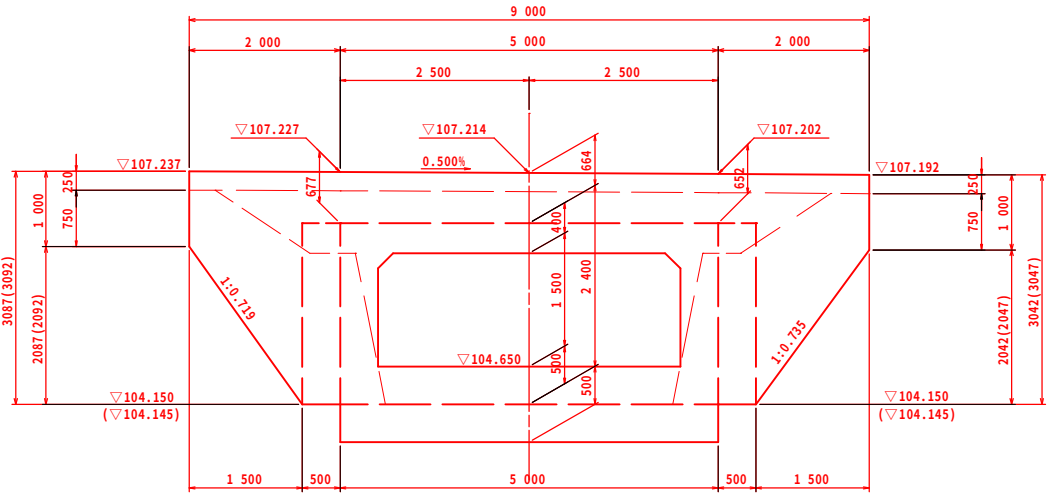
ガードレール詳細図 S=1:20



平面図

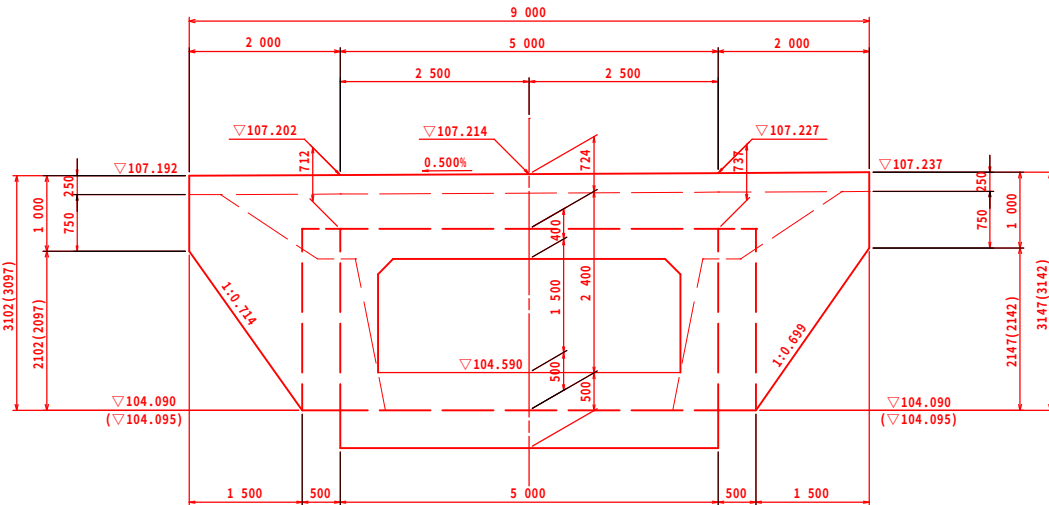


上流側 (1-1) 正面図



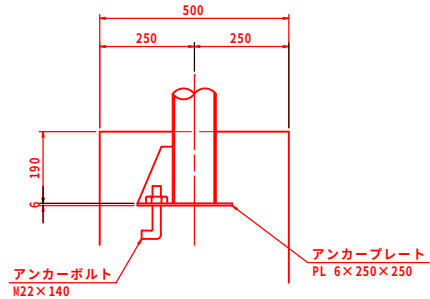
※ () 内寸法及び標高は、ウイング内側を示す。

下流側 (2-2) 正面図



※ () 内寸法及び標高は、ウイング内側を示す。

"a"部詳細図 S=1:10

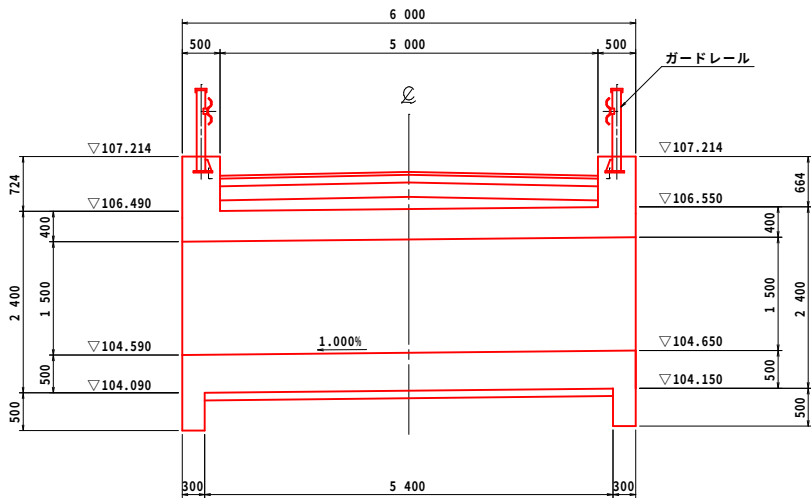


使用材料		
部	コンクリート	24N/mm ²
体	鉄筋	SD345

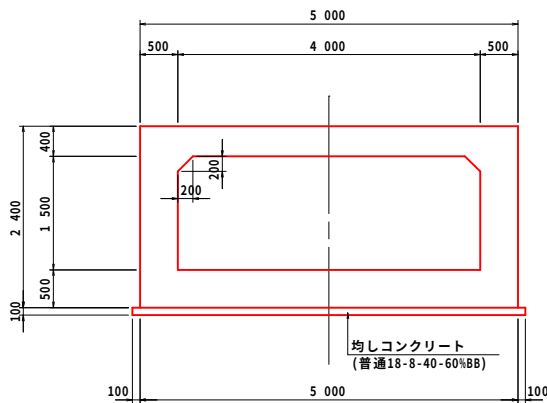
平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
ボックスカルバート工構造図			
縮尺	図示	図面番号	3 / 23
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

ボックスカルバート工構造図 S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

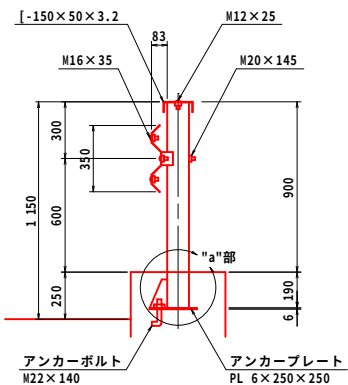
側面図



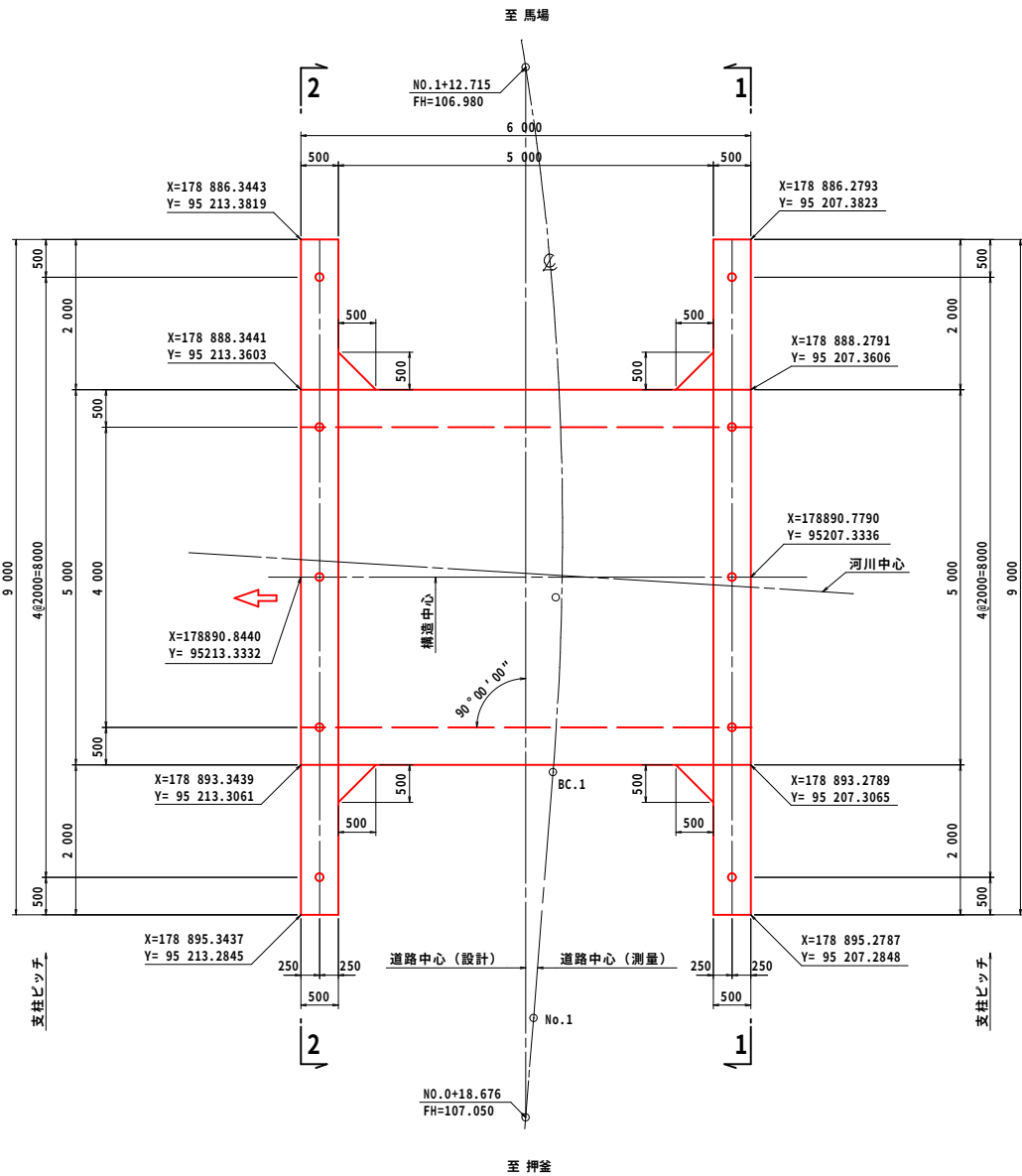
標準断面図



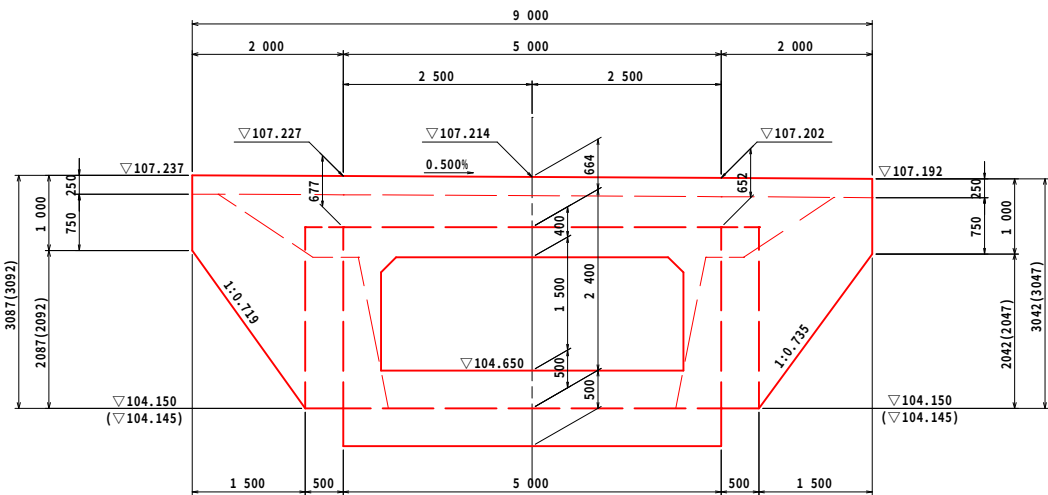
ガードレール詳細図 S=1:20



平面図

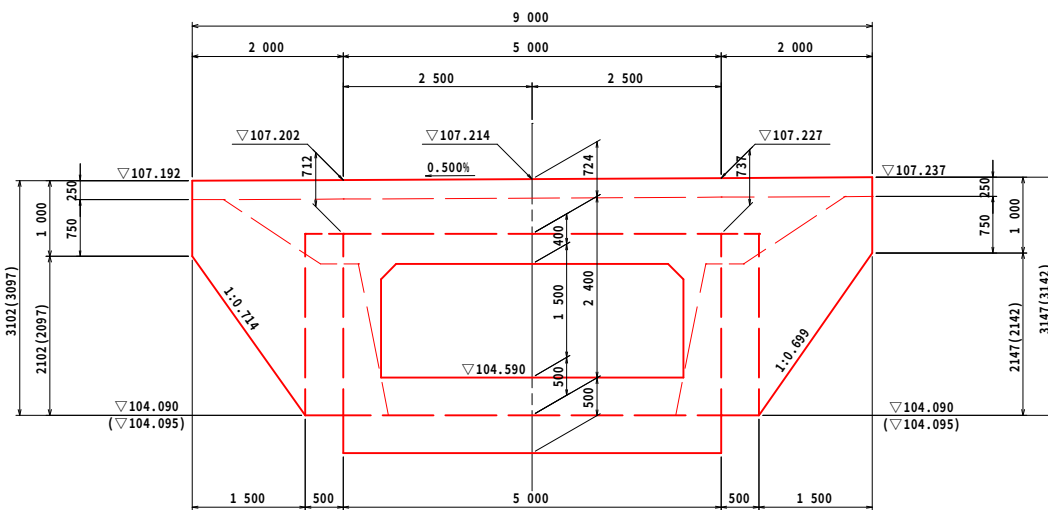


上流側 (1-1) 正面図



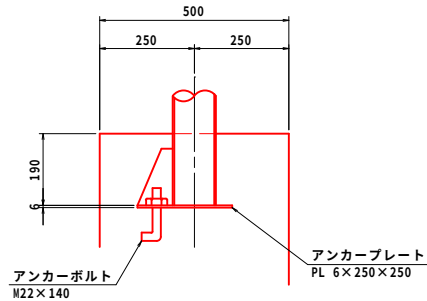
※ () 内寸法及び標高は、ウイング内側を示す。

下流側 (2-2) 正面図



※ () 内寸法及び標高は、ウイング内側を示す。

"a"部詳細図 S=1:10

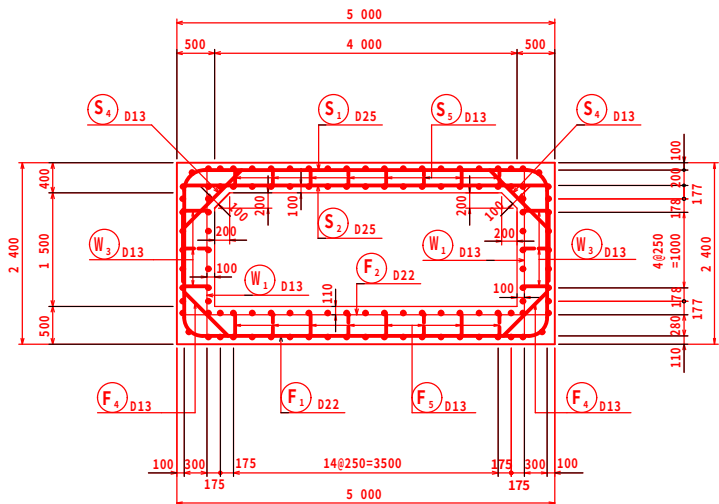


使用材料		
部	コンクリート	24N/mm ²
体	鉄筋	SD345

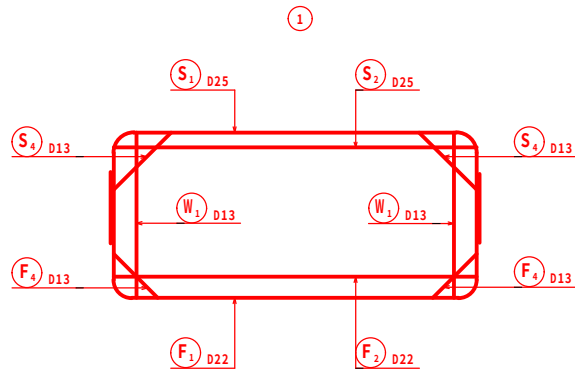
平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
ボックスカルバート工構造図			
縮尺	図示	図面番号	3 / 22
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

ボックスカルバート工配筋図(1) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

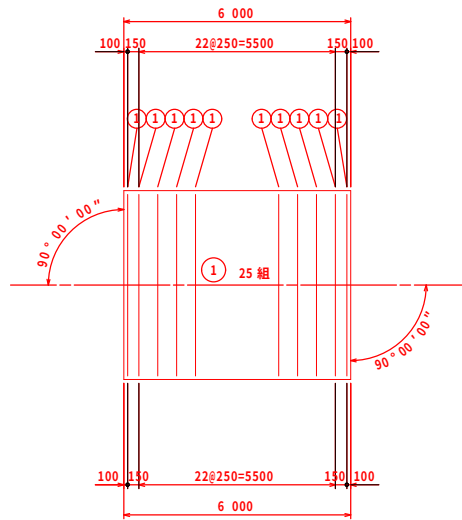
断面図



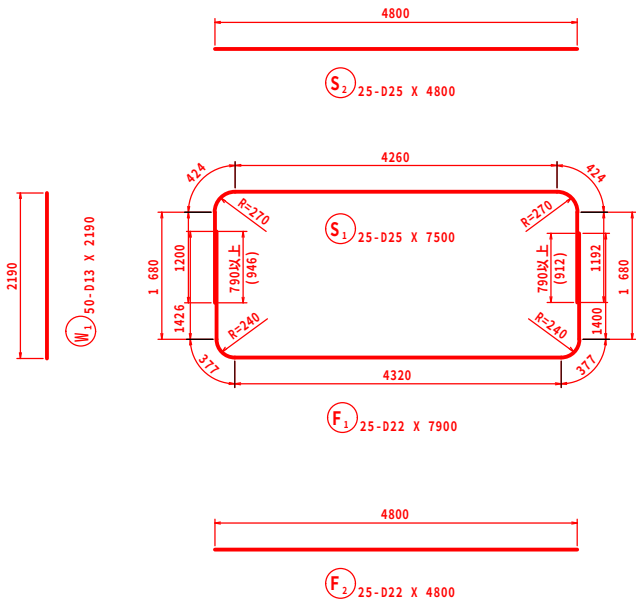
主鉄筋組立図



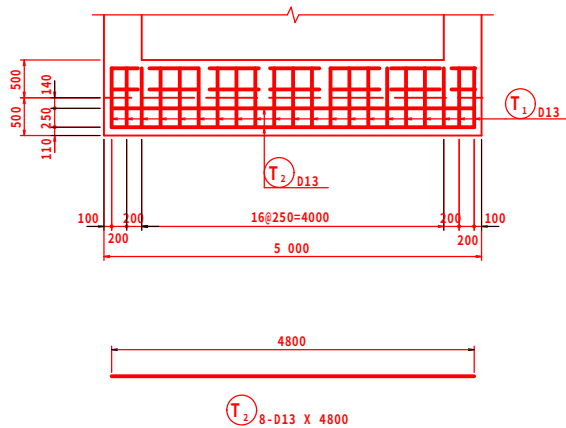
主鉄筋配置図



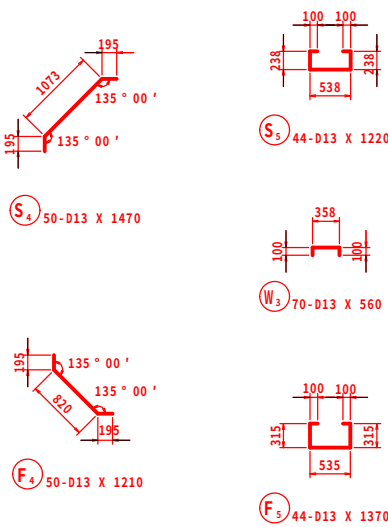
止水壁正面図



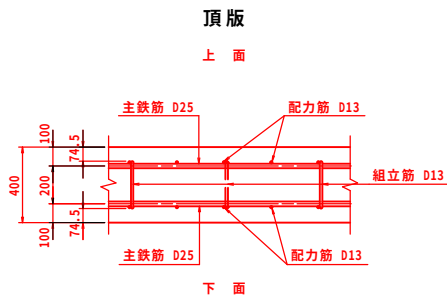
止水壁断面図



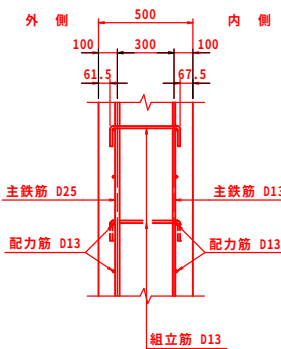
止水壁断面図



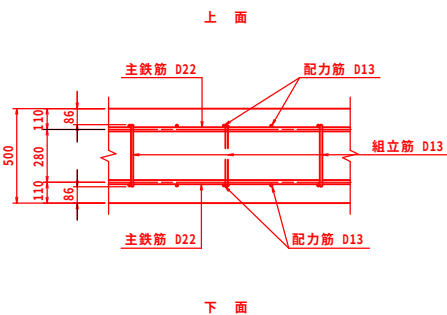
かぶり詳細図



側壁



底板



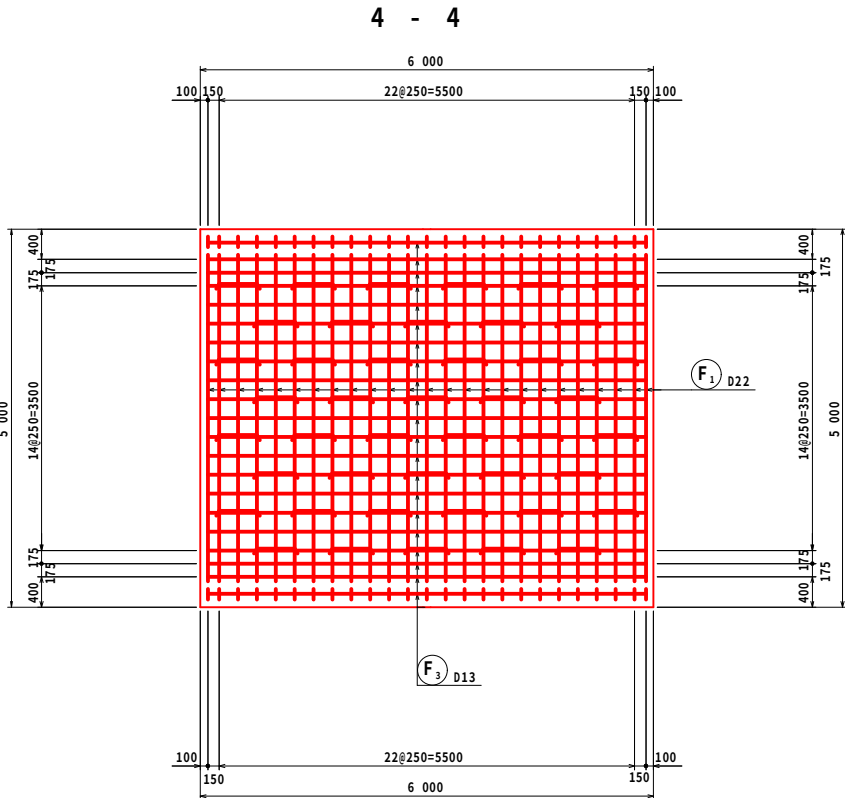
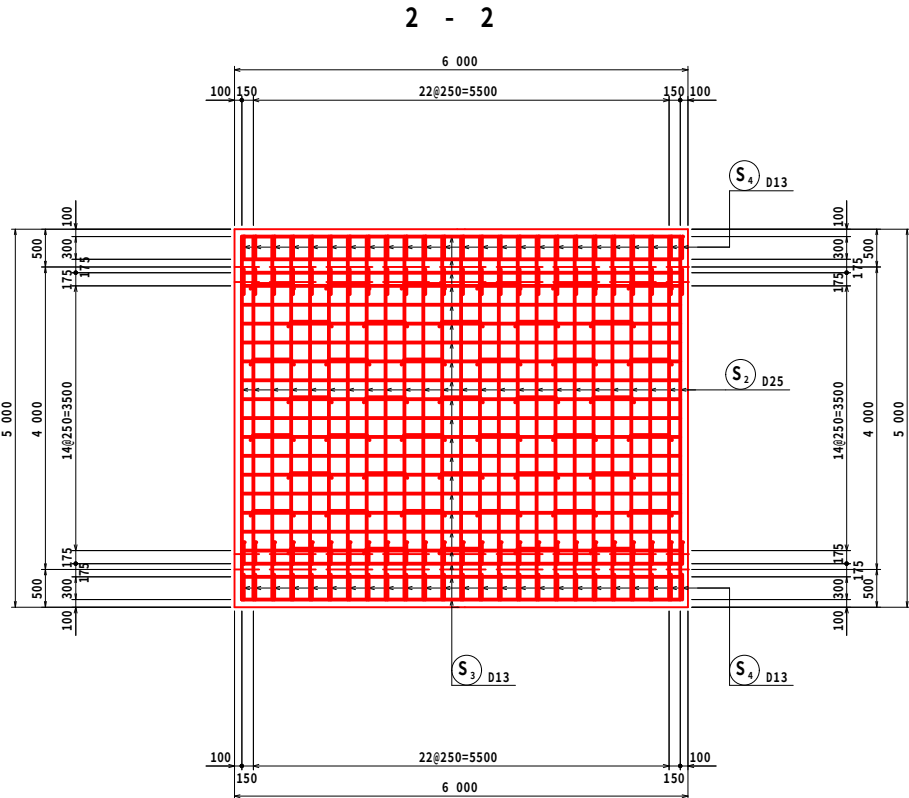
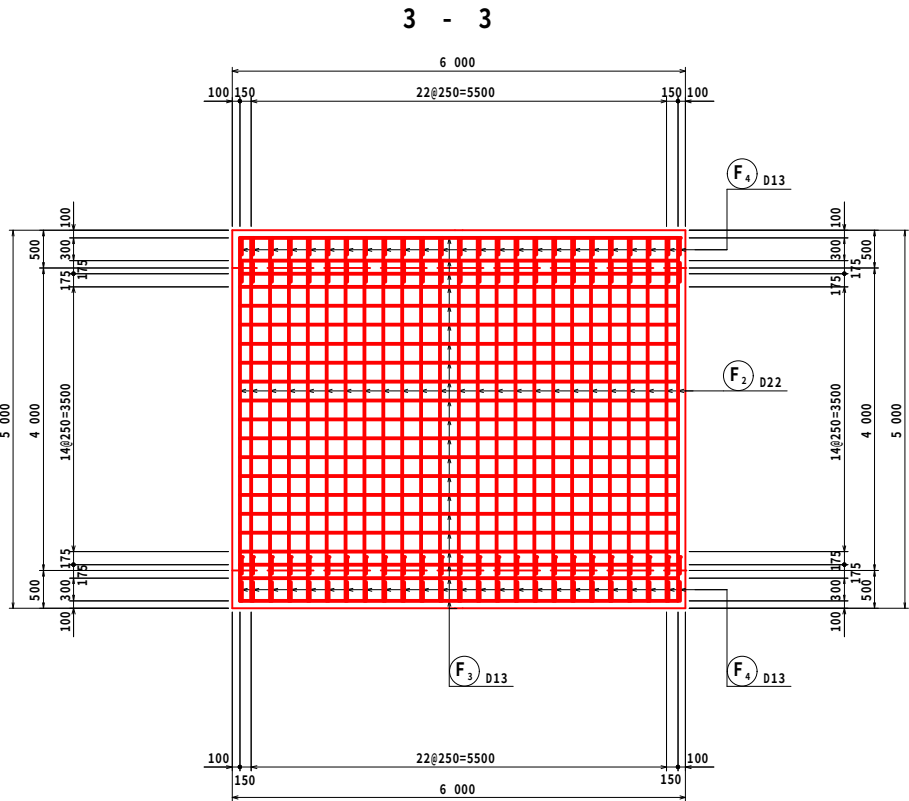
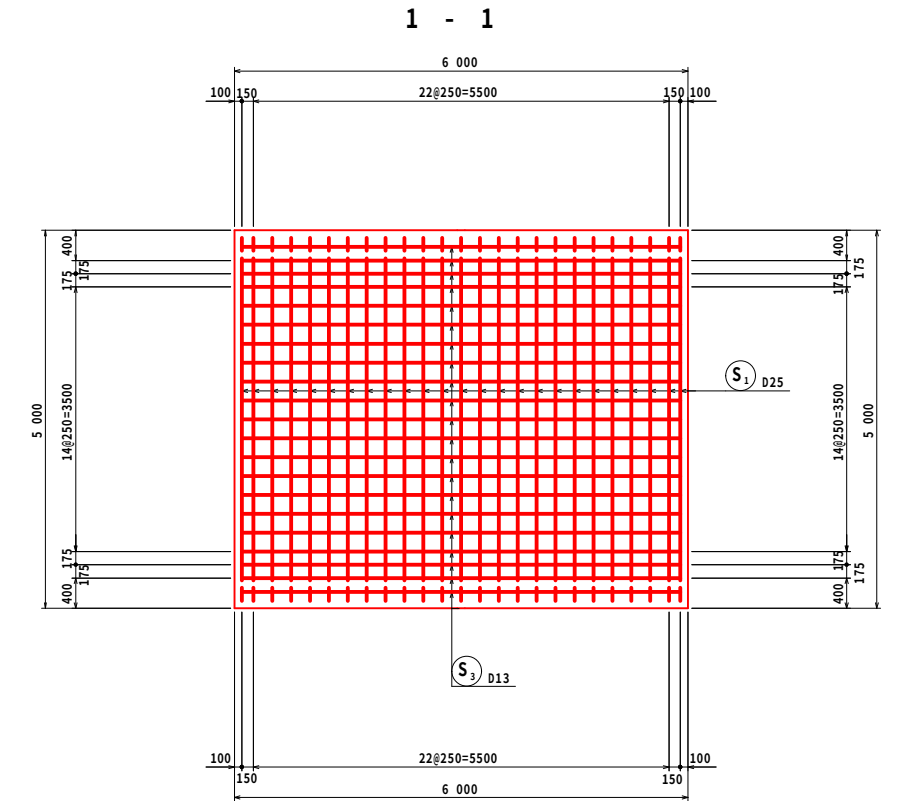
※鉄筋の重ね継手位置は、千鳥となるように配置すること。

※止水壁は、上下流共通とする。
また加工本数は、上下流合計本数とする。

使用材料		
躯体	コンクリート	24N/mm ²
	鉄筋	SD345

平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
ボックスカルバート工配筋図 (1)			
縮尺	S=1:50	図面番号	4 / 23
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

ボックスカルバート工配筋図(2) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)



位置図



※鉄筋の重ね継手位置は、千鳥となるように配置すること。

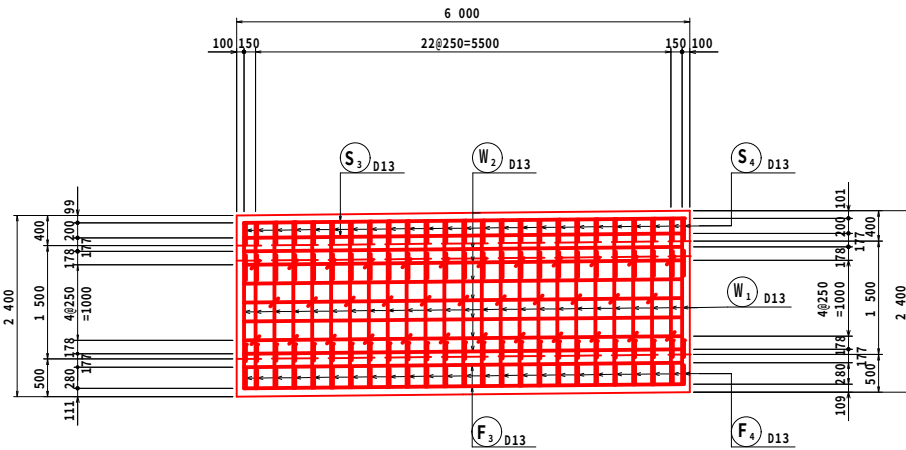
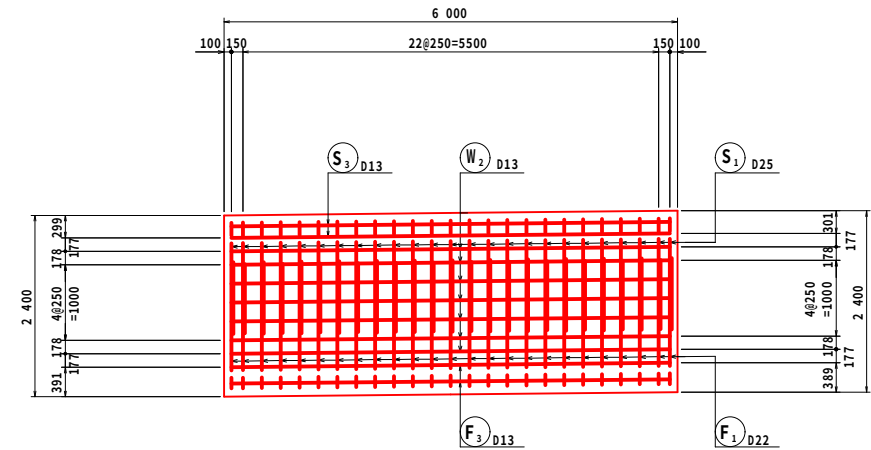
使用材料		
縦	コンクリート	24N/mm ²
体	鉄 筋	SD345

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
ボックスカルバート工配筋図 (2)			
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

ボックスカルバート工配筋図(3) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

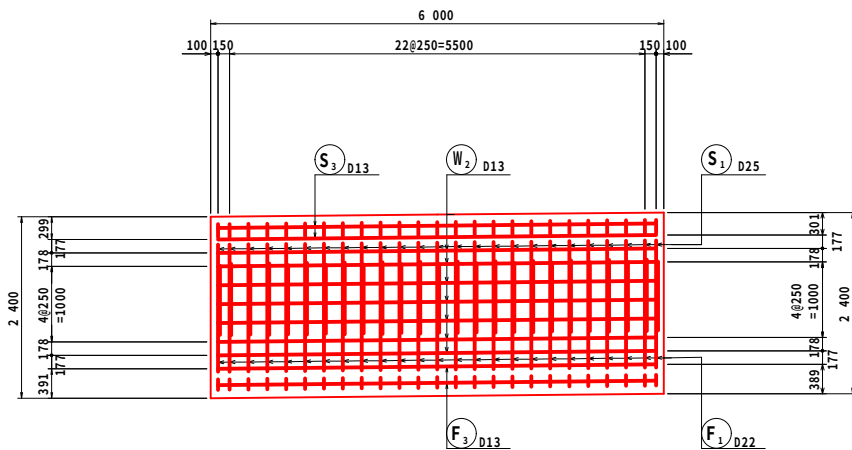
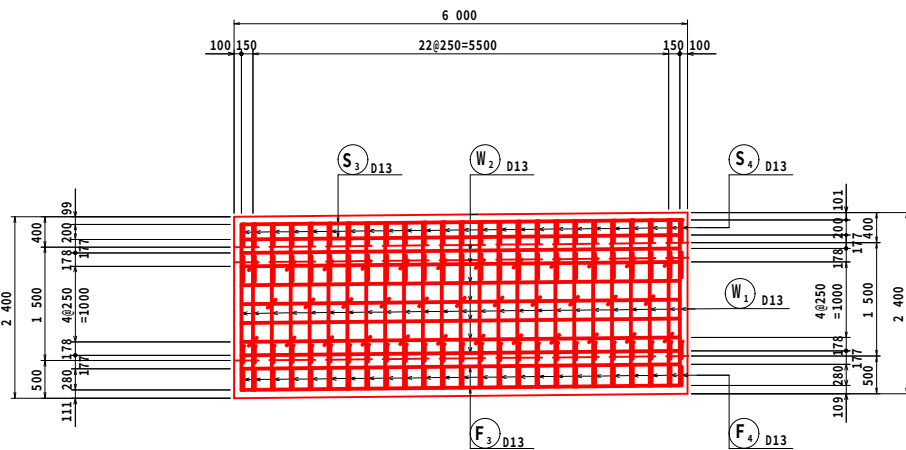
5 - 5

7 - 7



6 - 6

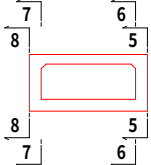
8 - 8



鉄筋重量表

種別	径	長さ(mm)	本数(本)	単位重量(kg/m)	一本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
S ₁	D25	7500	25	3.98	29.85	746	┌─┐
S ₂	D25	4800	25	3.98	19.10	478	─┐
S ₃	D13	5800	42	0.995	5.77	242	─┐
S ₄	D13	1470	50	0.995	1.46	73	└─┘
S ₅	D13	1220	44	0.995	1.21	53	└─┘
1592							
W ₁	D13	2190	50	0.995	2.18	109	┌─┐
W ₂	D13	5800	28	0.995	5.77	162	─┐
W ₃	D13	560	70	0.995	0.56	39	└─┘
310							
F ₁	D22	7900	25	3.04	24.02	601	┌─┐
F ₂	D22	4800	25	3.04	14.59	365	─┐
F ₃	D13	5800	42	0.995	5.77	242	─┐
F ₄	D13	1210	50	0.995	1.20	60	└─┘
F ₅	D13	1370	44	0.995	1.36	60	└─┘
1328							
T ₁	D13	2050	42	0.995	2.04	86	┌─┐
T ₂	D13	4800	8	0.995	4.78	38	─┐
124							
合計 D25							1224 kg
D22							966 kg
D13							1164 kg
総重量							3354 kg

位置図



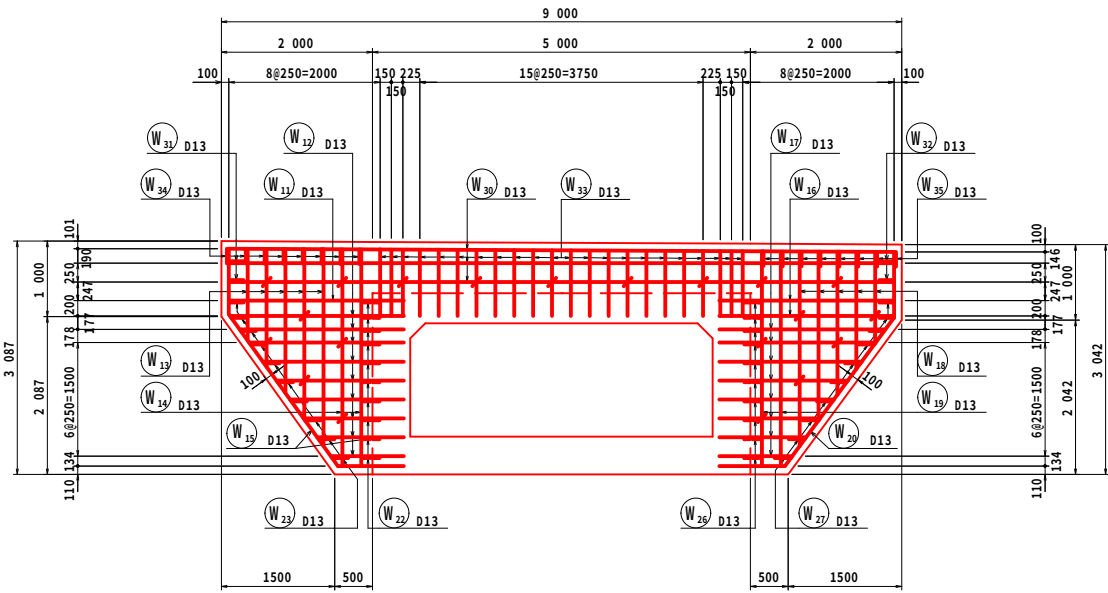
※鉄筋の重ね継手位置は、千鳥となるように配置すること。

使用材料		
躯体	コンクリート	24N/mm ²
	鉄筋	SD345

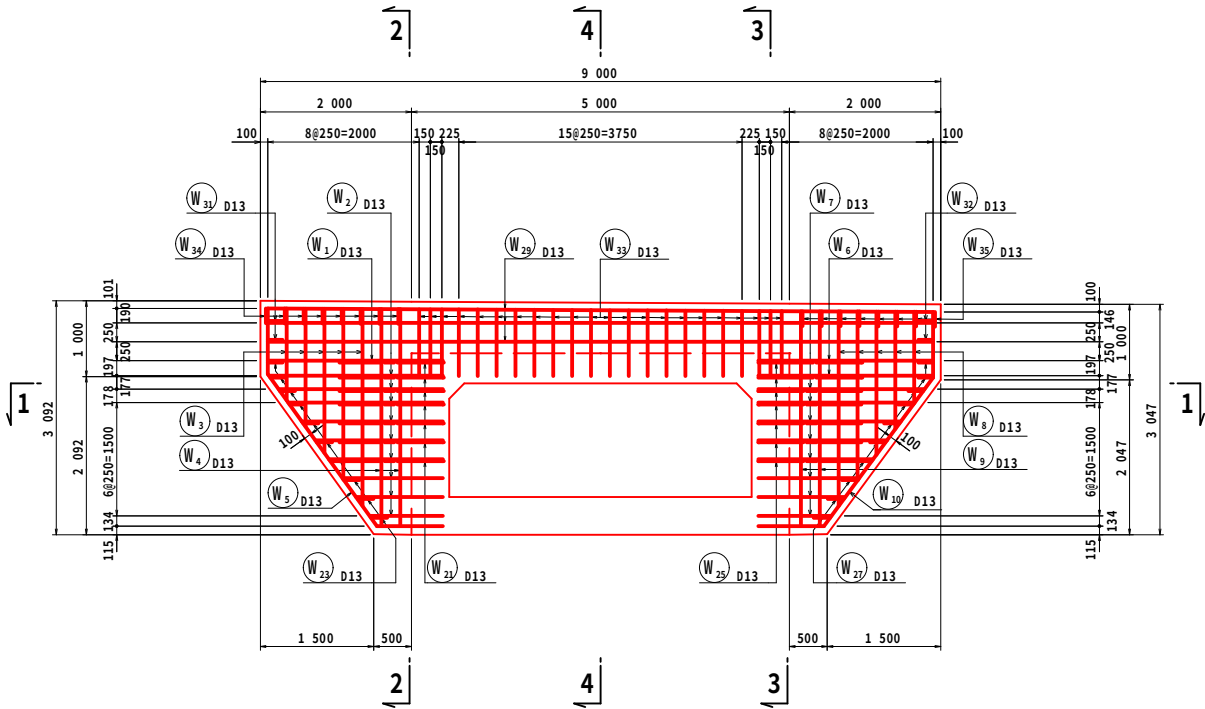
平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
ボックスカルバート工配筋図 (3)			
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 22
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

上流側ウイング配筋図(1) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

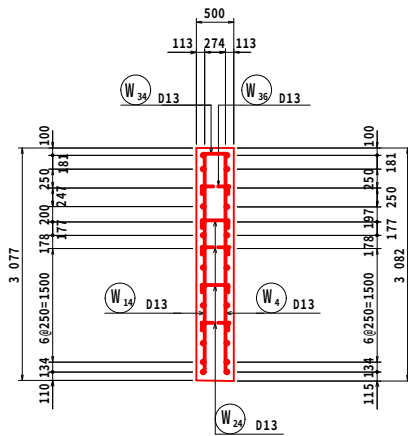
前面図



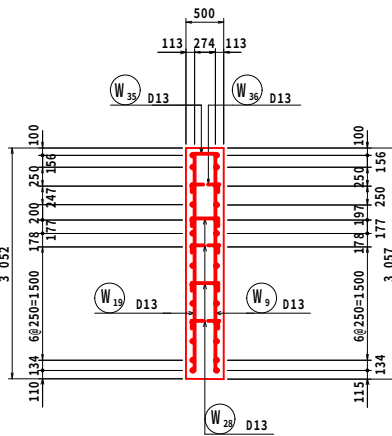
背面図



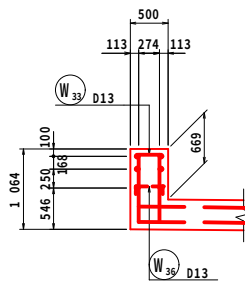
2 - 2



3 - 3



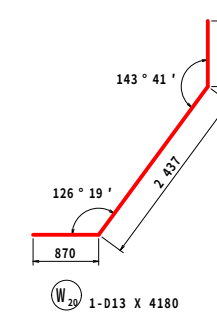
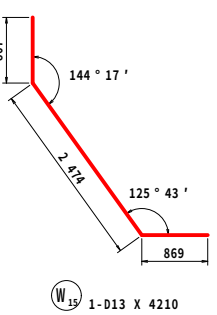
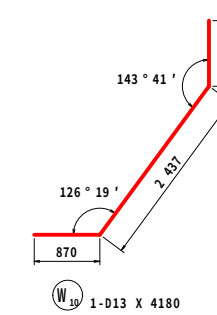
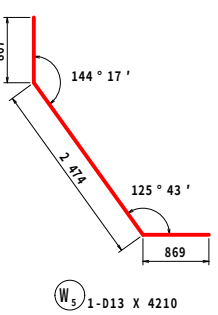
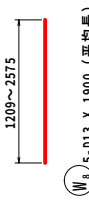
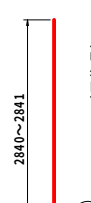
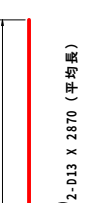
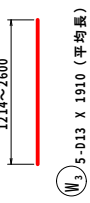
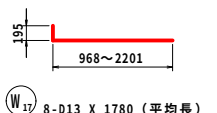
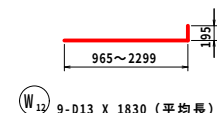
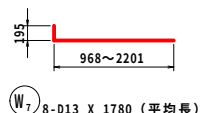
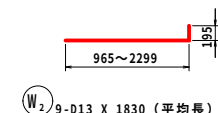
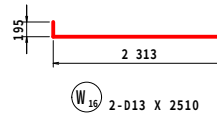
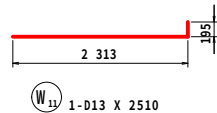
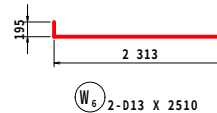
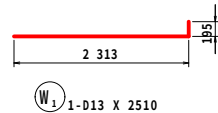
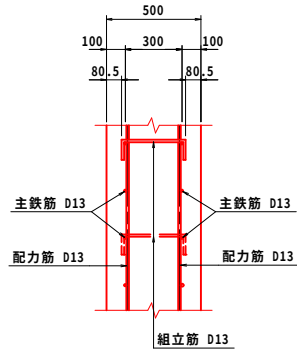
4 - 4



かぶり詳細図

前面側

背面側



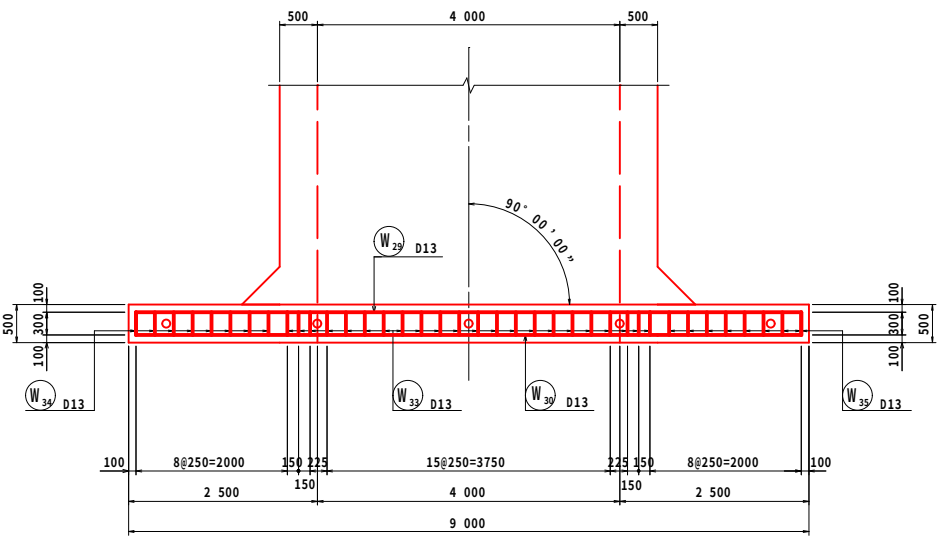
使用材料

版	コンクリート	24N/mm ²
体	鉄筋	SD345

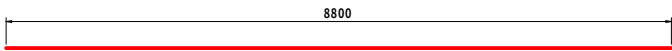
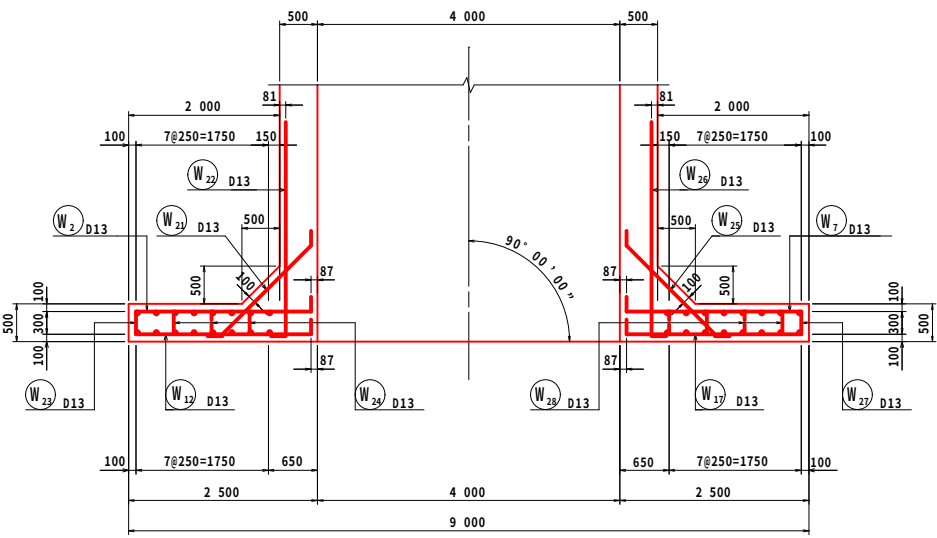
平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
上流側ウイング配筋図(1)			
縮尺	S=1:50	図面番号	7 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福島県 南 相 馬 市			

上流側ウイング配筋図(2) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

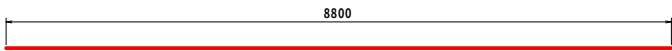
平面図



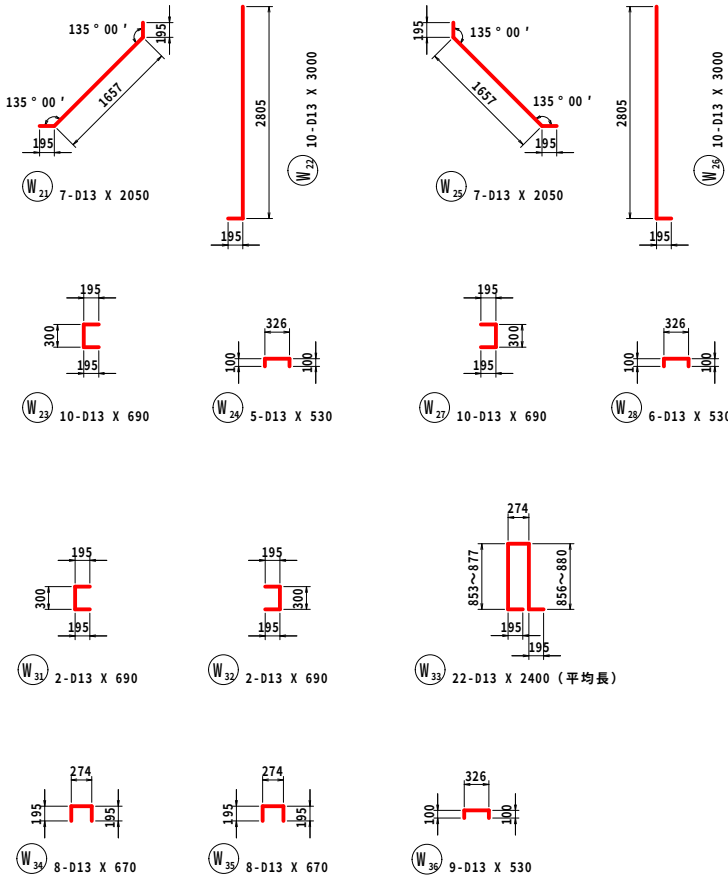
1 - 1



W29 3-D13 X 8800



W30 3-D13 X 8800



鉄筋重量表

種別	径	長さ(mm)	本数(本)	単位重量(kg/m)	一本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
W1	D13	2510	1	0.995	2.50	3	
W2	D13	1830	9	0.995	1.82	16	(平均長)
W3	D13	1910	5	0.995	1.90	10	(平均長)
W4	D13	2870	2	0.995	2.86	6	(平均長)
W5	D13	4210	1	0.995	4.19	4	
W6	D13	2510	2	0.995	2.50	5	
W7	D13	1780	8	0.995	1.77	14	(平均長)
W8	D13	1900	5	0.995	1.89	9	(平均長)
W9	D13	2850	2	0.995	2.84	6	(平均長)
W10	D13	4180	1	0.995	4.16	4	
W11	D13	2510	1	0.995	2.50	3	
W12	D13	1830	9	0.995	1.82	16	(平均長)
W13	D13	1910	5	0.995	1.90	10	(平均長)
W14	D13	2870	2	0.995	2.86	6	(平均長)
W15	D13	4210	1	0.995	4.19	4	
W16	D13	2510	2	0.995	2.50	5	
W17	D13	1780	8	0.995	1.77	14	(平均長)
W18	D13	1900	5	0.995	1.89	9	(平均長)
W19	D13	2850	2	0.995	2.84	6	(平均長)
W20	D13	4180	1	0.995	4.16	4	
W21	D13	2050	7	0.995	2.04	14	
W22	D13	3000	10	0.995	2.99	30	
W23	D13	690	10	0.995	0.69	7	
W24	D13	530	5	0.995	0.53	3	
W25	D13	2050	7	0.995	2.04	14	
W26	D13	3000	10	0.995	2.99	30	
W27	D13	690	10	0.995	0.69	7	
W28	D13	530	6	0.995	0.53	3	
W29	D13	8800	3	0.995	8.76	26	
W30	D13	8800	3	0.995	8.76	26	
W31	D13	690	2	0.995	0.69	1	
W32	D13	690	2	0.995	0.69	1	
W33	D13	2400	22	0.995	2.39	53	(平均長)
W34	D13	670	8	0.995	0.67	5	
W35	D13	670	8	0.995	0.67	5	
W36	D13	530	9	0.995	0.53	5	
						384	
合 計 D13				384	kg		
総重量				384	kg		

使用材料

躯体	コンクリート	24N/mm ²
	鉄筋	SD345

平成8年度

道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事

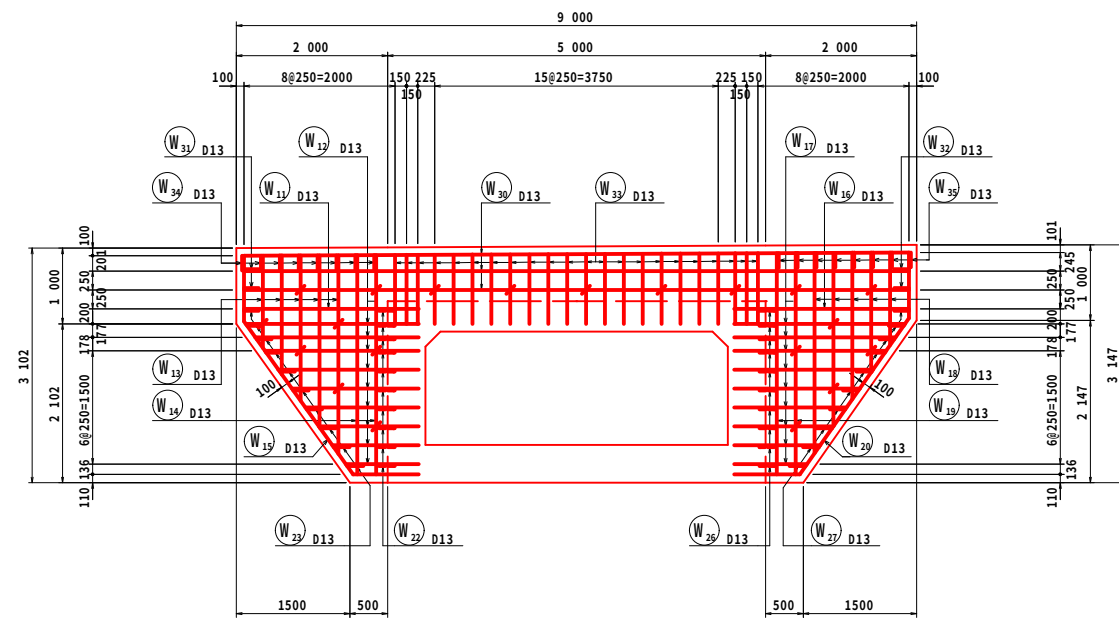
南相馬市原町区馬場字川原田地内

上流側ウイング配筋図(2)

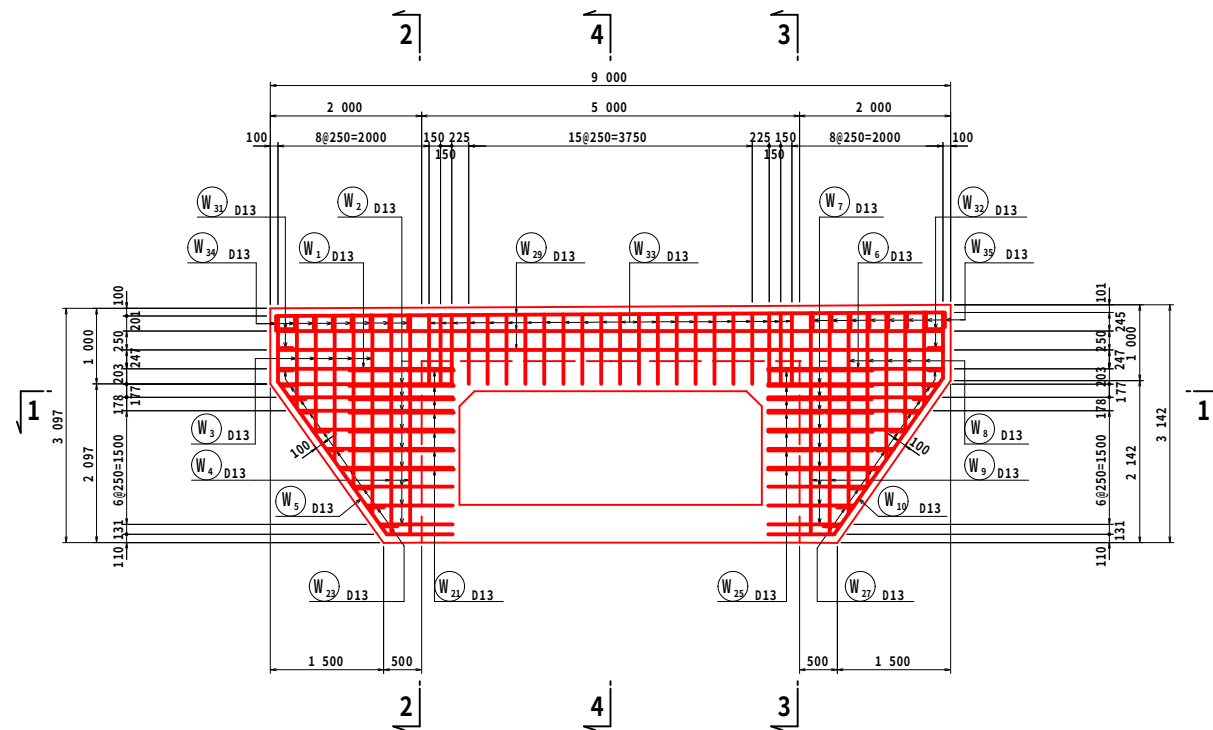
縮尺	S=1:50	図面番号	8 / 22
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

下流側ウイング配筋図(1) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

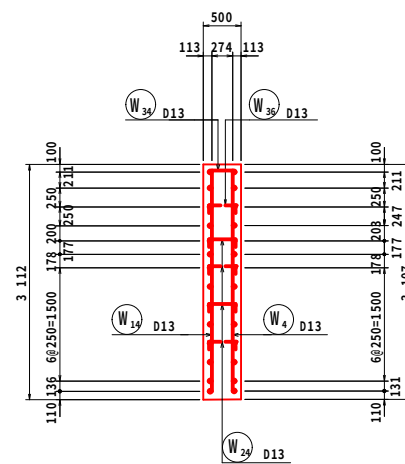
前面図



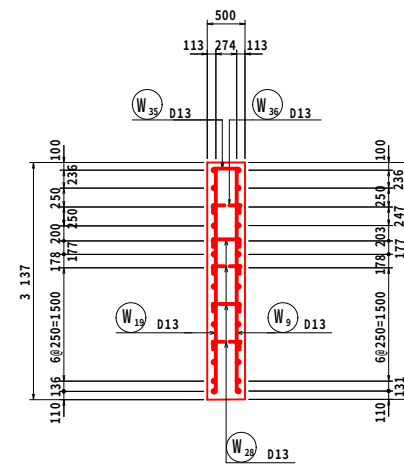
背面図



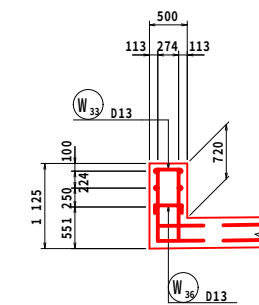
2 - 2



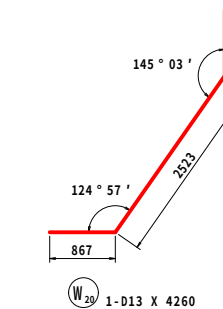
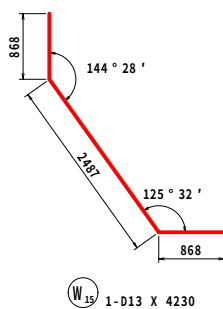
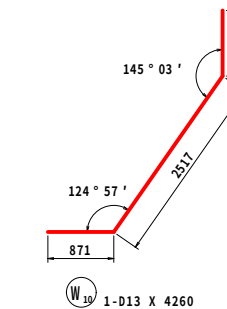
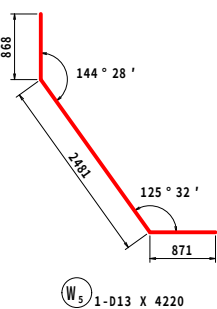
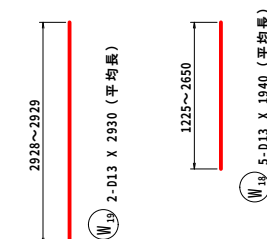
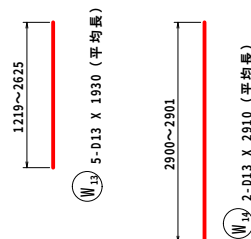
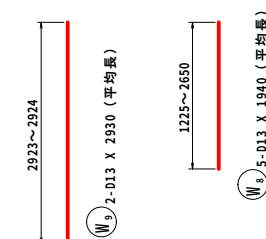
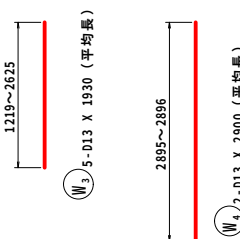
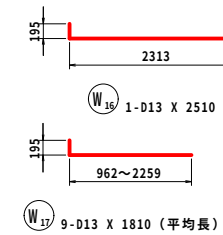
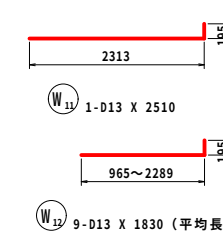
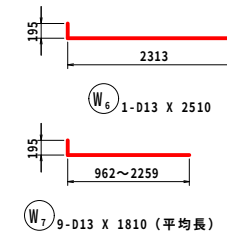
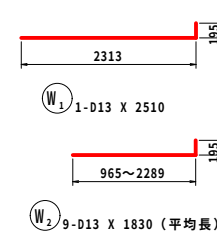
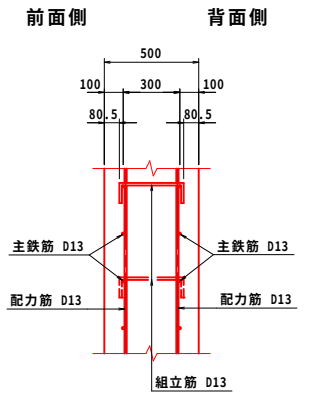
3 - 3



4 - 4



かぶり詳細図

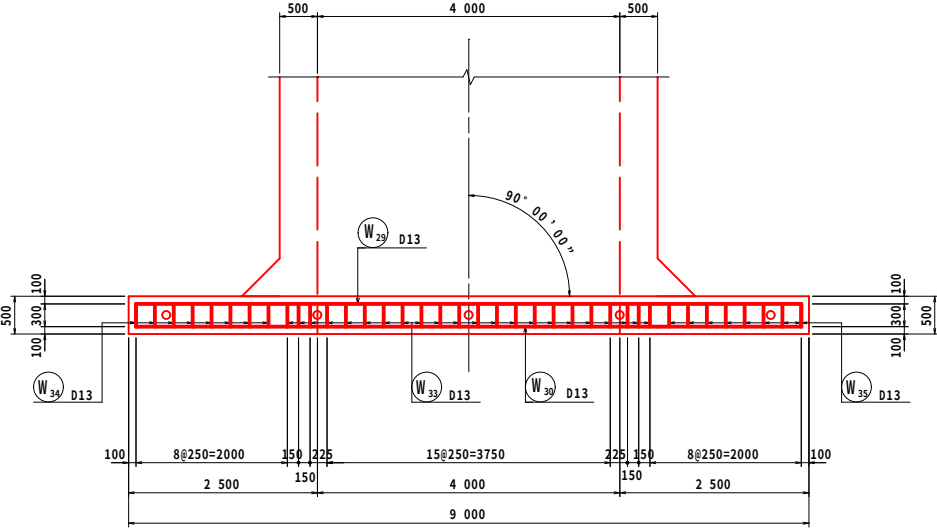


使用材料		
部	コンクリート	24N/mm ²
体	鉄筋	SD345

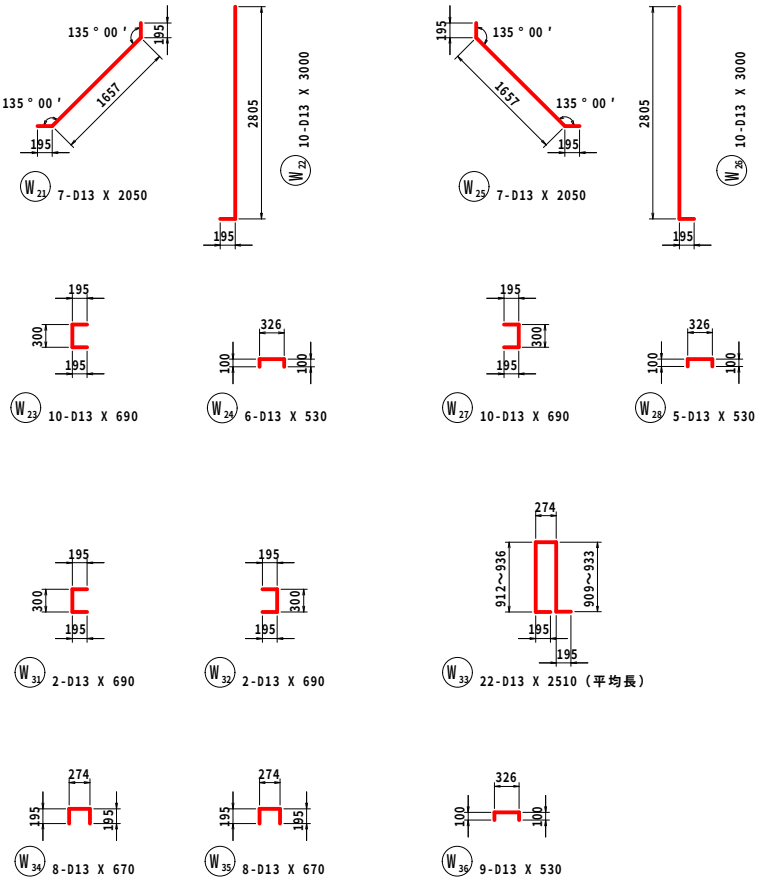
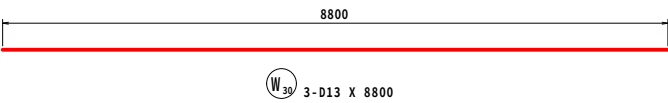
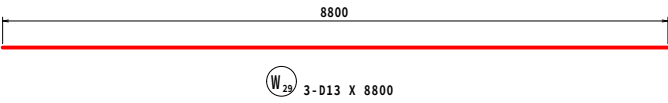
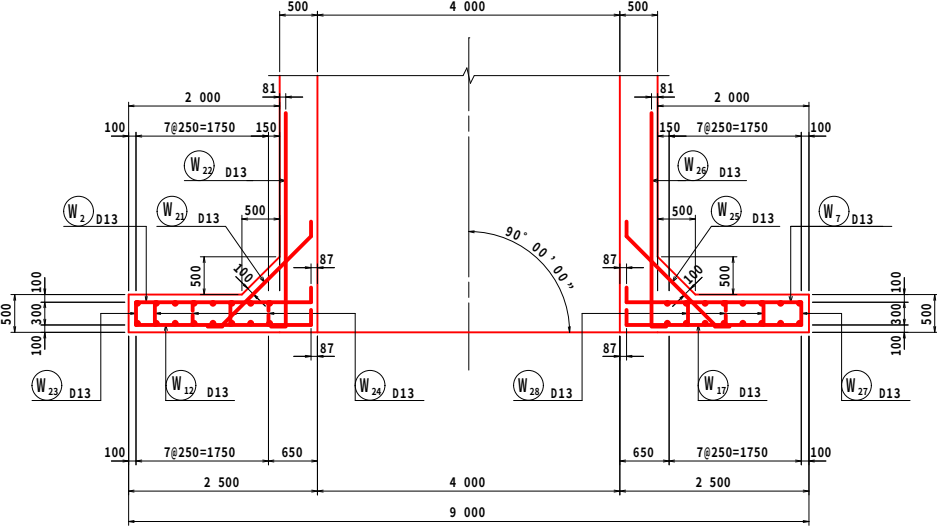
平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田内			
下流側ウイング配筋図(1)			
縮尺	S=1:50	図面番号	9 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福島県南相馬市			

下流側ウイング配筋図(2) S=1:50
(押釜馬場線3号橋)

平面図



1 - 1



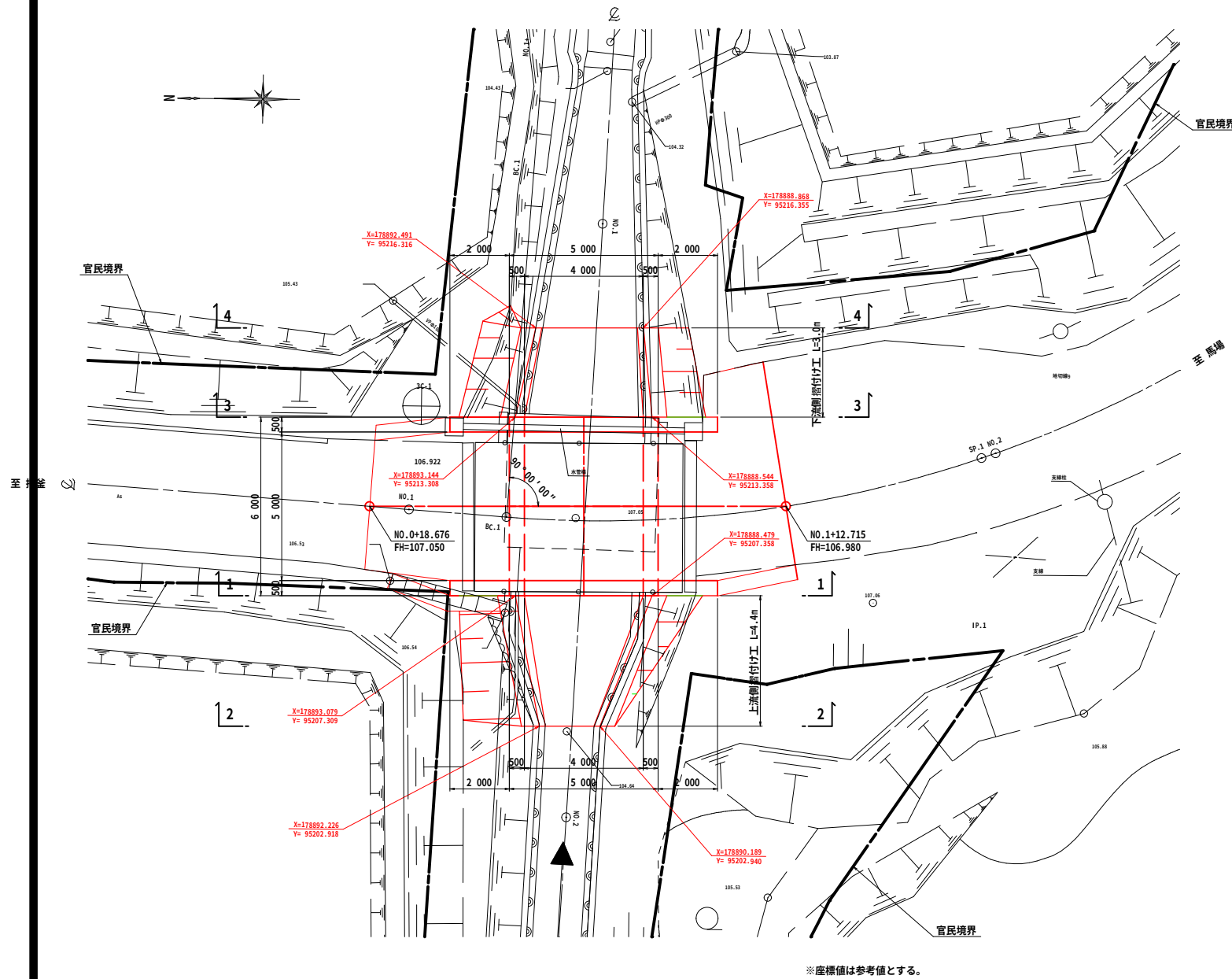
鉄筋重量表

種別	径	長さ(mm)	本数(本)	単位重量(kg/m)	一本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
W ₁	D13	2510	1	0.995	2.50	3	—
W ₂	D13	1830	9	0.995	1.82	16	— (平均長)
W ₃	D13	1930	5	0.995	1.92	10	— (平均長)
W ₄	D13	2900	2	0.995	2.89	6	— (平均長)
W ₅	D13	4220	1	0.995	4.20	4	—
W ₆	D13	2510	1	0.995	2.50	3	—
W ₇	D13	1810	9	0.995	1.80	16	— (平均長)
W ₈	D13	1940	5	0.995	1.93	10	— (平均長)
W ₉	D13	2930	2	0.995	2.92	6	— (平均長)
W ₁₀	D13	4260	1	0.995	4.24	4	—
W ₁₁	D13	2510	1	0.995	2.50	3	—
W ₁₂	D13	1830	9	0.995	1.82	16	— (平均長)
W ₁₃	D13	1930	5	0.995	1.92	10	— (平均長)
W ₁₄	D13	2910	2	0.995	2.90	6	— (平均長)
W ₁₅	D13	4230	1	0.995	4.21	4	—
W ₁₆	D13	2510	1	0.995	2.50	3	—
W ₁₇	D13	1810	9	0.995	1.80	16	— (平均長)
W ₁₈	D13	1940	5	0.995	1.93	10	— (平均長)
W ₁₉	D13	2930	2	0.995	2.92	6	— (平均長)
W ₂₀	D13	4260	1	0.995	4.24	4	—
W ₂₁	D13	2050	7	0.995	2.04	14	—
W ₂₂	D13	3000	10	0.995	2.99	30	—
W ₂₃	D13	690	10	0.995	0.69	7	—
W ₂₄	D13	530	6	0.995	0.53	3	—
W ₂₅	D13	2050	7	0.995	2.04	14	—
W ₂₆	D13	3000	10	0.995	2.99	30	—
W ₂₇	D13	690	10	0.995	0.69	7	—
W ₂₈	D13	530	5	0.995	0.53	3	—
W ₂₉	D13	8800	3	0.995	8.76	26	—
W ₃₀	D13	8800	3	0.995	8.76	26	—
W ₃₁	D13	690	2	0.995	0.69	1	—
W ₃₂	D13	690	2	0.995	0.69	1	—
W ₃₃	D13	2510	22	0.995	2.50	55	— (平均長)
W ₃₄	D13	670	8	0.995	0.67	5	—
W ₃₅	D13	670	8	0.995	0.67	5	—
W ₃₆	D13	530	9	0.995	0.53	5	—
388							
合計 D13							388 kg
総重量							388 kg

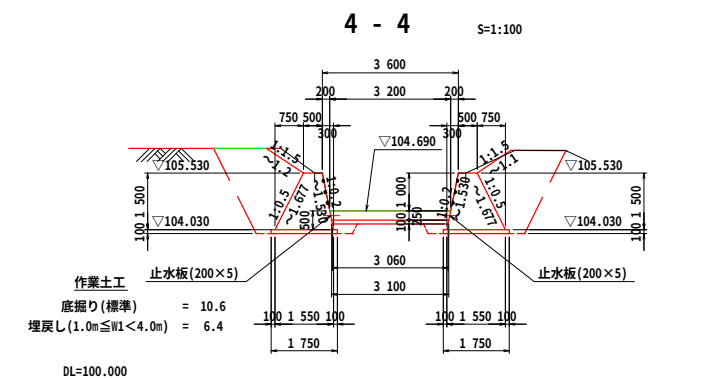
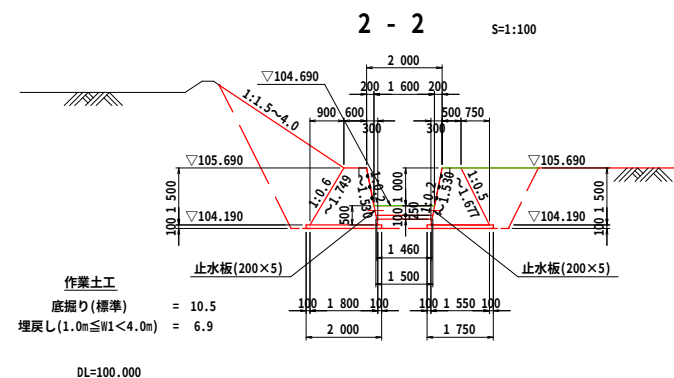
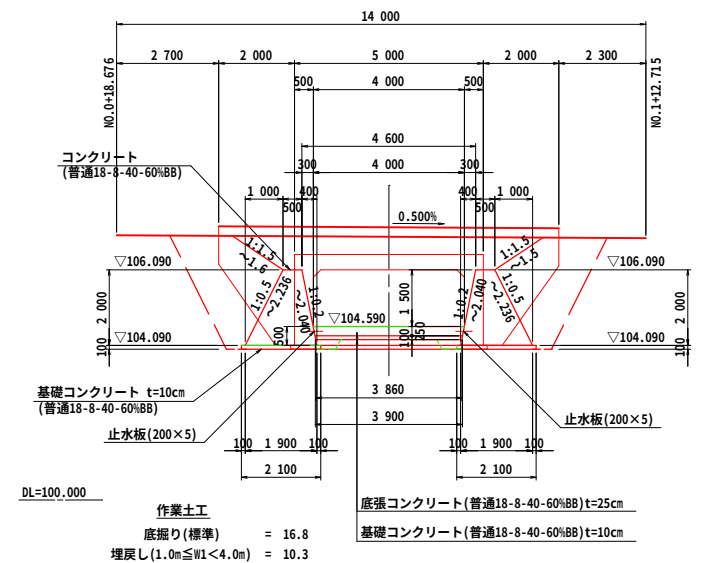
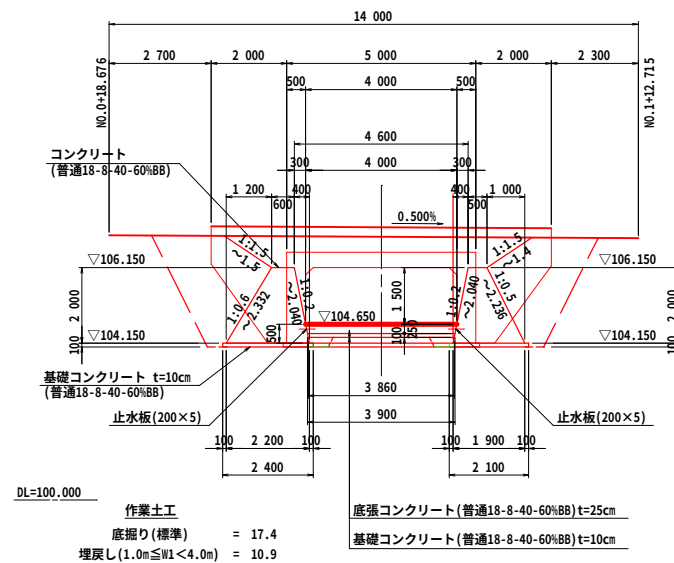
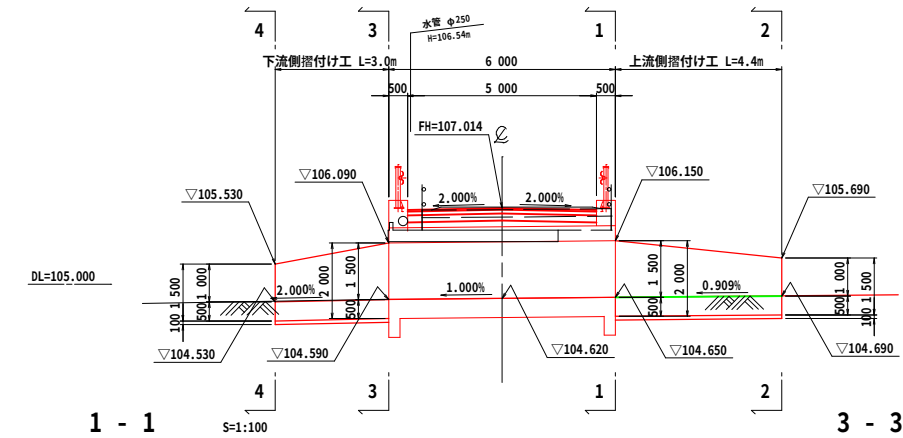
使用材料		
躯体	コンクリート	24N/mm ²
	鉄筋	SD345

平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原地内			
下流側ウイング配筋図(2)			
縮尺	S=1:50	図面番号	10 / 22
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

摺付け工構造図



※座標値は参考値とする。



上流側水路摺付け工(1.0式)

重力式擁壁工

コンクリート	$\{(0.60+2.20) \times 2.00 + (0.60+1.80) \times 1.50 + (0.50+1.90) \times 2.00 + (0.50+1.55) \times 1.50\} \times 1/2 \times 1/2 \times 4.40$	= 18.78 m ³
(普通18-8-40-60BB)		
型	$\{(2.332+1.749) + (2.040+1.530) \times 2 + (2.236+1.677)\} \times 1/2 \times 4.40$	= 33.3 m ²
(無筋)		
基礎コンクリート	$\{(2.40+2.00) + (2.10+1.75)\} \times 1/2 \times 0.10 \times 4.40$	= 1.82 m ³
(普通18-8-40-60BB)		
基礎型枠	$0.10 \times 2 \times 2 \times 4.40$	= 1.8 m ²
目的地材	$\{(0.60+2.20) \times 2.00 + (0.60+1.80) \times 1.50 + (0.50+1.90) \times 2.00 + (0.50+1.55) \times 1.50\} \times 1/2$	= 8.5 m ²
(エラストイトt=10mm)		
<u>底張コンクリート工</u>		
底張コンクリート	$(4.00+3.90+1.60+1.50) \times 1/2 \times 0.25 \times 1/2 \times 4.40$	= 3.03 m ³
(普通18-8-40-60BB)		
基礎コンクリート	$(3.90+3.86+1.50+1.46) \times 1/2 \times 0.10 \times 1/2 \times 4.40$	= 1.18 m ³
(普通18-8-40-60BB)		
止水板(200×5)	4.40×2	= 8.8 m

作 業 土 工

床掘り(標準)	$(17.4+10.5) \times 1/2 \times 4.40$	= 61.4	m3
埋戻し(1.0m≦W1<4.0m)	$(10.9+6.9) \times 1/2 \times 4.40$	= 39.2	m3
基面整正	$(2.40+2.00+2.10+1.75) \times 1/2 \times 4.40$	= 18.2	m2
河川土工			
法面整形(盛土部)	$(1.5+4.0+1.4) \times 1/2 \times 4.40$	= 15.2	m2
張芝(人芝)	$(1.5+4.0+1.4) \times 1/2 \times 4.40$	= 15.2	m2

重力式擁壁工

コンクリート	$\{ (0.50+1.90) \times 2.00 + (0.50+1.55) \times 1.50 \} \times 1/2 \times 2 \times 1/2 \times 3.00$	= 11.81 m3
(普通18-8-40-60φBB)		
型	枠	$\{ (2.236+1.677) + (2.040+1.530) \} \times 1/2 \times 2 \times 3.00$
(無筋)		= 22.4 m2
基礎コンクリート	$(2.10+1.75) \times 1/2 \times 0.10 \times 2 \times 3.00$	= 1.16 m3
(普通18-8-40-60φBB)		
基礎型	枠	$0.10 \times 2 \times 2 \times 3.00$
		= 1.2 m2
目地材	$\{ (0.50+1.90) \times 2.00 + (0.50+1.55) \times 1.50 \} \times 1/2 \times 2$	= 7.9 m2
(エラストイトt=10mm)		
<u>底張コンクリート工</u>		
底張コンクリート	$(4.00+3.90+3.20+3.10) \times 1/2 \times 0.25 \times 1/2 \times 3.00$	= 2.66 m3
(普通18-8-40-60φBB)		
基礎コンクリート	$(3.90+3.86+3.10+3.06) \times 1/2 \times 0.10 \times 1/2 \times 3.00$	= 1.04 m3
(普通18-8-40-60φBB)		
止水板(200×5)	: 3.00×2	= 6.0 m

作 業 土 工

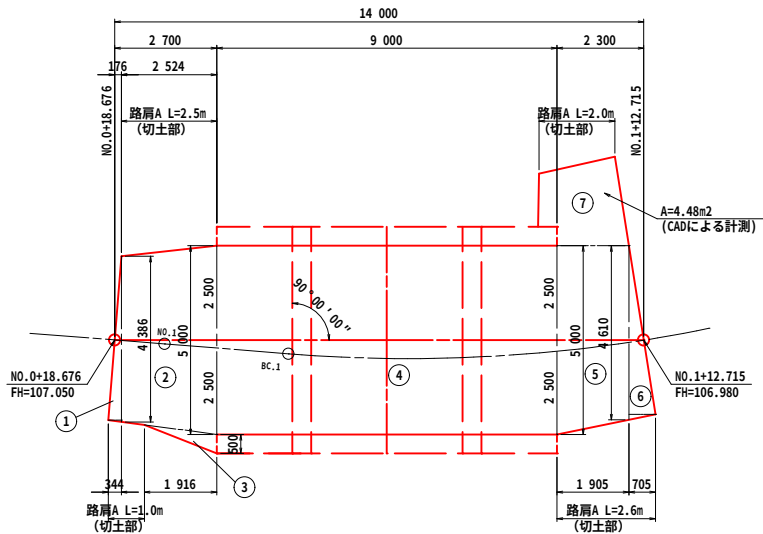
床 据 り (標 準)	: (16.8+10.6)×1/2×3.00	= 41.1 m3
埋 戻 し (1.0m≦W1<4.0m)	(10.3+6.4)×1/2×3.00	= 25.1 m3
基 面 整 正	: (2.10+1.75)×1/2×2×3.00	= 11.6 m2
河 川 土 工		
法 面 整 形 (盛土部)	: (1.6+1.2+1.5+1.1)×1/2×3.00	= 8.1 m2
張 芝 (人 工 芝)	: (1.6+1.2+1.5+1.1)×1/2×3.00	= 8.1 m2

※摺付け工の、現況擁壁工との摺付け部は、現況高・位置を校測し現況擁壁工に合せて施工を行う。

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（神釜・馬場橋3号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田内地			
摺 付 け 工 構 造 図			
縮尺	S=1:100	図面番号	11 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福島県南相馬市			

舗装工展開図

舗装展開図 S=1:100

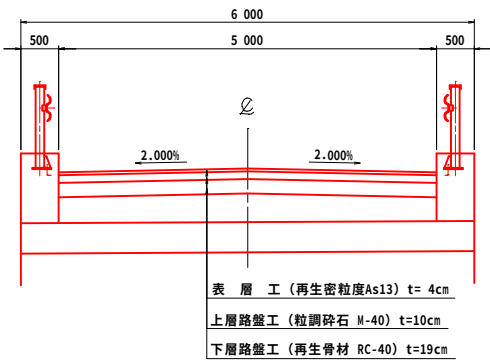


	算 式(m)	面 積(m2)
①	$4.386 \times 0.344 \times 1/2$	0.75
②	$(4.386 + 5.00) \times 1/2 \times 2.524$	11.85
③	$1.916 \times 0.50 \times 1/2$	0.48
④	5.00×9.00	45.00
⑤	$(5.00 + 4.61) \times 1/2 \times 1.905$	9.15
⑥	$4.61 \times 0.705 \times 1/2$	1.63
⑦	CADによる計測	4.48
	合 計	73.34

舗 装 工 数 量

表 層 工 : 73.34 (W>3.0m 再生密粒度As13 t=4cm)	=	73.3 m2
上 層 路 盤 工 : 73.34*(2.5+2.0+1.0+2.6)×0.05 (W>3.0m 粒調砕石 M-40 t=10cm)	=	73.7 m2
下 層 路 盤 工 : 73.75*(2.5+2.0+1.0+2.6)×0.20 (再生骨材 RC-40 t=19cm)	=	75.4 m2
路 側 材 : (2.5+2.0+1.0+2.6)×0.010 (粒調砕石 M-40)	=	0.1 m3
路 側 材 : (2.5+2.0+1.0+2.6)×0.019 (再生骨材 RC-40)	=	0.2 m3
路 肩 盛 土 : (2.5+2.0+1.0+2.6)×0.03	=	0.2 m3
筋 芝 : (2.5+2.0+1.0+2.6)×0.3	=	2.4 m3

標準横断面 S=1:20

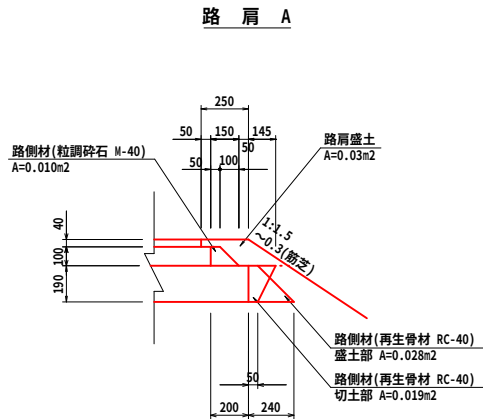


舗装構成（簡易舗装）

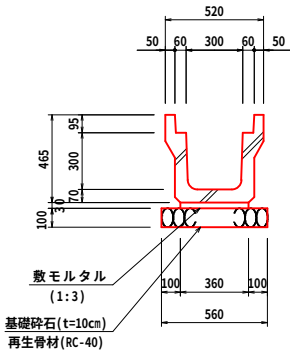
設計CBR3%（仮定）合計厚t=33cm、凍結深t=18cm

区 分	工 法・材 料	設 計 厚	備 考
表 層 工	再生密粒度As13	4cm	
上層路盤工	粒調砕石 M-40	10cm	修正CBR80以上
下層路盤工	再生骨材 RC-40	19cm	修正CBR30以上
合 計		33cm	

路肩構造図 S=1:20



U 型 側 溝 (III-A-i-300A) S=1:20



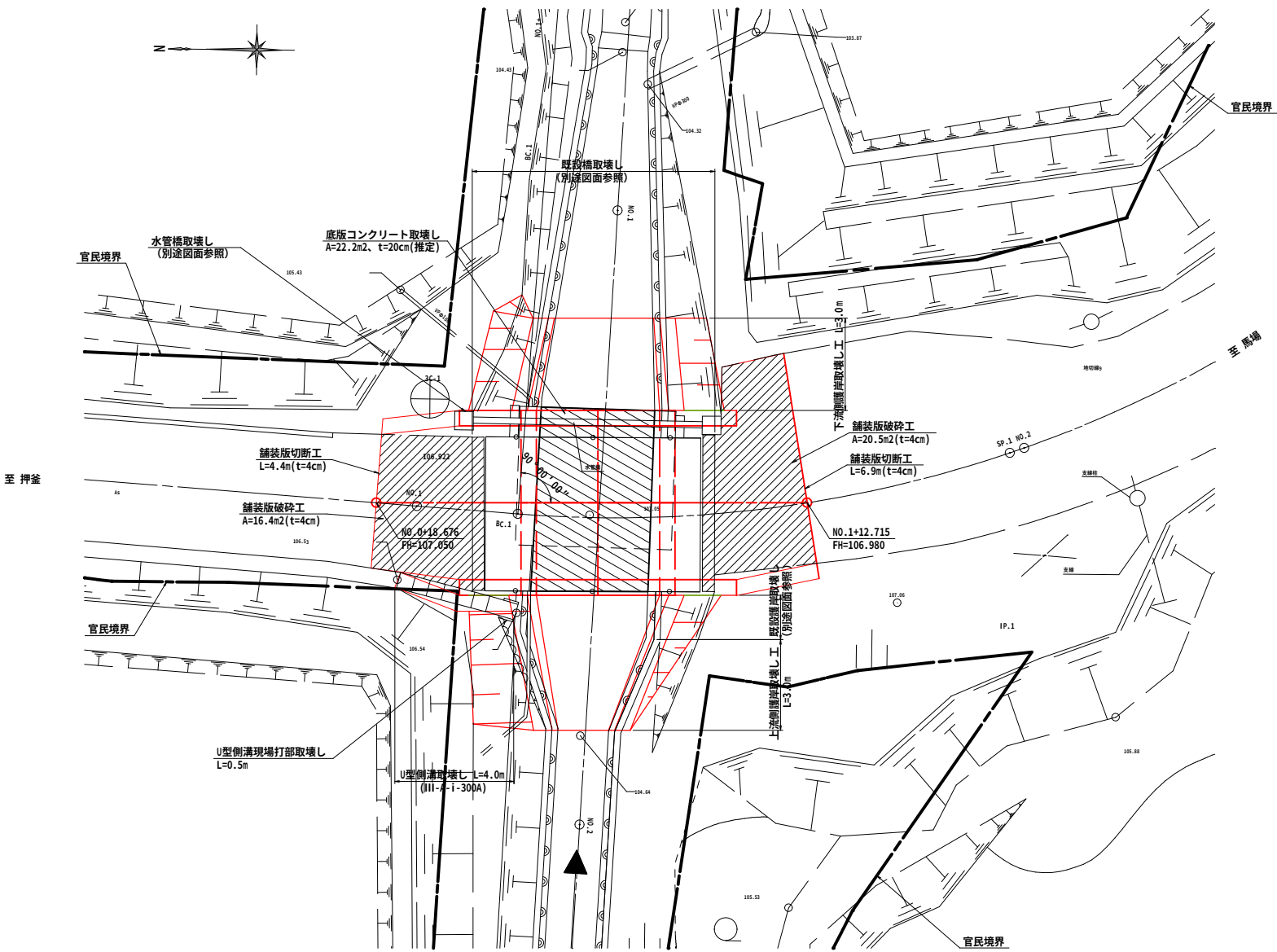
材 量 表 (10.0m当り)

種 別	単 位	数 量
側 溝	個	5.0
敷モルタル (1:3)	m ²	0.108
基礎砕石 (t=10cm, 再生骨材RC-40)	m ²	5.60

平成8年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押室・馬場線3号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
舗 装 工 展 開 図			
縮尺	図 示	図面番号	12 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福島県南相馬市			

取壊し工構造図

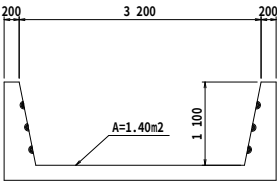
平面図 S=1:100



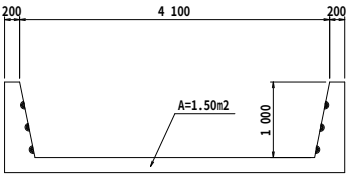
構造物取壊し工数量 (1.0式)

U型側溝現場打部取壊し : 0.5×0.57	=	0.3 m3
底版コンクリート取壊し : 22.2×0.20	=	4.4 m3
上流側護岸取壊し : 1.40×3.0	=	4.2 m3
下流側護岸取壊し : 1.50×3.0	=	4.5 m3
(無筋集計) コンクリート構造物取壊し : 0.3+4.4+4.2+4.5	=	13.4 m3
(III-A-i-300A) U型側溝取壊し : 4.0×0.08	=	0.3 m3
(VII-C-g-300) コンクリート蓋 : 4.0×0.04	=	0.2 m3
(鉄筋集計) コンクリート構造物取壊し : 0.3+0.2	=	0.5 m3
(アスファルト t=4cm) 舗装版切断工 : 4.4+6.9	=	11.3 m
(アスファルト t=4cm) 舗装版破砕工 : 16.4+20.5	=	36.9 m2
(無筋) 搬運搬 :	=	13.4 m3
(鉄筋) 搬運搬 :	=	0.5 m3
(アスファルト) 搬運搬 : 36.9×0.04	=	1.5 m3
(無筋) 産業廃棄物処理 : 13.4×2.35	=	31.5 t
(鉄筋) 産業廃棄物処理 : 0.5×2.50	=	1.3 t
(アスファルト) 産業廃棄物処理 : 1.5×2.35	=	3.5 t
既設橋取壊し : 旧橋撤去工にて計上	=	1.0 式
既設護岸取壊し : 旧橋撤去工にて計上	=	1.0 式
水管橋取壊し : 数量は旧橋撤去工にて計上するが、別途管理者の施設であるため協議を要する。	=	1.0 式

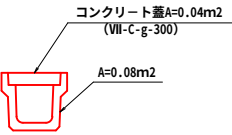
上流側護岸取壊し S=1:50
(平均断面)



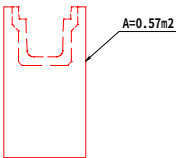
下流側護岸取壊し S=1:50
(平均断面)



U型側溝取壊し S=1:30
(III-A-i-300A)



U型側溝現場打部取壊し S=1:30

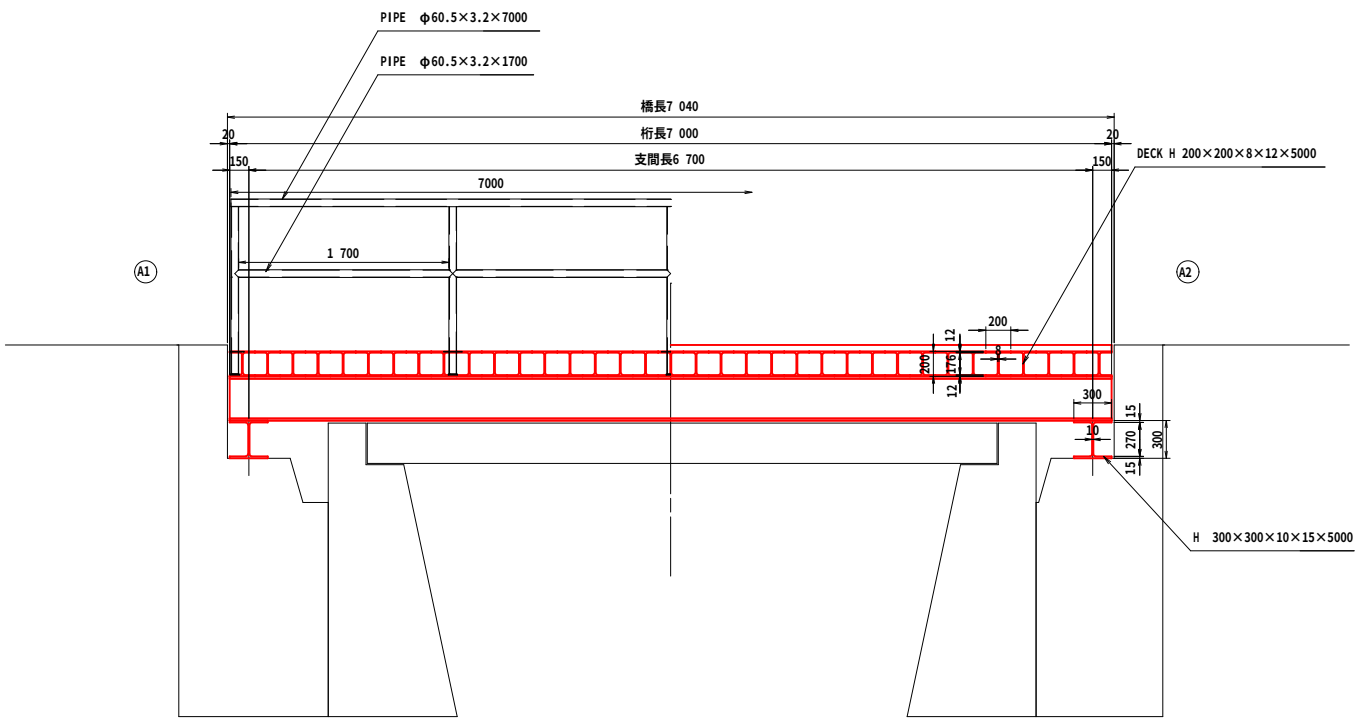


平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
取壊し工構造図			
縮尺	S=1:100	図面番号	13 / 22
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

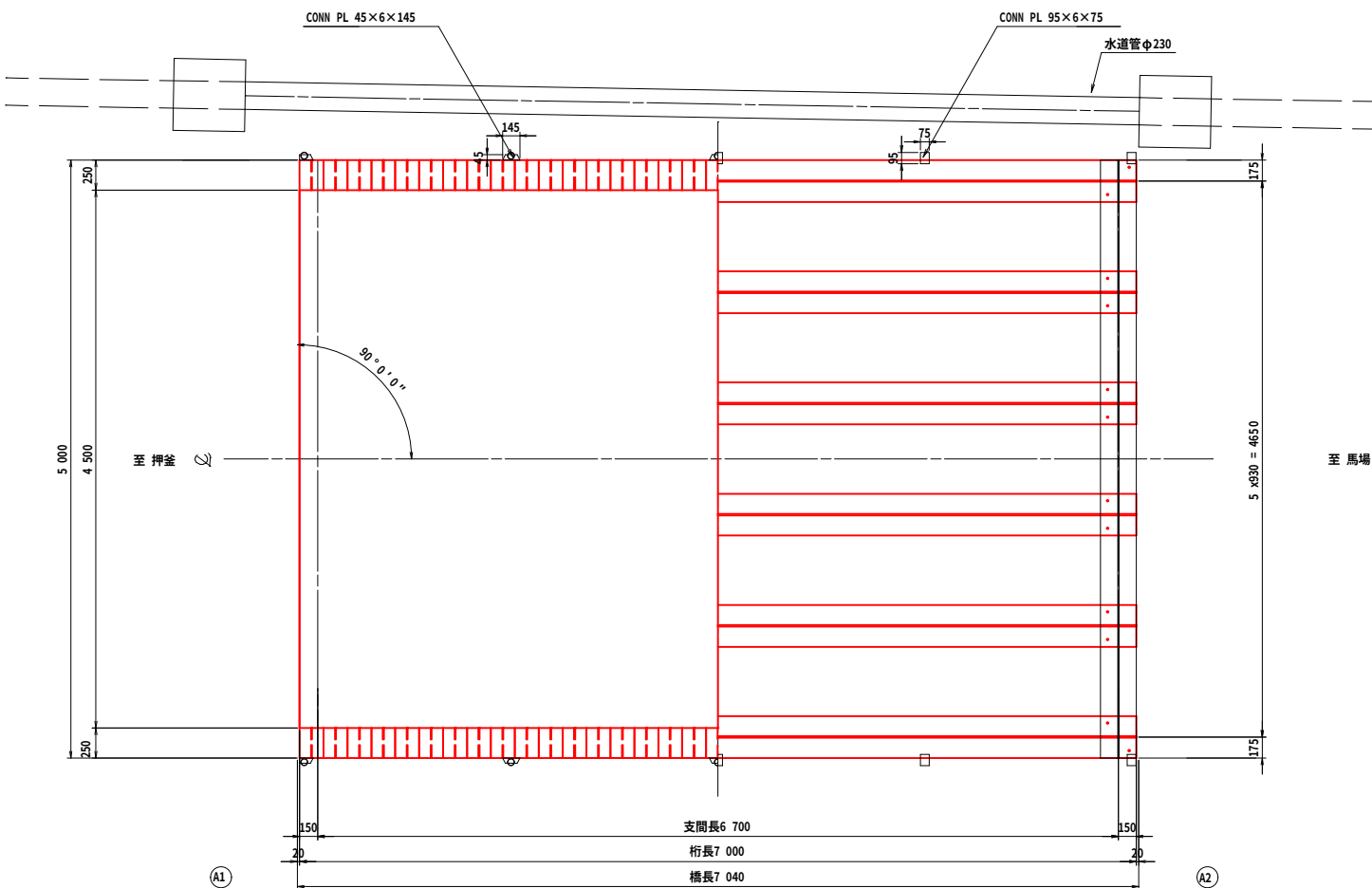
旧橋撤去寸法図(1)

<上部工>

側面図 S=1:30

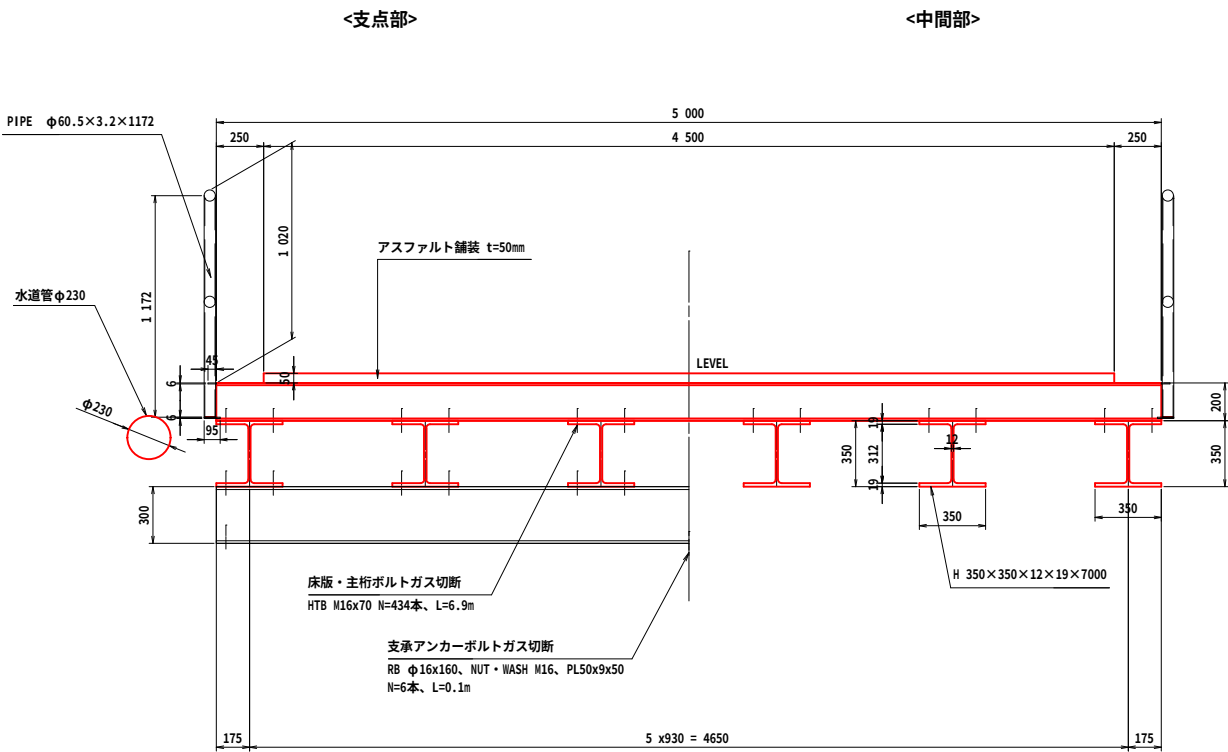


平面図 S=1:30



※桁道間は左右の平均値を採用した。

上部工断面図 S=1:20



注記
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
旧橋撤去寸法図(1)			
縮尺	図 示	図面番号	14 / 23
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

<下部工、水管橋>

Technical drawing of a bridge structure showing two cross-sections, A1 and A2, with dimensions and area calculations.

Dimensions:

- 橋長 7 040 (Bridge Length 7 040)
- 桁長 7 000 (Truss Length 7 000)
- 支間長 6 700 (Span Length 6 700)
- Section A1: 385, 500, 100, 200, 950, 350, 1 700, 1 185
- Section A2: 20, 100, 500, 385, 950, 350, 1 700, 1 005

Area Calculations:

- A=2.708m² (for Section A1)
- A=2.402m² (for Section A2)

The drawing consists of two views: a side elevation at the top and a plan view at the bottom.

Side Elevation (Top):

- Shows a bridge structure with a central span of 7,500 units.
- Support structures on either side have a width of 600 units.
- The total height of the structure is 600 units.
- A label "水道管φ230" (Water pipe φ230) points to a feature on the bridge deck.

Plan View (Bottom):

- Shows the bridge layout with a total length of 7,040 units.
- The central span length is 6,700 units.
- The bridge width is 5,000 units.
- Support structures are shown with a width of 600 units.
- Labels "H 押釜" (H Pushing Pot) are present on the left and right sides.
- Dimensions at the bottom indicate a span length of 6,700 units, a bridge length of 7,000 units, and a total bridge length of 7,040 units.
- Reference markers (A1) and (A2) are located at the bottom corners.

注記

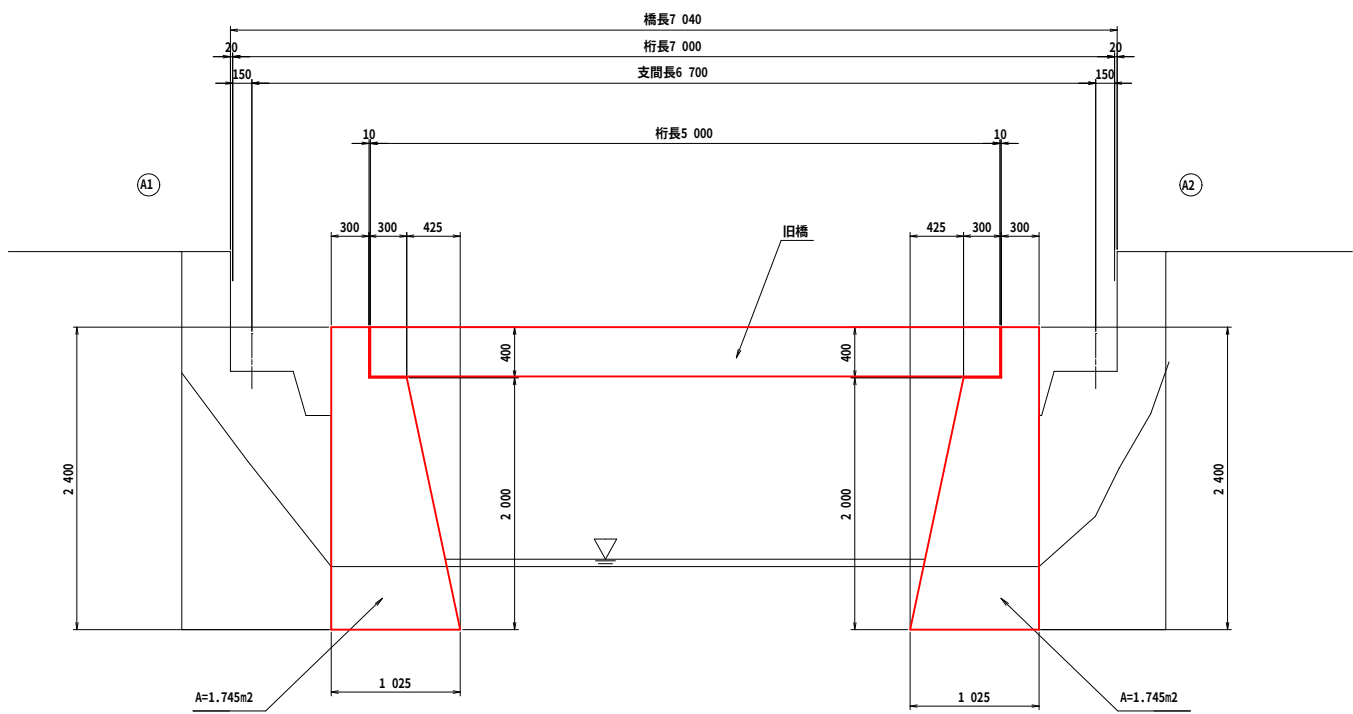
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（伊豆・馬場線2号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田内地			
旧橋撤去寸法図 (2)			
縮尺	S=1:30	図番番号	15 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福島県南相馬市			

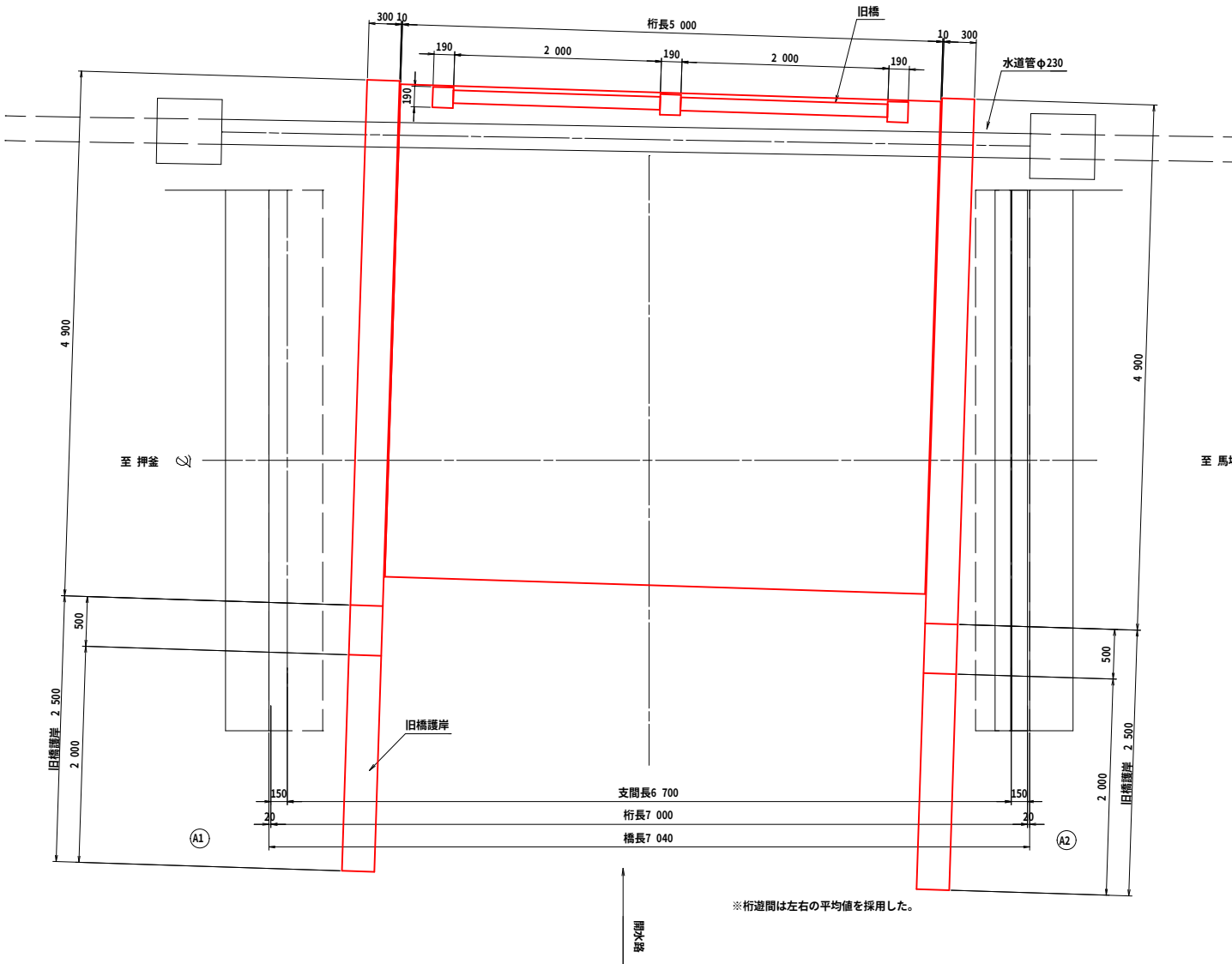
旧橋撤去寸法図(3)

<旧橋>

側面図 S=1:30

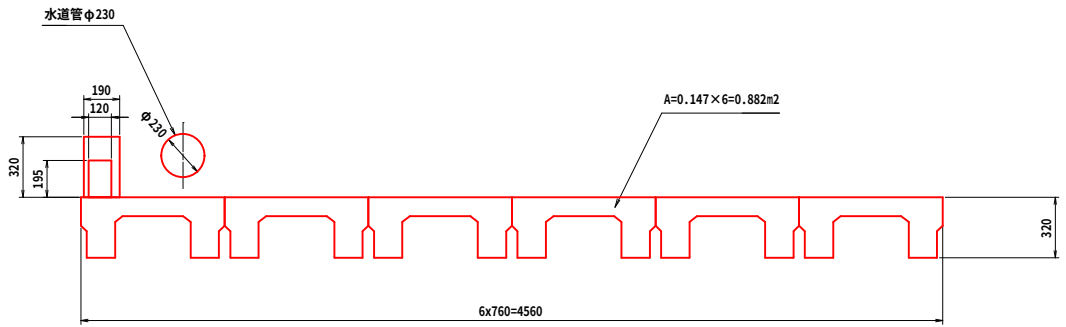


平面図 S=1:30

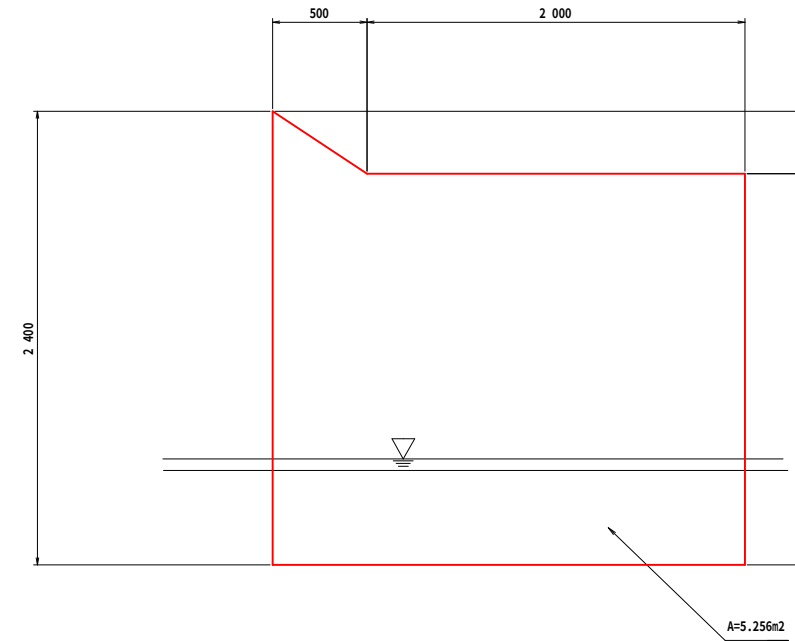


※桁間隔は左右の平均値を採用した。

旧橋断面図 S=1:20



旧橋護岸断面図 S=1:20



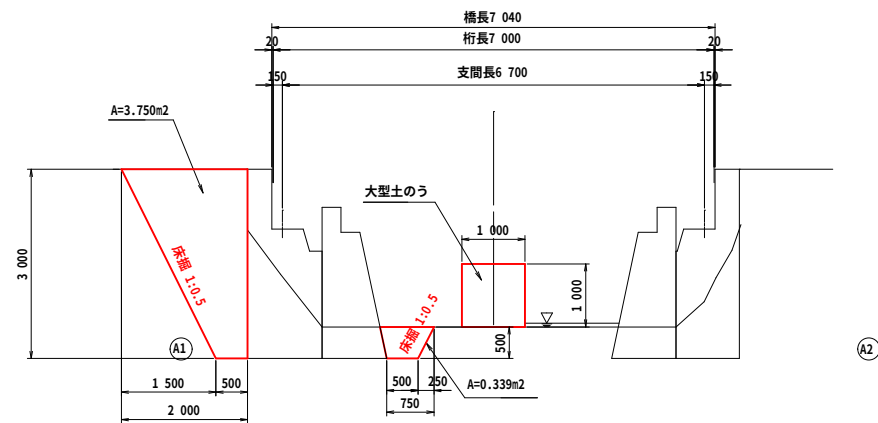
注記
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押込・馬場線3号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
旧橋撤去寸法図(3)			
縮尺	図 示	図面番号	16 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

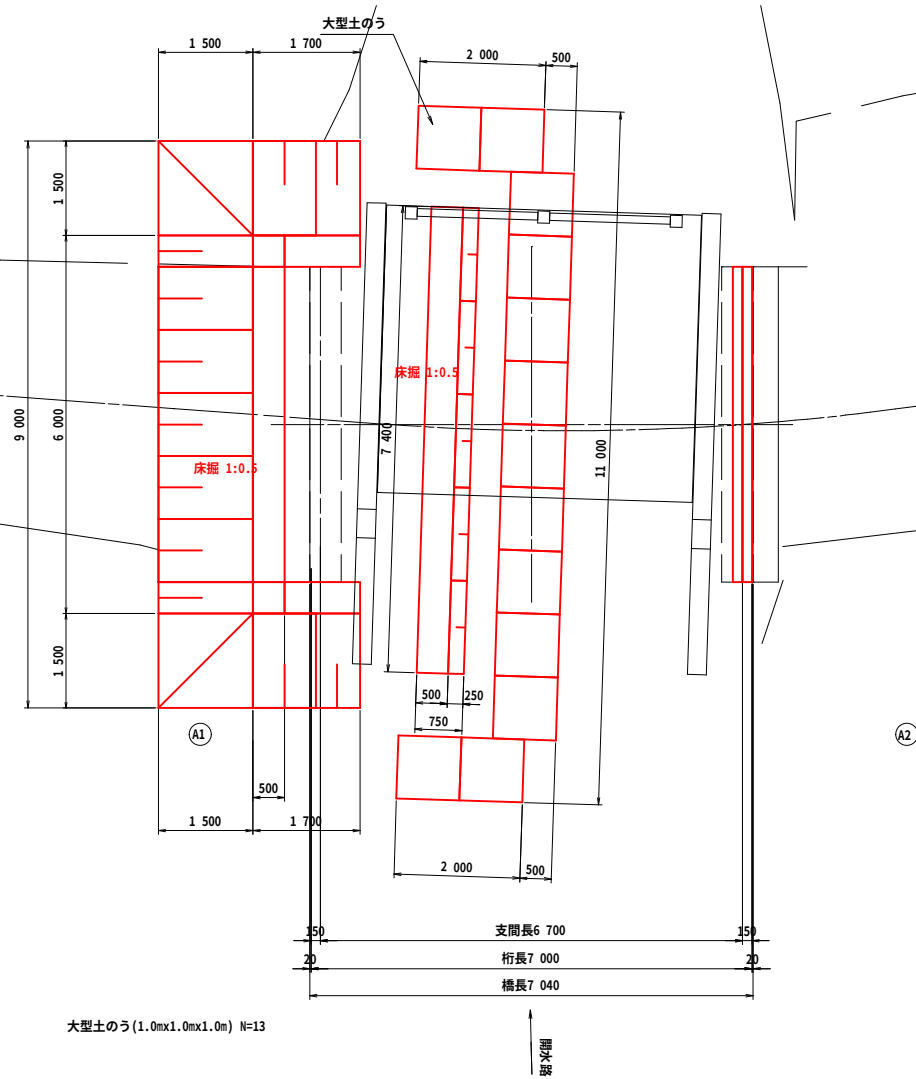
旧橋撤去寸法図(4) S=1:60
<土工、大型土のう>

A1施工時

側面図

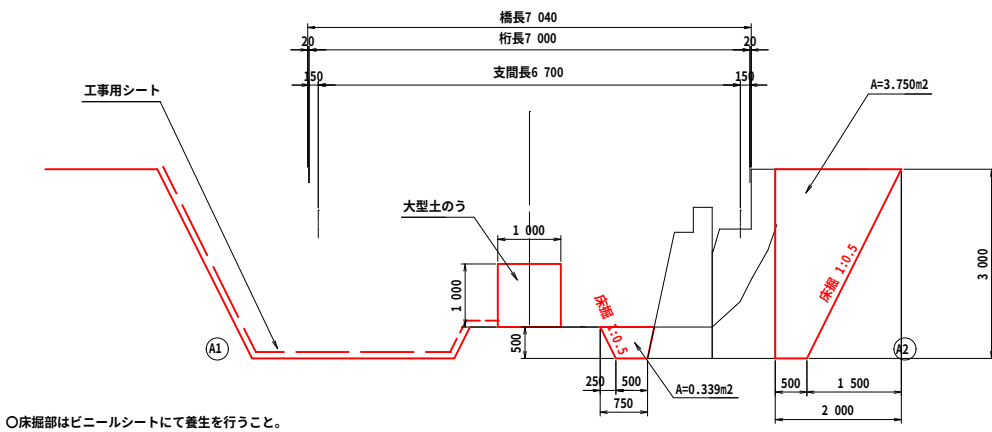


平面図

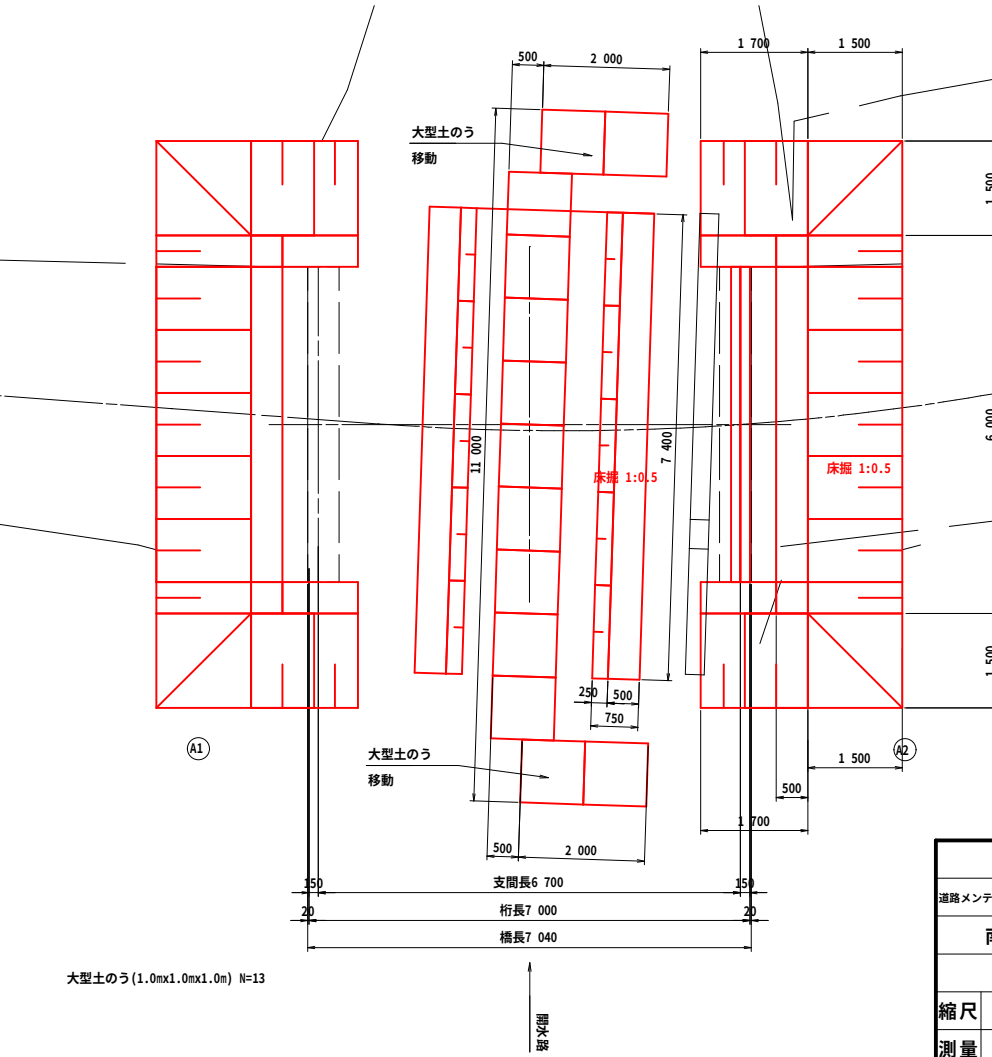


A2施工時

側面図



平面図



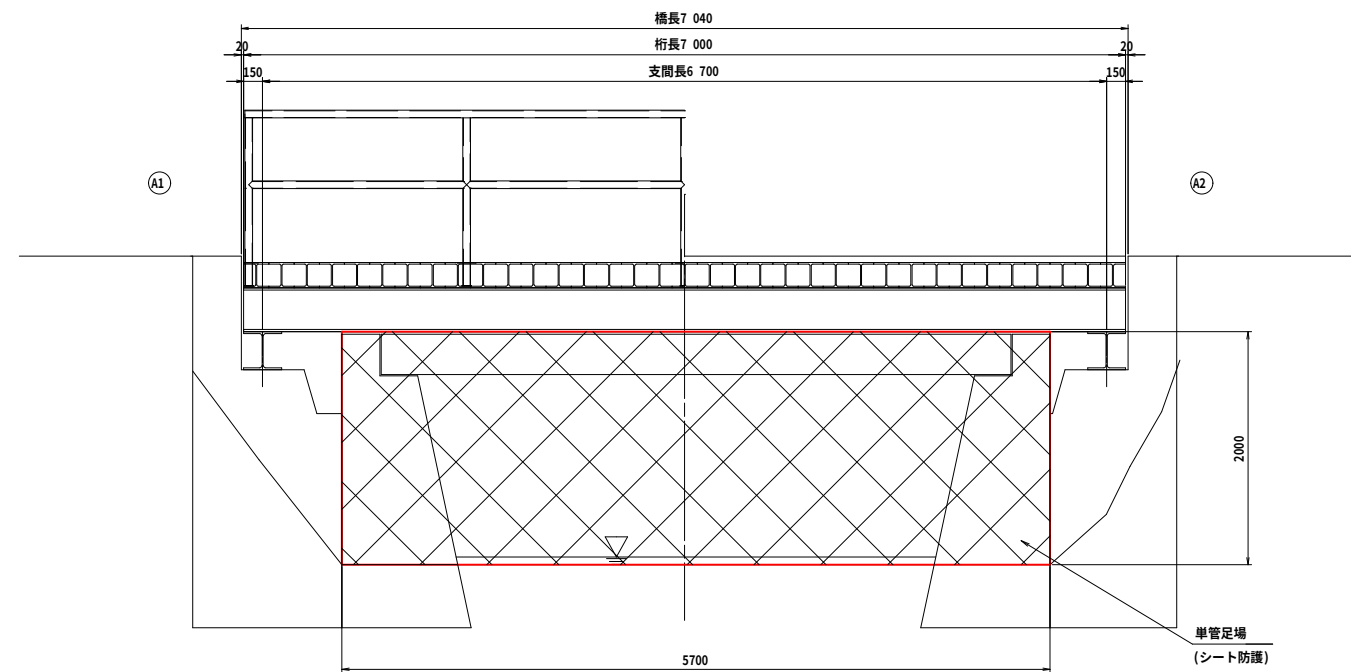
注記
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (押込・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田内			
旧橋撤去寸法図(4)			
縮尺	S=1:60	図面番号	17 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

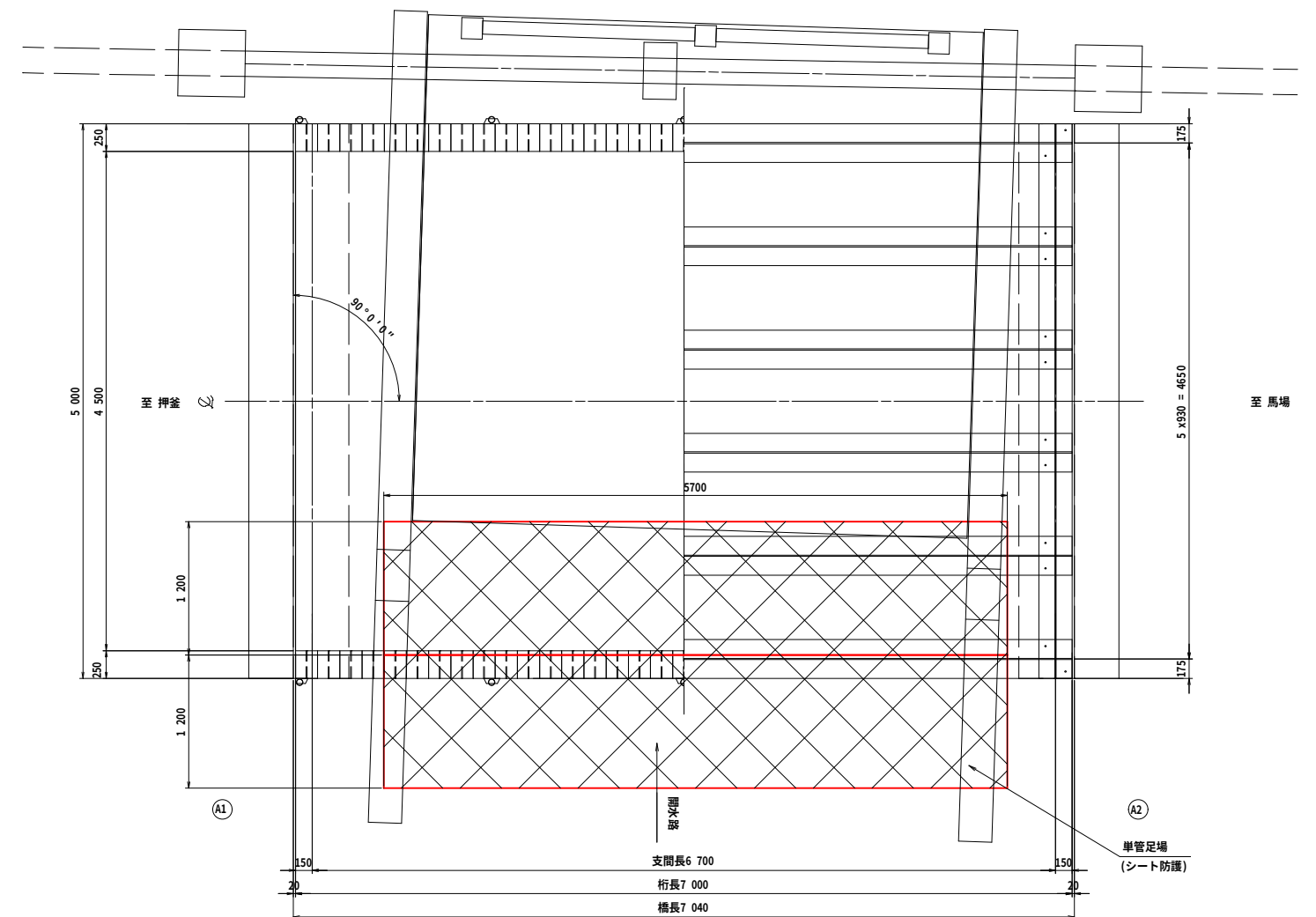
旧橋撤去寸法図(5) S=1:30

<床版・主桁接合ボルト切断用足場> ※設置範囲は適宜調整すること。

側面図



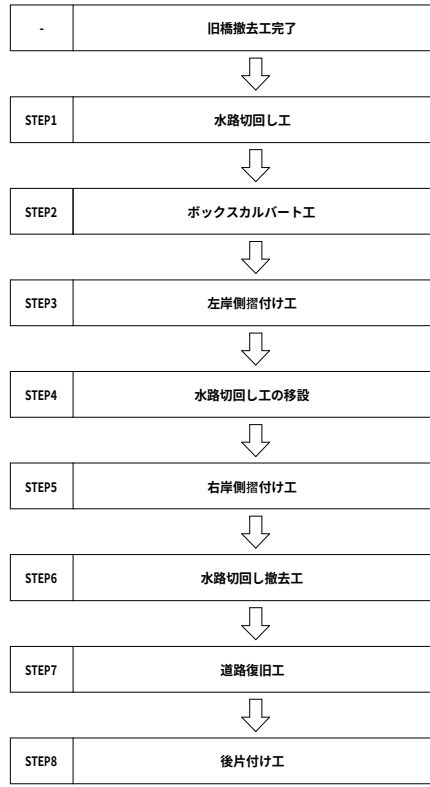
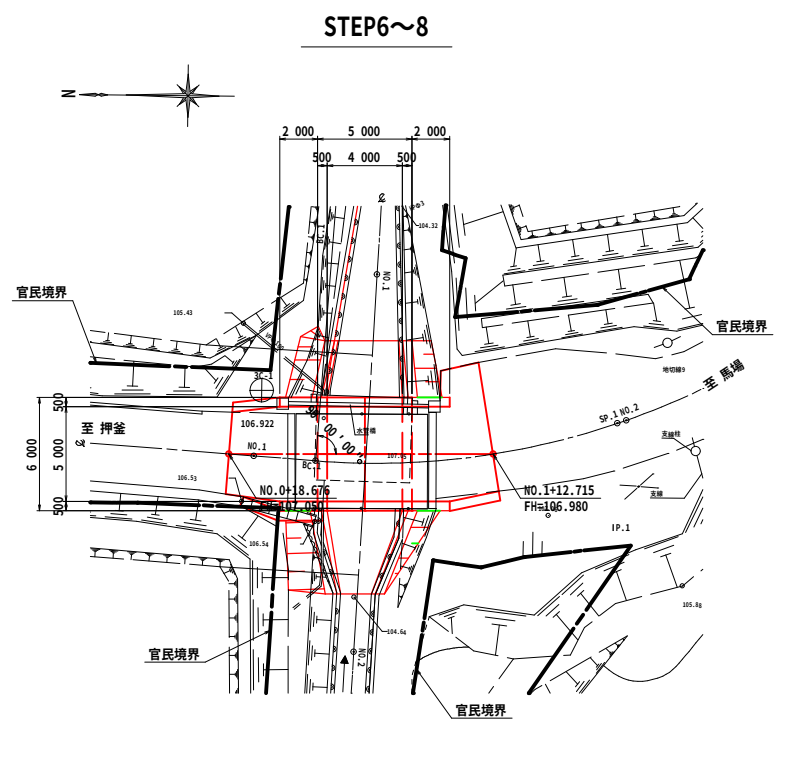
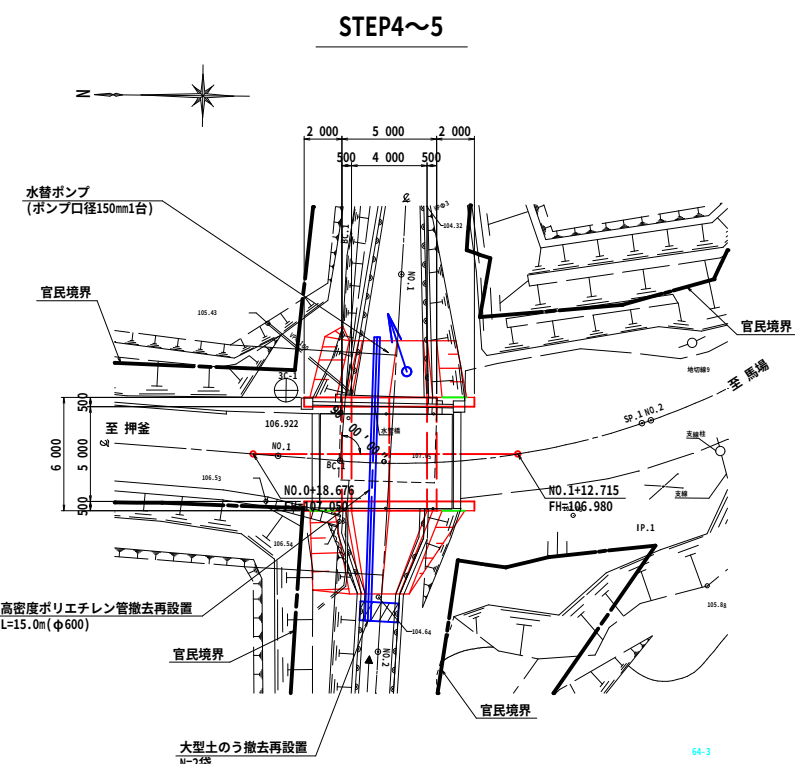
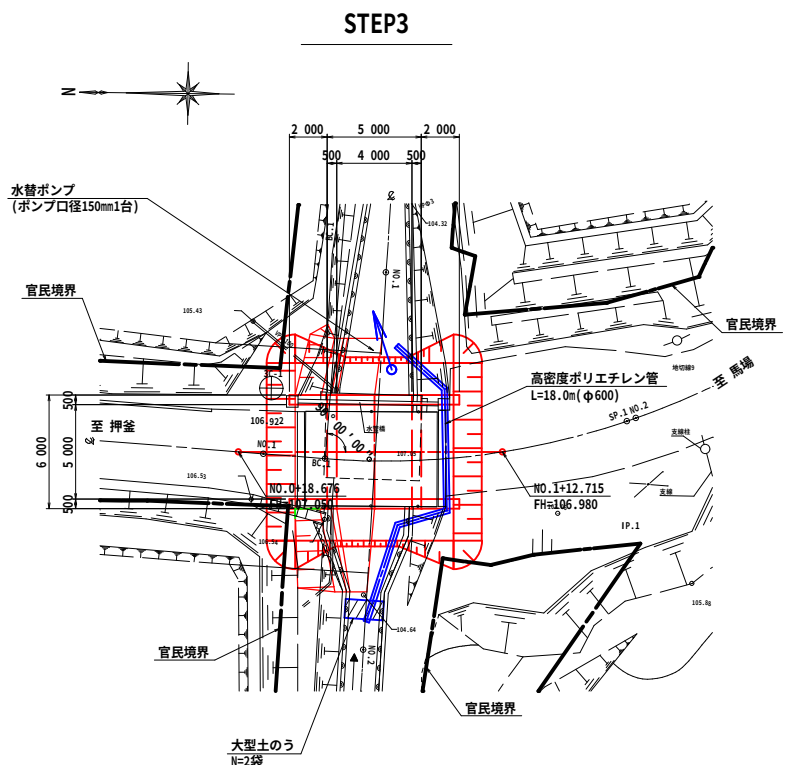
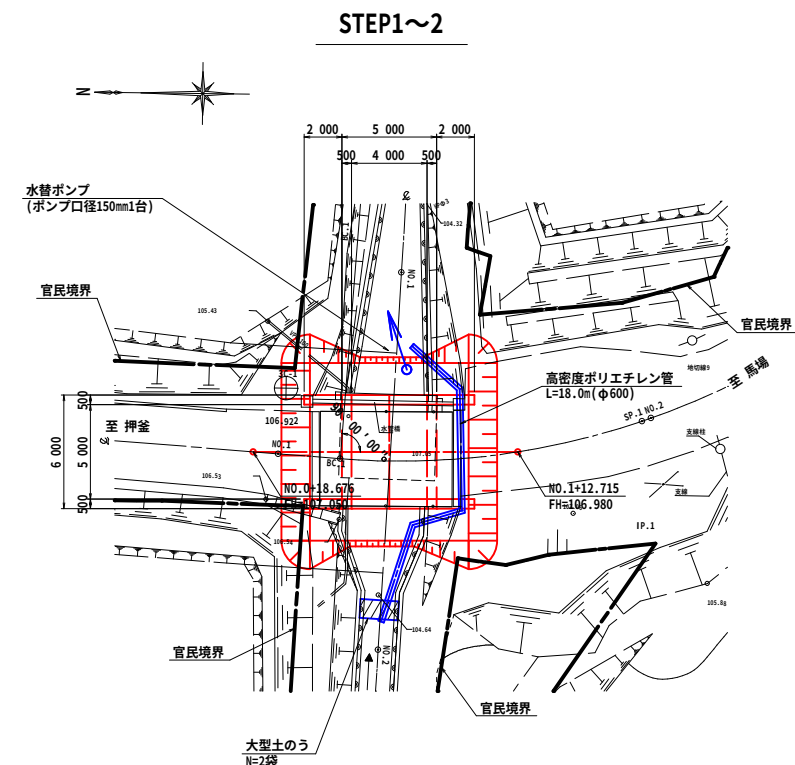
平面図



- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 撤去工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成8年度			
道路メンテナンス事業(橋梁維持) 橋梁修繕(押室・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
旧橋撤去寸法図(5)			
縮尺	S=1:30	図面番号	18 / 22
測量		主任技術者	
設計		管理技術者	
福島県南相馬市			

全体施工計画図（参考図）



仮設工数量（設置時）

大型土のう設置:	= 2.0 袋
仮設排水管設置: (高密度ポリエチレン管, φ600)	= 18.0 m
水替ポンプ据付: (ポンプ口径150mm1台)	= 1.0 箇所

仮設工数量（移設時）

大型土のう設置: (在材使用)	= 2.0 袋
仮設排水管撤去: (高密度ポリエチレン管, φ600)	= 3.0 m
仮設排水管設置: (在材使用, 高密度ポリエチレン管, φ600)	= 15.0 m

仮設工数量（撤去時）

大型土のう撤去:	= 2.0 袋
仮設排水管撤去: (高密度ポリエチレン管, φ600)	= 15.0 m
水替ポンプ撤去: (ポンプ口径150mm1台)	= 1.0 箇所

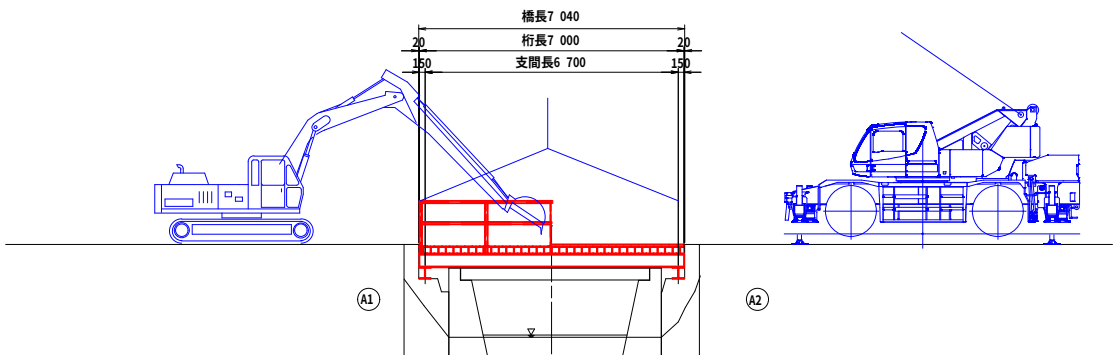
平成8年度			
道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
全体施工計画図（参考図）			
縮尺	S=1:100	図面番号	19 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福島県南相馬市			

旧橋撤去ステップ図(1) (参考図)

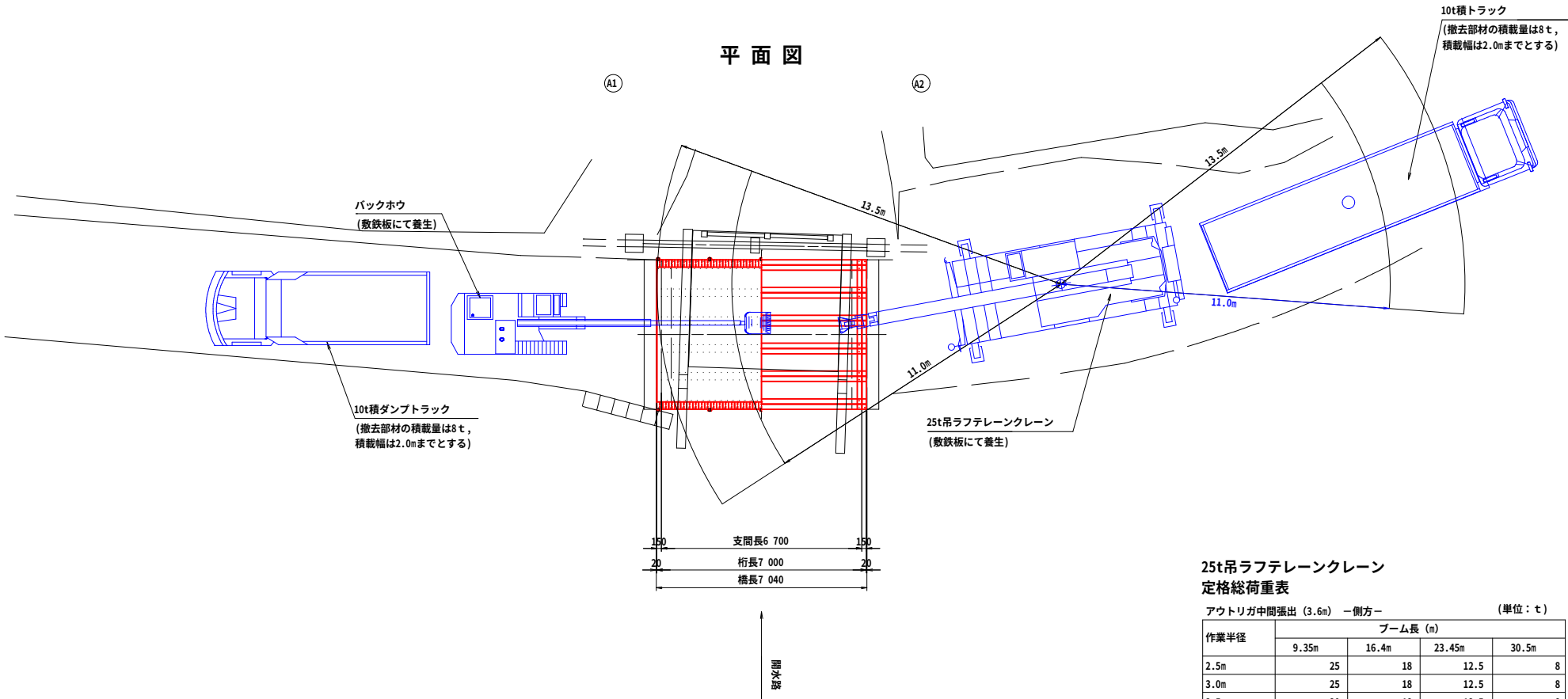
S=1:100

STEP1~10

側面図



平面図



クレーン吊重量 (重量×1.2(安全率)+吊りフック質量0.22t)

※1部材毎に撤去すること(1床版、1主桁毎)。

※以下の撤去重量は、各部材の最大重量により算出した。

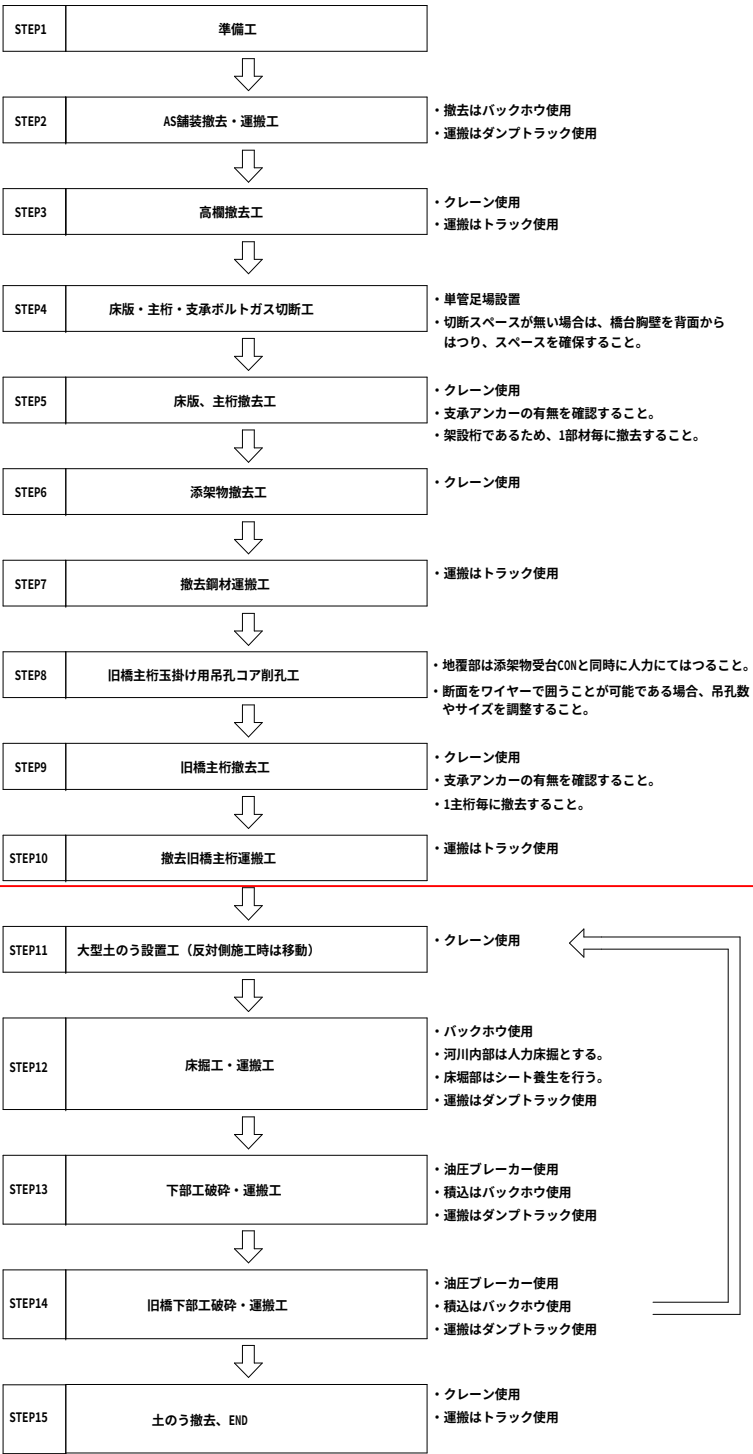
防護欄	:	0.09	×	1.2	+	0.22	=	0.328	0.4	t	<	2.55	t	(作業半径: 11.0 m)	・	・	OK
床版	:	0.250	×	1.2	+	0.22	=	0.5201	0.6	t	<	2.55	t	(作業半径: 11.0 m)	・	・	OK
主桁	:	0.945	×	1.2	+	0.22	=	1.354	1.4	t	<	2.55	t	(作業半径: 11.0 m)	・	・	OK
橋台H	:	0.465	×	1.2	+	0.22	=	0.778	0.8	t	<	1.45	t	(作業半径: 13.5 m)	・	・	OK
添架物	:	0.3663	×	1.2	+	0.22	=	0.660	0.7	t	<	2.55	t	(作業半径: 11.0 m)	・	・	OK
旧橋主桁 (地覆除く)	:	1.8356	×	1.2	+	0.22	=	2.423	2.5	t	<	2.55	t	(作業半径: 11.0 m)	・	・	OK

25t吊ラフテレーンクレーン
定格総荷重表

作業半径	ブーム長 (m)				(単位: t)
	9.35m	16.4m	23.45m	30.5m	
2.5m	25	18	12.5	8	
3.0m	25	18	12.5	8	
3.5m	20	18	12.5	8	
4.0m	15.4	16	12.5	8	
4.5m	12.1	12.9	12.5	8	
5.0m	9.9	10.65	10.8	8	
5.5m	8.25	8.95	9.2	6.8	
6.0m	7	7.65	7.95	6	
6.5m	6	6.6	6.9	4.75	
7.0m		5.75	6.05	3.9	
8.0m		4.5	4.75	3.2	
9.0m		3.6	3.8	2.65	
10.0m		2.9	3.1	2.2	
11.0m		2.4	2.55	1.85	
12.0m		1.95	2.1	1.7	
13.0m		1.6	1.75	1.55	
13.5m		1.45	1.6	1.3	
14.0m			1.45	1.05	

吊りフック質量等 : 0.22t
(GR-250N(1V)・参考)

撤去フロー



注記

1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成 8 年度			
道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (押釜・馬場線3号橋) 工事			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
旧橋撤去ステップ図(1) (参考図)			
縮尺	S=1:100	図面番号	20 / 22
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
福 島 県 南 相 馬 市			

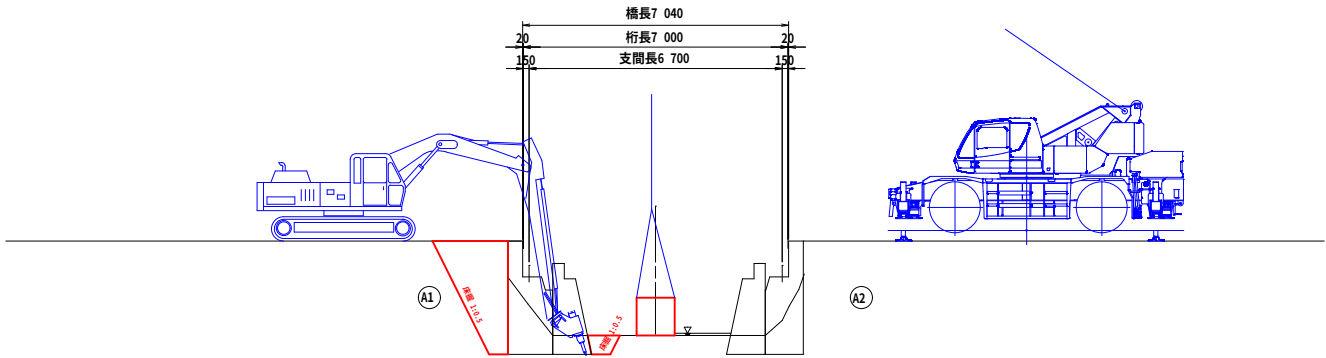
旧橋撤去ステップ図(2) (参考図)

S=1:100

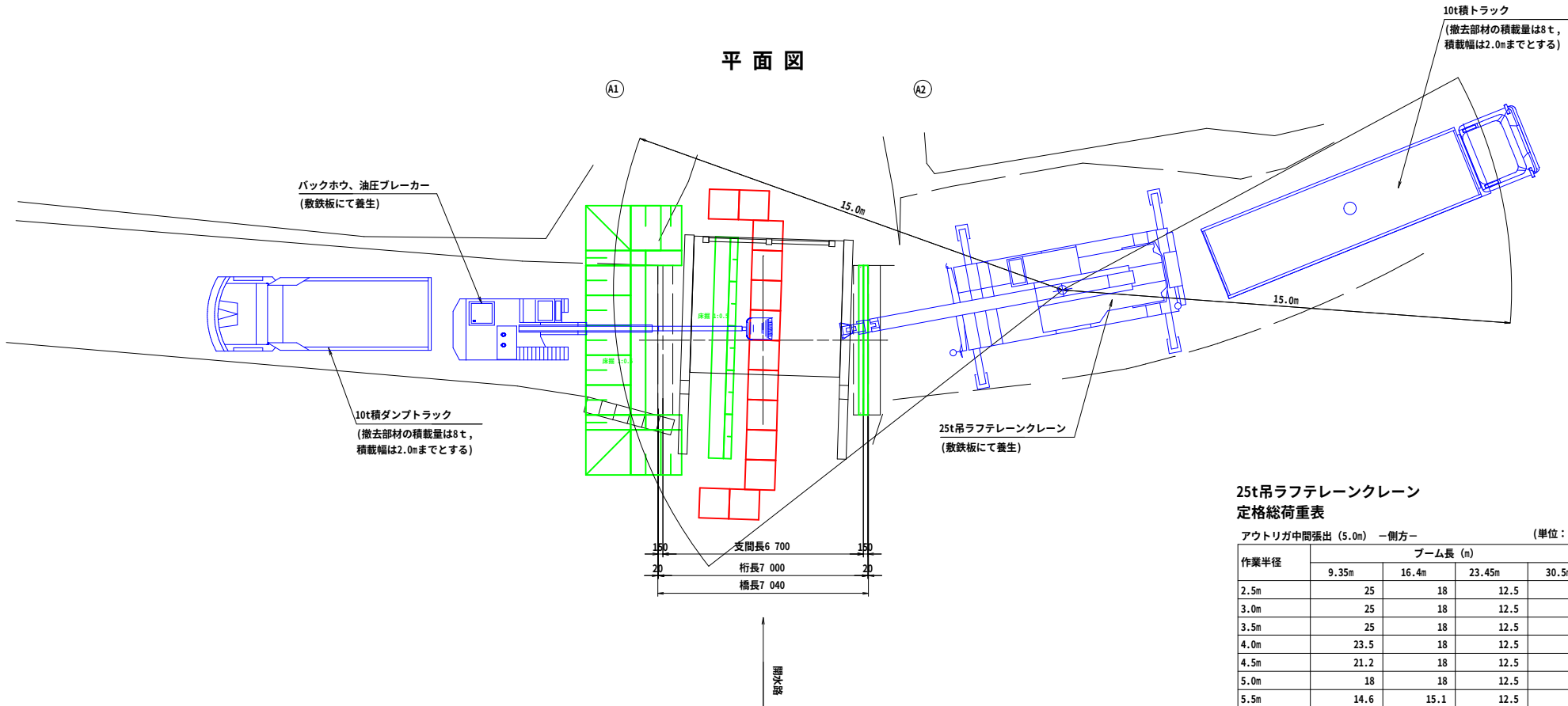
< A1 >

STEP11~15

側面図



平面図



クレーン吊重量 (重量×1.2(安全率)+吊りフック質量0.22t)

※1部材毎に撤去すること (1床版、1主桁毎)。

※以下の撤去重量は、各部材の最大重量により算出した。

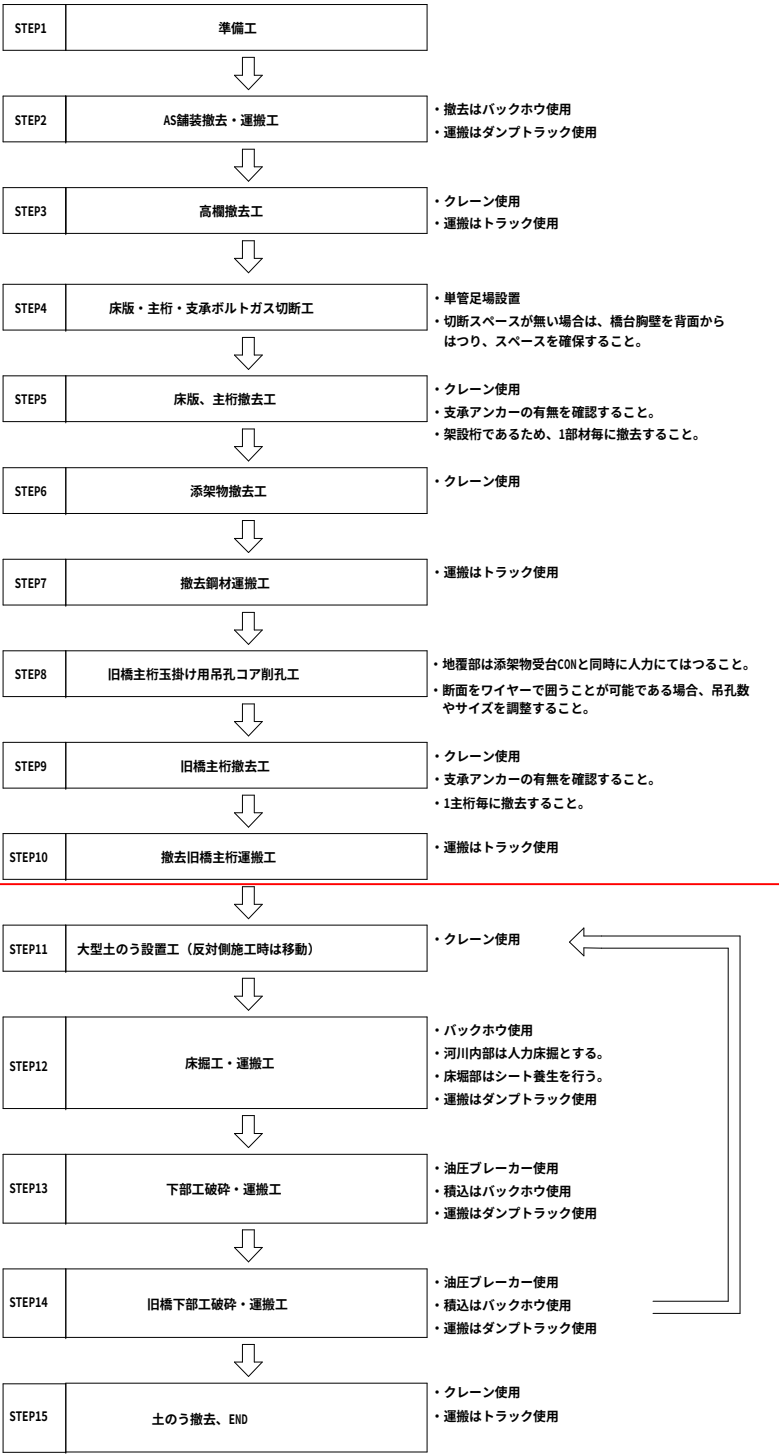
土のう : 1.7329 × 1.2 + 0.22 = 2.300 2.3 t < 2.4 t (作業半径: 15.0 m) . . . OK

25t吊ラフテレンクレーン
定格総荷重表

作業半径	ブーム長 (m)			
	9.35m	16.4m	23.45m	30.5m
2.5m	25	18	12.5	
3.0m	25	18	12.5	
3.5m	25	18	12.5	8
4.0m	23.5	18	12.5	8
4.5m	21.2	18	12.5	8
5.0m	18	18	12.5	8
5.5m	14.6	15.1	12.5	8
6.0m	12.2	12.8	12.5	8
6.5m	10.35	11	11.25	8
7.0m		9.65	9.85	8
8.0m		7.5	7.75	7.6
9.0m		6.05	6.25	6.4
10.0m		4.95	5.15	5.3
11.0m		4.15	4.35	4.45
12.0m		3.5	3.7	3.8
13.0m		3	3.15	3.25
13.5m		2.8	2.9	3
14.0m			2.7	2.8
15.0m			2.35	2.4
16.0m			2.05	2.1
17.0m			1.75	1.85
18.0m			1.55	1.6

吊りフック質量等 : 0.22t
(GR-250N(IV):参考)

撤去フロー



注記

1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

平成8年度

道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (押釜・馬場線3号橋) 工事

南相馬市原町区押釜宇越田地内

旧橋撤去ステップ図(2) (参考図)

縮尺 S=1:100 図面番号 21 / 22

測量 主 任 技 術 者

設計 管 理 技 術 者

福島県南相馬市

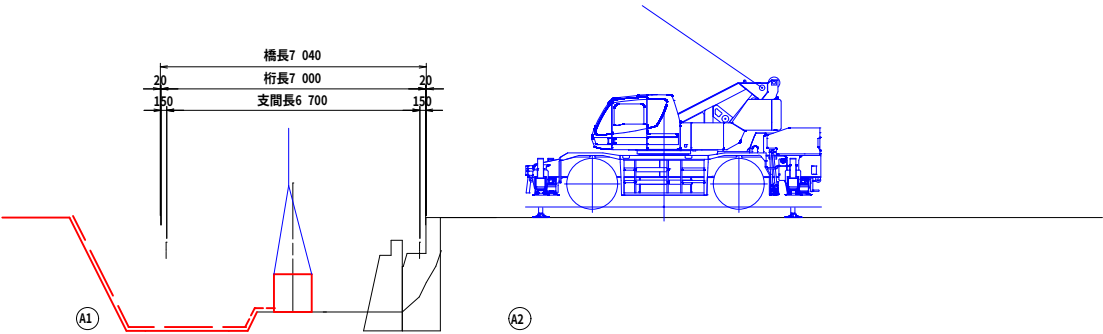
旧橋撤去ステップ図(3) (参考図)

S=1:100

< A2 >

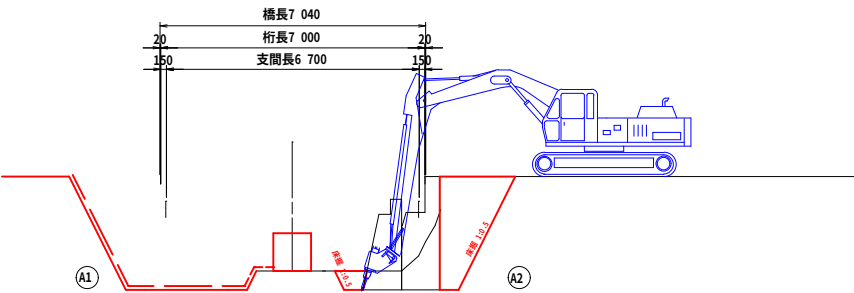
STEP11

側面図

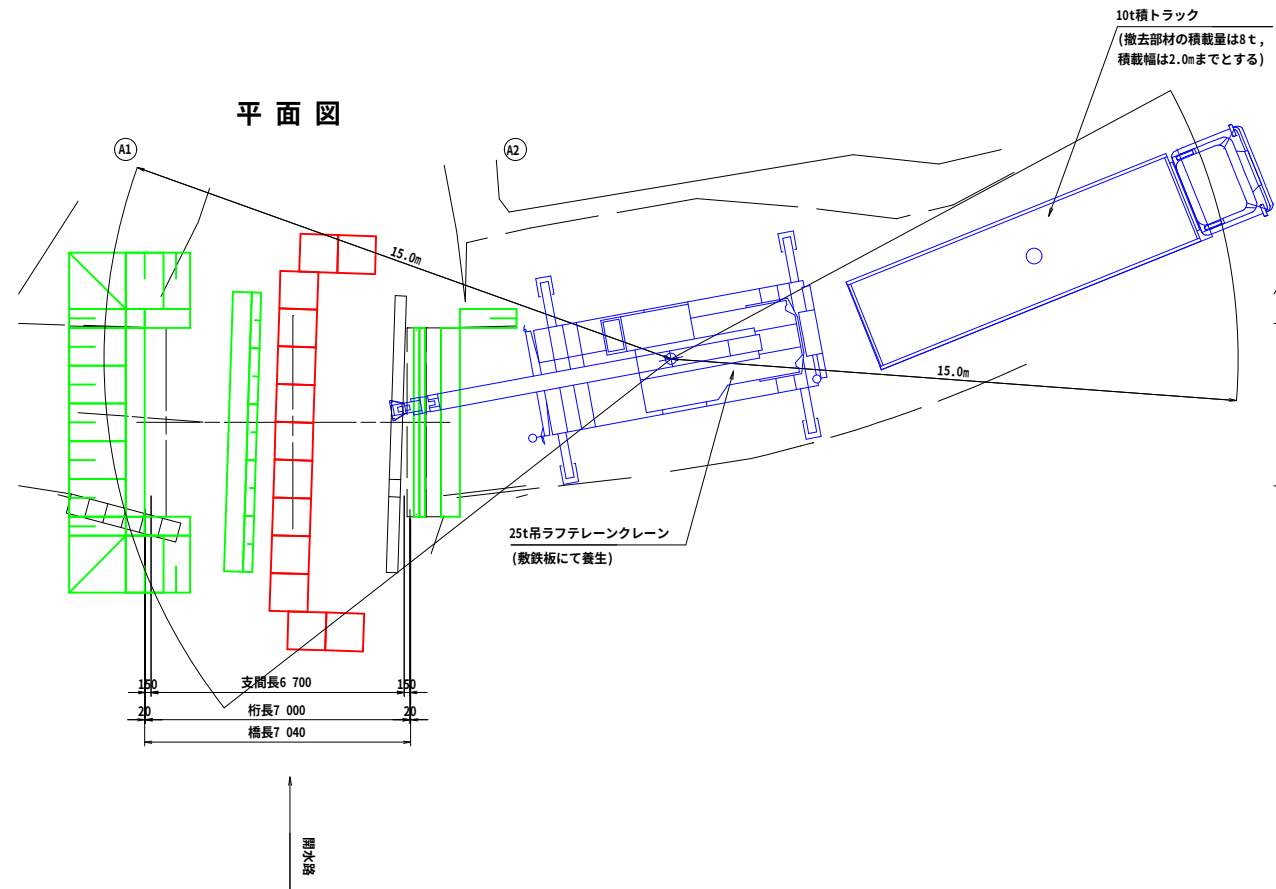


STEP12~15

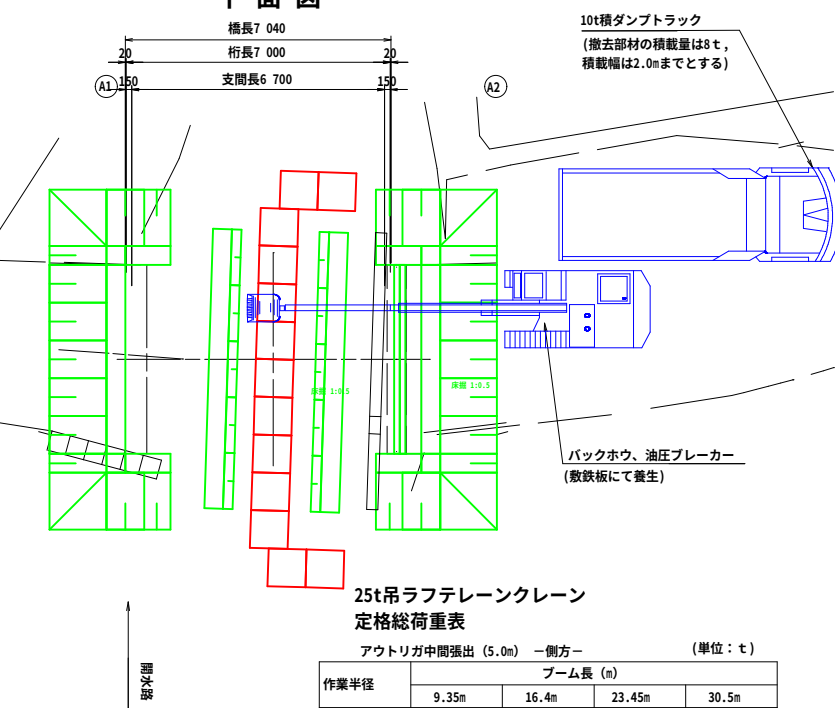
側面図



平面図



平面図



25t吊ラフテレーンクレーン
定格総荷重表

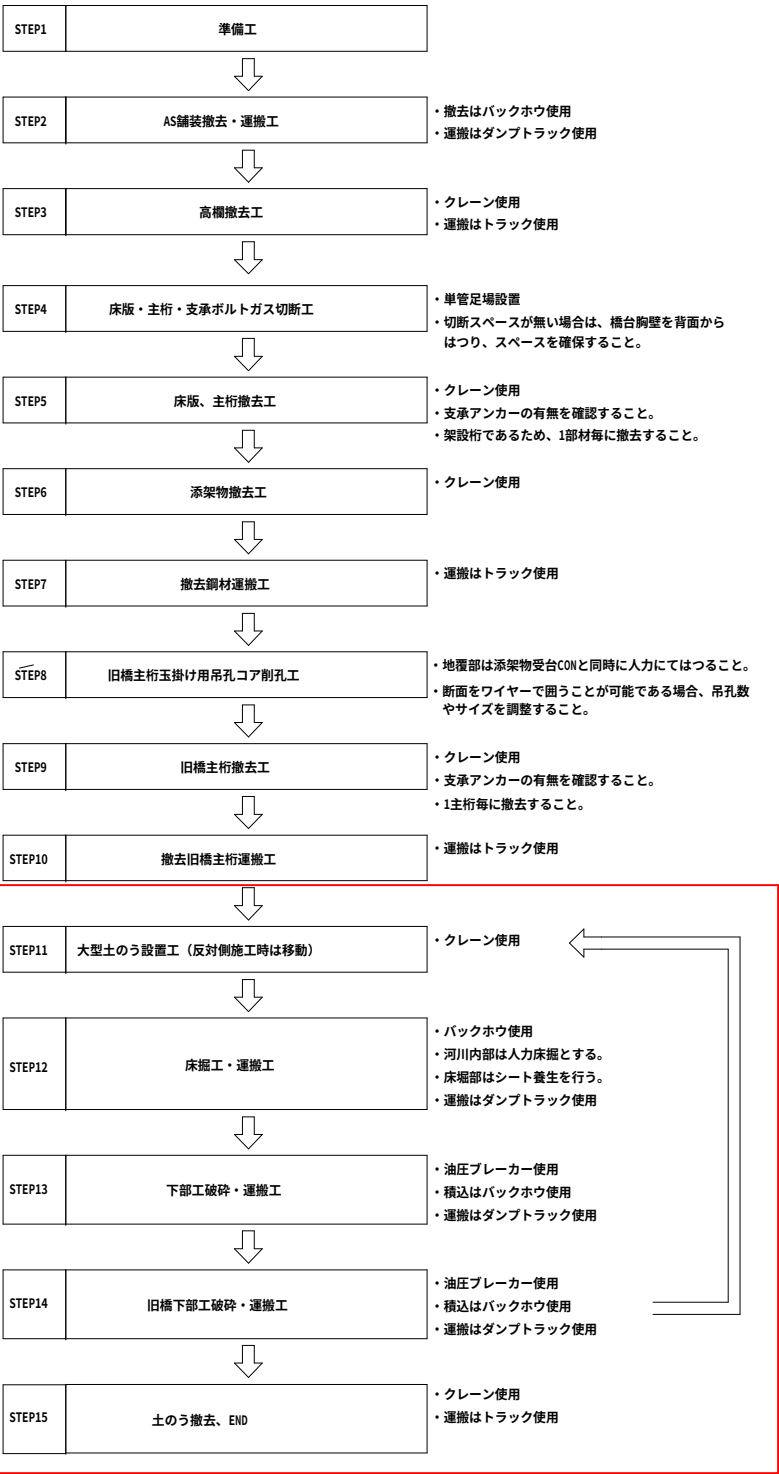
作業半径	ブーム長 (m)			
	9.35m	16.4m	23.45m	30.5m
2.5m	25	18	12.5	
3.0m	25	18	12.5	
3.5m	25	18	12.5	8
4.0m	23.5	18	12.5	8
4.5m	21.2	18	12.5	8
5.0m	18	18	12.5	8
5.5m	14.6	15.1	12.5	8
6.0m	12.2	12.8	12.5	8
6.5m	10.35	11	11.25	8
7.0m		9.65	9.85	8
8.0m		7.5	7.75	7.6
9.0m		6.05	6.25	6.4
10.0m		4.95	5.15	5.3
11.0m		4.15	4.35	4.45
12.0m		3.5	3.7	3.8
13.0m		3	3.15	3.25
13.5m		2.8	2.9	3
14.0m			2.7	2.8
15.0m			2.35	2.4
16.0m			2.05	2.1
17.0m			1.75	1.85
18.0m			1.55	1.6

吊りフック質量等 : 0.22t
(GR-250N(IV):参考)

注記

1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 撤去工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

撤去フロー



クレーン吊重量 (重量×1.2(安全率)+吊りフック質量0.22t)

※1部材毎に撤去すること (1床版、1主桁毎)。

※以下の撤去重量は、各部材の最大重量により算出した。

土のう : 1.7329 × 1.2 + 0.22 = 2.300 2.3 t < 2.4 t (作業半径: 15.0 m) ∴ OK

平成 8 年度

道路メンテナンス事業 (橋梁維持) 橋梁修繕 (押釜・馬場線3号機) 工事

南相馬市原町区押釜字越田地内
旧橋撤去ステップ図(3) (参考図)

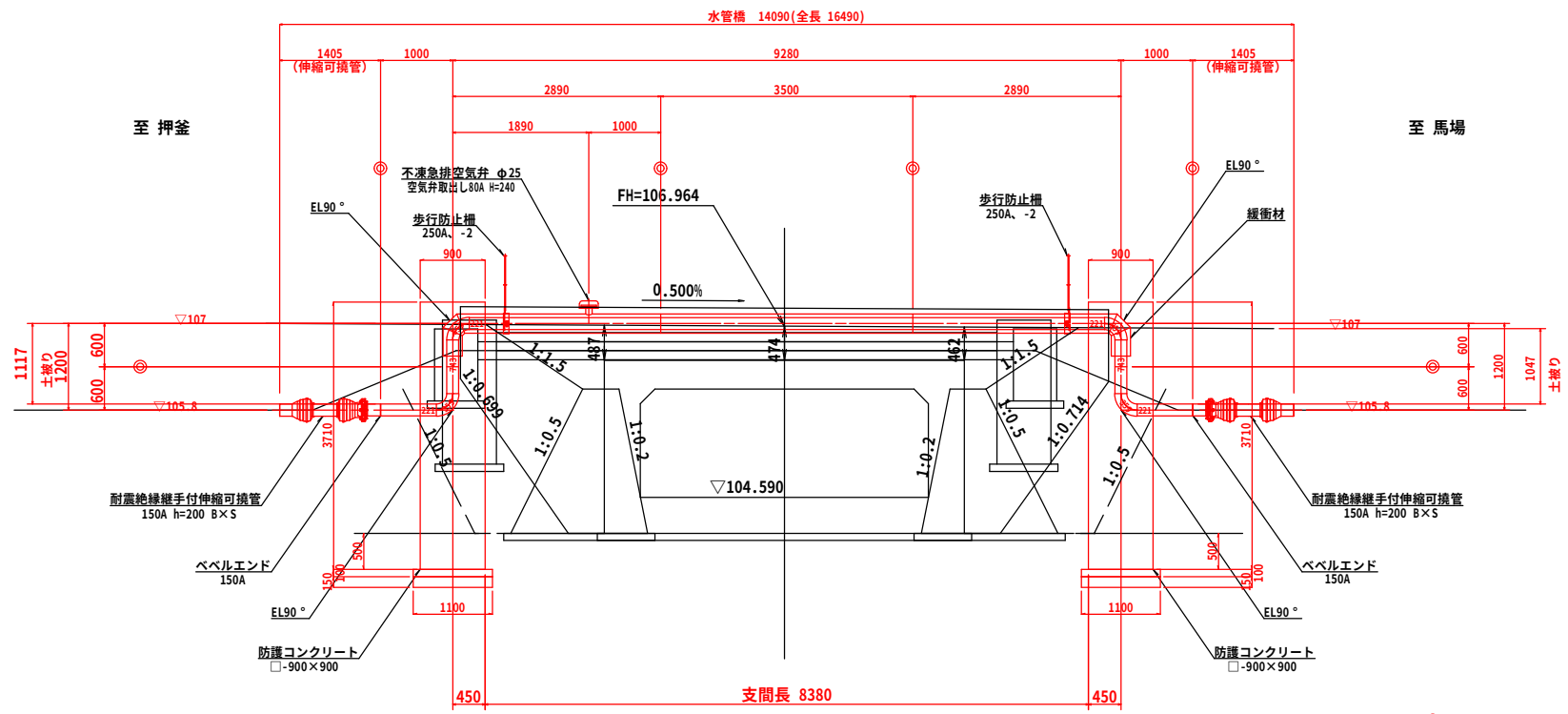
縮尺 S=1:100 図面番号 22 / 22

測量 主 任 技 術 者
設計 管 理 技 術 者

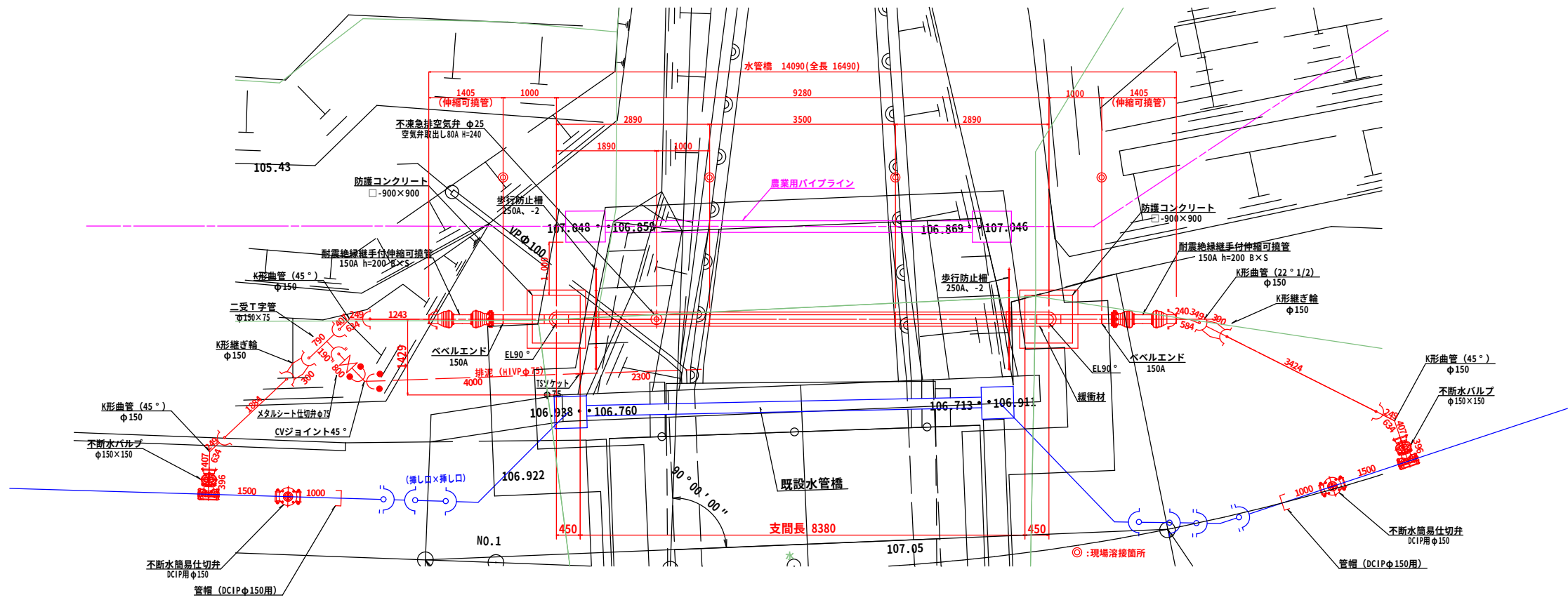
福島県南相馬市

水管橋一般図
(押釜馬場線3号橋)

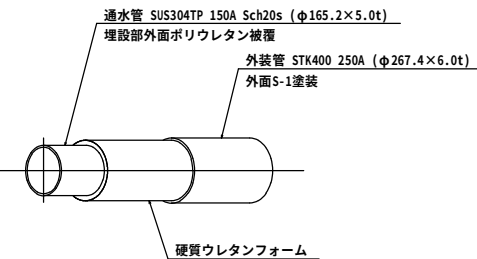
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50

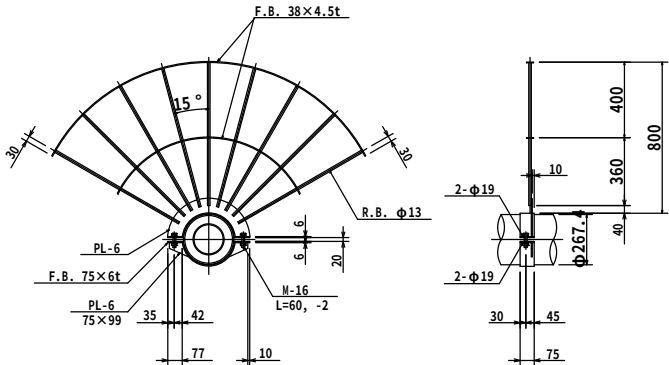


管梁詳細図



歩行防止柵詳細図 S=1:20

材質:SS400
塗装:S-1塗装



※施工時に支持地盤の確認を要する。

平成8年度			
南相馬市原町区馬場字川原田地内			
水管橋(押釜・馬場線)工事			
水管橋一般図(参考図)			
縮尺	図示	図面番号	23 / 23
測量		主任技術者	
設計	株式会社 日建	管理技術者	
福島県 南相馬市			

数 量 総 括 表

委託業務名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
 工種体系名： 道路新設・改築

路河川名： 押釜馬場線3号橋
 施工箇所： 南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
本工事費									
	道路改良								
		道路土工							
			路肩盛土工						数量集計表より
				路肩盛土		幅狭（人力施工） 埋戻（人力）準用	m3	0.2	
			法面整形工						数量集計表より
				法面整形（盛土部）		土砂	m2	23.3	
		法面工							
			植生工						数量集計表より
				張芝		人工芝	m2	23.3	
				筋芝		人工芝	m2	2.4	
		擁壁工							
			作業土工						数量集計表より
				床掘り	床掘り	標準	m3	102.5	
				埋戻し	埋戻し	1.0m≦W1<4.0m	m3	64.3	39.2+25.1
				基面整正	基面整正		m2	29.8	18.2+11.6

数 量 総 括 表

委託業務名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
 工種体系名： 道路新設・改築

路河川名： 押釜馬場線3号橋
 施工箇所： 南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
			上流側水路摺付け工						数量集計表より
				重力式擁壁工					
					コンクリート	普通18-8-40-60%BB	m3	18.8	
					型枠	無筋構造物	m2	33.3	
					吸出し防止材設置		m2	8.5	
				基礎コンクリート工					
					コンクリート	基礎コンクリート 普通18-8-40-60%BB	m3	1.8	
					型枠	基礎型枠 無筋構造物	m2	1.8	
				底張コンクリート工					
					コンクリート	底張コンクリート 普通18-8-40-60%BB	m3	3.0	
					コンクリート	基礎コンクリート 普通18-8-40-60%BB	m3	1.2	
					止水板	200×5	m	8.8	
			下流側水路摺付け工						数量集計表より
				重力式擁壁工					
					コンクリート	普通18-8-40-60%BB	m3	11.8	
					型枠	無筋構造物	m2	22.4	
					吸出し防止材設置		m2	7.9	
				基礎コンクリート工					
					コンクリート	基礎コンクリート 普通18-8-40-60%BB	m3	1.2	

数 量 総 括 表

委託業務名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
 工種体系名： 道路新設・改築

路河川名： 押釜馬場線3号橋
 施工箇所： 南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
					型枠	基礎型枠 無筋構造物	m2	1.2	
				底張コンクリート工					
					コンクリート	底張コンクリート 普通18-8-40-60%BB	m3	2.7	
					コンクリート	基礎コンクリート 普通18-8-40-60%BB	m3	1.0	
					止水板	200×5	m	6.0	
		カルバート工							
		作業土工							数量集計表より
				床掘り	床掘り	標準	m3	25.2	
				埋戻し	埋戻し	W1≧4.0m	m3	165.9	
				土材料		購入土	m3	27.3	
				基面整正			m2	28.1	
		現場打函渠工							数量集計表より
				コンクリート	コンクリート（場装打函渠）	普通24-12-25(20)-55%BB	m3	51.7	
				型枠	型枠	鉄筋構造物	m2	142.5	
				鉄筋	鉄筋工（太径鉄筋含む）－材料費含む－	SD345 D25	t	1.22	
				鉄筋	鉄筋工（太径鉄筋含む）－材料費含む－	SD345 D22	t	0.97	
				鉄筋	鉄筋工（太径鉄筋含む）－材料費含む－	SD345 D13	t	1.94	
				均しコンクリート	コンクリート	普通18-8-40-60%BB t=10cm クレーン機能付BH打設	m3	2.81	

数 量 総 括 表

委託業務名：道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
 工種体系名：道路新設・改築

路河川名：押釜馬場線3号橋
 施工箇所：南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
				型枠	均しコンクリート型枠		m2	1.1	
				足場	足場工	手摺先行型枠組足場 H≦30m	掛m2	80.4	
				支保	パイプサポート支保・くさび結合支保	パイプサポート支保 40kN/m2以下	空m3	35.8	
				支保	パイプサポート支保・くさび結合支保	くさび結合支保 40kN/m2以上80kN/m2以下	空m3	3.2	
			防護柵工						
				ガードレール	防護柵設置工 コンクリート建込（材料含）	Gr-C-2B-5	m	18.0	
		舗装工							
			アスファルト舗装工			車道部			数量集計表より
				下層路盤	下層路盤（車道・路肩部）	再生骨材RC-40 t=19cm	m2	75.4	
				路側材	再生骨材（骨材）クラッシュラン	再生骨材RC-40	m3	0.2	
				上層路盤	上層路盤（車道・路肩部）	粒調碎石M-40 t=10cm	m2	73.7	
				路側材	粒調碎石	粒調碎石M-40	m3	0.1	
				表層	表層（車道・路肩部）	密粒度As13 t=4cm 1.4m<W（ブライム）2.35t/m3	m2	73.3	
		排水構造物工							
			側溝工						数量集計表より
				プレキャストU型側溝	U型側溝（III-A-i-300A）	III-A-i-300A	m	4.5	内訳表参照
				側溝蓋	蓋版設置（材料別）	コンクリート蓋（VII-C-g-300） 45kg/枚	枚	9.0	
					コンクリート蓋（VII-C-g-300）		枚	9.0	

数 量 総 括 表

委託業務名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
 工種体系名： 道路新設・改築

路河川名： 押釜馬場線3号橋
 施工箇所： 南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
		構造物撤去工①							
			舗装版撤去工	舗装版破碎		t=5cm	m2	31.5	数量集計表より V=1.6m3
				殻運搬処理	As殻運搬	As殻 機械積込	m2	1.6	
				産廃処分費	As殻	中間処理 As殻	t	3.8	
			上・下部工撤去						数量集計表より
				鋼製高欄撤去	高欄撤去	PIPE φ60.5*3.2*1172	m	14.0	
					高欄処分	金属くず ヘビ－H1	t	0.2	
				桁材撤去	桁撤去	H形鋼	t	15.5	
					桁処分	金属くず ヘビ－H1	t	15.5	
				撤去鋼材運搬	撤去鋼材運搬		t	15.7	0.2+15.5
				スクラップ費	撤去鋼材処分	金属くず ヘビ－H1	t	15.7	
				コンクリート構造物取壊し	構造物取壊し工（人力施工）	水管橋台座・旧橋上部工地覆 コンクリート撤去,鉄筋	m3	0.6	
				コンクリート構造物取壊し	構造物とりこわし工（機械施工）	下部工コンクリート撤去 鉄筋	m3	25.6	
				殻運搬処理	Co殻運搬	鉄筋Co殻 機械積込	m3	26.2	0.6+25.6
				産廃処分費	Co殻	Co殻（有筋）	t	65.5	26.2×2.5=65.5
			旧橋上・下部工撤去						数量集計表より

数 量 総 括 表

委託業務名：道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
工種体系名：道路新設・改築

路河川名：押釜馬場線3号橋
施工箇所：南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
				旧橋床版取壊し	構造物取壊し（人力施工）	旧橋上部工 地覆 コンクリート撤去（有筋）	m3	0.1	
					床版取壊し（機械施工）	コンクリート撤去（有筋）	m3	4.4	
				殻運搬処理	Co殻運搬		m3	4.5	
				産廃処分費	Co殻（有筋）		t	11.3	4.5×2.5
				旧橋下部・護岸取壊し	構造物取壊し工（機械施工）	旧橋下部工 コンクリート撤去（有筋）	m3	17.1	
					構造物取壊し工（機械施工）	旧橋護岸工 コンクリート撤去（有筋）	m3	3.2	
				殻運搬処理	Co殻運搬		m3	20.3	17.1+3.2
				産廃処分費	Co殻（有筋）		t	50.8	20.3×2.5
			作業土工						数量集計表より
				床掘り	床掘り	バックホウ掘削 1.0m≦W<2.0m	m3	98.0	
			仮設工						数量集計表より
				大型土のう	大型土のう製作・据付		袋	13.0	
					大型土のう据付・撤去		袋	13.0	
				単管足場	足場工	シート防護	掛m2	22.8	
		構造物撤去工②							
			構造物取壊し工						数量集計表より
				コンクリート構造物取壊し	構造物取壊し工（機械施工）	無筋構造物	m3	13.4	
					構造物取壊し工（機械施工）	有筋構造物	m3	0.5	

数 量 総 括 表

委託業務名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
 工種体系名： 道路新設・改築

路河川名： 押釜馬場線3号橋
 施工箇所： 南相馬市原町区押釜字越田地内

工 種 ・ 種 別					細 目	規 格 等	単位	設計数量	算出根拠
レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5				
				舗装版切断	舗装版切断	As舗装 t=4cm 面取り有	m	11.3	
				舗装版取壊し	舗装版破碎	As舗装 t=4cm 障害無 騒振対策無 積込有	m2	36.9	
				殻運搬処理	Co殻運搬	無筋Co殻 機械積込	m3	13.4	
					Co殻運搬	鉄筋Co殻 機械積込	m3	0.5	
					As殻運搬	As殻 機械積込	m3	1.5	
					汚泥吸排水運搬	汚泥吸排水車	m3	0.1	
				産廃処分費	Co産廃処分費	中間処理 鉄筋Co殻	t	1.3	
					Co産廃処分費	中間処理 無筋Co殻	t	33.5	
					As産廃処分費	中間処理 As殻	t	3.5	
					泥水処分	中間処理 舗装切断時汚泥	t	0.1	
		仮設工							
			大型土のう工						
				大型土のう	大型土のう製作・据付	設置	袋	2.0	数量集計表より
					大型土のう撤去・再設置	移設	袋	2.0	
					大型土のう撤去	撤去	袋	2.0	
			水替工						数量集計表より
				ポンプ排水	ポンプ運転	常時排水 排水量 0以上 40未満	日	28.0	

数量総括表

委託業務名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事
工種体系名： 道路新設・改築

路河川名：押釜馬場線3号橋
施工箇所：南相馬市原町区押釜字越田地内

[illegible]

レベル1(工事区分) 道路新設・改築

レベル2(工種) 土工集計表

[illegible]

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 道路土工

[illegible]

レベル2(工種) 法面工

[illegible]

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 擁壁工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式 等	単位	数量	備 考
上流側水路摺付け工						
作業土工						
	床掘り	標準 土砂		m3	61.4	
	埋戻し	1.0m≦W1<4.0m 流用土		m3	39.2	
	基面整正			m2	18.2	
重力式擁壁工						
	コンクリート	普通18-8-40-60%BB		m3	18.78	
	型枠	無筋構造物		m2	33.3	
	目地材	エラストイト,t=10mm		m2	8.5	
	基礎コンクリート	普通18-8-40-60%BB		m3	1.82	
	基礎型枠			m2	1.8	
底張コンクリート工						
	底張コンクリート	普通18-8-40-60%BB		m3	3.03	
	基礎コンクリート	普通18-8-40-60%BB		m3	1.18	
	止水板	200×5		m	8.8	
下流側水路摺付け工						
作業土工						
	床掘り	標準 土砂		m3	41.1	
	埋戻し	1.0m≦W1<4.0m 流用土		m3	25.1	
	基面整正			m2	11.6	
重力式擁壁工						
	コンクリート	普通18-8-40-60%BB		m3	11.8	
	型枠	無筋構造物		m2	22.4	
	目地材	エラストイト,t=10mm		m2	7.9	
	基礎コンクリート	普通18-8-40-60%BB		m3	1.2	
	基礎型枠			m2	1.2	

レベル1(工事区分) 道路改良

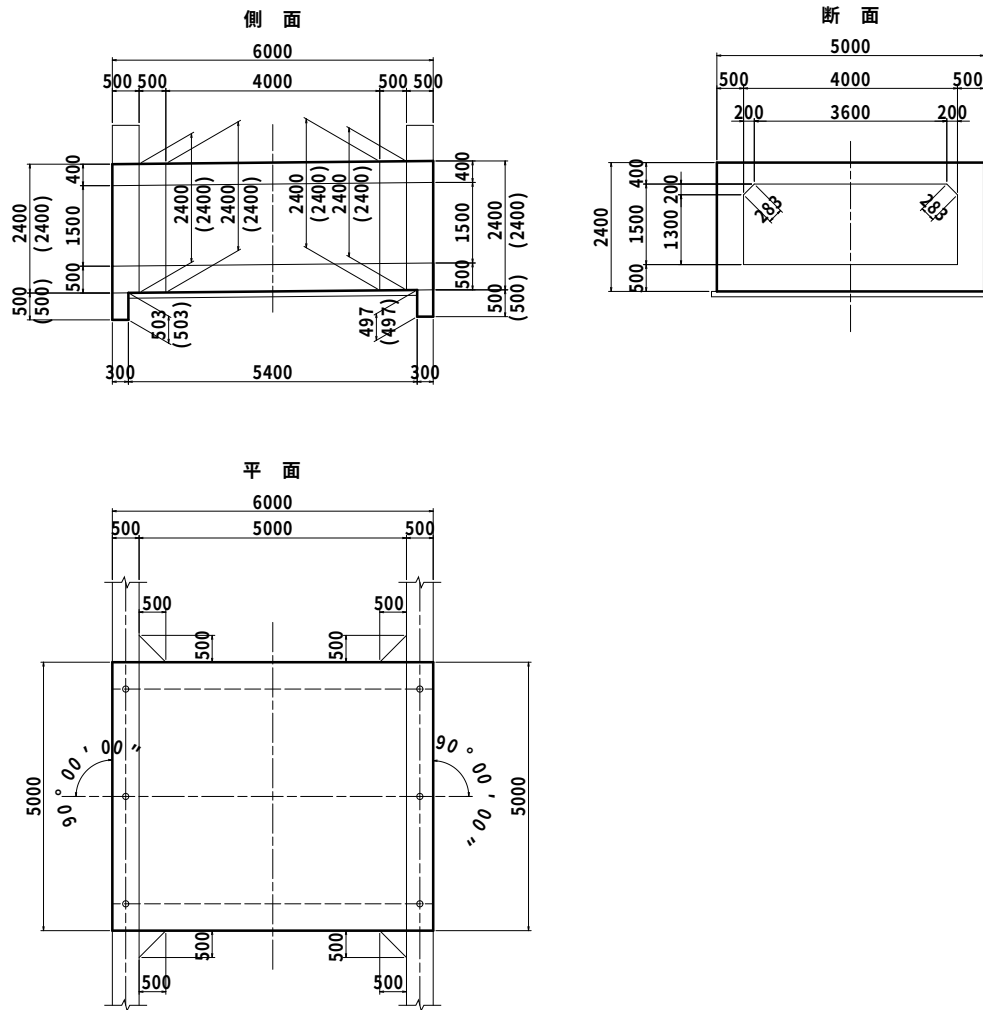
レベル2(工種) 擁壁工

[illegible]

ボックスカルバート工総括表

工 種		種 別		単位	本体工	上流側 ウイング	下流側 ウイング	合 計	備 考
軀 体 工	コンクリート	普通24-12-25(20)-55%BB		m ³	37.7	6.9	7.1	51.7	
	型 枠	鉄筋構造物		m ²	82.5	29.6	30.4	142.5	
	鉄 筋	SD345	D25	t	1.22	—	—	1.22	
			D22	//	0.97	—	—	0.97	
			小 計	//	2.19	—	—	2.19	
			D13	//	1.16	0.38	0.39	1.94	
			合 計	//	3.35	0.38	0.39	4.13	
	均しコンクリート	普通18-8-40-60%BB		m ²	28.1	—	—	28.1	
		t=10cm		m ³	2.8	—	—	2.8	
	均しコンクリート型枠	均しコン型枠		m ²	1.1	—	—	1.1	
	ガードレール			m	18.0	—	—	18.0	
仮 設 工	足 場 工	手摺先行型枠組足場	H≤30m	掛m ²	80.4	—	—	80.4	
	支 保 工	パイプサポート支保	40kN/m ² 以下	空m ³	35.8	—	—	35.8	H<4.0m
		くさび結合支保	40kN/m ² を超え 80kN/m ² 以下	//	—	1.6	1.6	3.2	h≤30m
作 業 土 工	床掘り	標準		m ³	25.2	—	—	25.2	
	埋戻し	W1≥4.0m		m ³	165.9	—	—	165.9	
	基面整正			m ²	28.1	—	—	28.1	

§ 1. 軀 体 工



1. コンクリート (普通24-12-25(20)-55%BB)

ブロック延長	L=	6.000		=	6.000 m
断面	a=	5.000 × 2.400 − 4.000 × 1.500			
	+	0.200 × 0.200 × 1/2 × 2		=	6.040 m ²
止水壁	v1=	(0.500 + 0.503) × 1/2 × 0.300 × 5.000		=	0.752 m ³
	v2=	(0.500 + 0.497) × 1/2 × 0.300 × 5.000		=	0.748 m ³
				=	1.500 m ³
V=	6.040 × 6.000 + 1.500		=	37.74 m ³	

2. 型 枠 （ 鉄筋構造物 ）

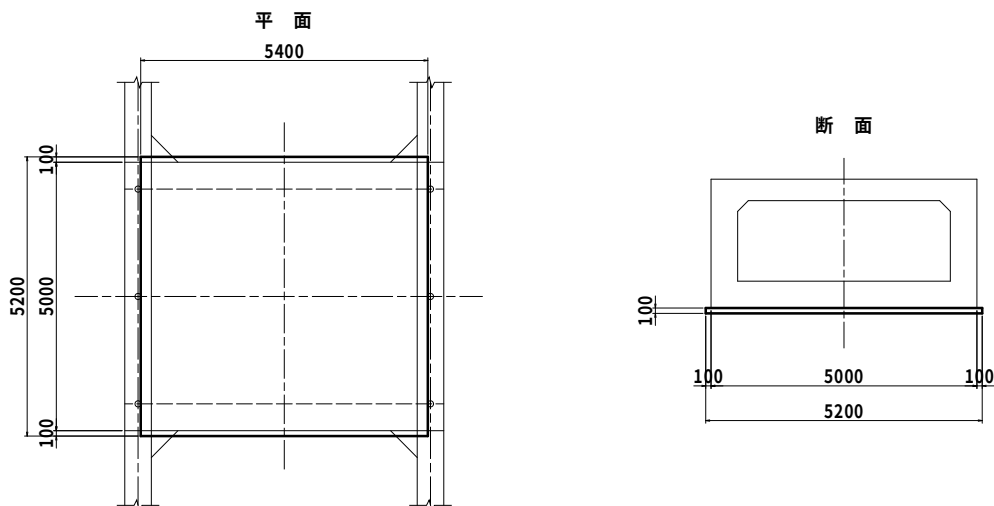
坑口部	a1=	断面積 6.040	×	2								=	12.080 m ²	
側壁	a2=	(2.400	+	1.300	+	0.283	)×	6.000	×	2		=	47.796 m ²	
頂版	a3=	3.600	×	6.000								=	21.600 m ²	
止水壁	a4=	5.000	×	0.500	×	2						=	5.000 m ²	
	a5=	5.000	×	(0.503	+	0.497	)					=	5.000 m ²	
	a6=	(0.500	+	0.503	)×	1/2	×	0.300	×	2		=	0.301 m ²	
	a7=	(0.500	+	0.497	)×	1/2	×	0.300	×	2		=	0.299 m ²	
												=	10.600 m ²	
ウイング部控除	-a1=	(2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.500	×	2	×	2	=	-4.800 m ²
ハンチ部控除	-a2=	(2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.500	×	2	×	2	=	-4.800 m ²
												=	-9.600 m ²	
A=		12.080	+	47.796	+	21.600	+	10.600	−	9.600		=	82.5 m ²	

3. 鉄 筋 （ SD345 ）

D25	・・・	1.224 t
D22	・・・	0.966 t
D13	・・・	1.164 t
合 計		3.354 t

※ボックスカルバート工配筋図より

4. 基 礎 材



(1) 均しコンクリート （ 普通18-8-40-60%BB , t=10cm ）

$$A = 5.200 \times 5.400 = 28.1 \text{ m}^2$$

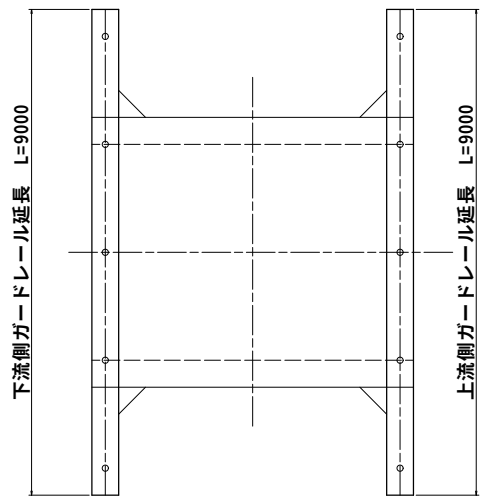
$$V = 28.1 \times 0.100 = 2.81 \text{ m}^3$$

(2) 均しコンクリート型枠 （ 均しコン型枠 ）

$$A = (0.100 \times 2 + 5.400) \times 0.100 \times 2 = 1.1 \text{ m}^2$$

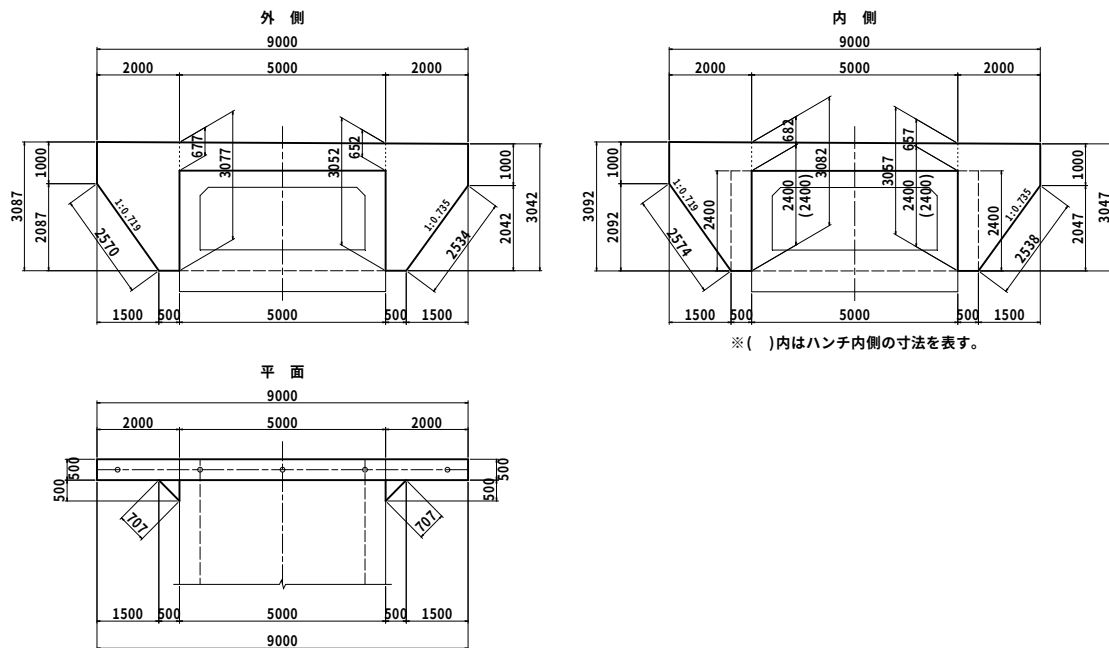
5. ガードレール

平 面



$L = 9.000 \times 2 = 18.0 \text{ m}$

§ 2. 上流側ウイング工



1. コンクリート (普通24-12-25(20)-55%BB)

(1) 土留壁部

$$\text{外側 } a1 = (0.677 + 0.652) \times \frac{1}{2} \times 5.000 = 3.323 \text{ m}^2$$

$$\text{内側 } a1 = (0.682 + 0.657) \times \frac{1}{2} \times 5.000 = 3.348 \text{ m}^2$$

$$V1 = (3.323 + 3.348) \times \frac{1}{2} \times 0.500 = 1.67 \text{ m}^3$$

(2) 左側ウイング部

$$\text{外側 } a1 = (3.087 + 3.077) \times \frac{1}{2} \times 2.000 = 6.164 \text{ m}^2$$

$$-a2 = 2.087 \times 1.500 \times \frac{1}{2} = -1.565 \text{ m}^2$$

$$\text{計 } 4.599 \text{ m}^2$$

$$\text{内側 } a1 = (3.092 + 3.082) \times \frac{1}{2} \times 2.000 = 6.174 \text{ m}^2$$

$$-a2 = 2.092 \times 1.500 \times \frac{1}{2} = -1.569 \text{ m}^2$$

$$\text{計 } 4.605 \text{ m}^2$$

$$\text{ハンチ } a1 = 0.500 \times 0.500 \times \frac{1}{2} = 0.125 \text{ m}^2$$

$$\text{平均長 } L1 = (2.400 + 2.400 + 2.400) \times \frac{1}{3} = 2.400 \text{ m}$$

$$V2 = (4.599 + 4.605) \times \frac{1}{2} \times 0.500 + 0.125 \times 2.400 = 2.60 \text{ m}^3$$

(3) 右側ウイング部

$$\begin{array}{lcl} \text{外側} & a1= (3.042 + 3.052) \times 1/2 \times 2.000 & = 6.094 \text{ m}^2 \\ & -a2= 2.042 \times 1.500 \times 1/2 & = -1.532 \text{ m}^2 \\ & \hline & \text{計} & 4.562 \text{ m}^2 \\ \\ \text{内側} & a1= (3.047 + 3.057) \times 1/2 \times 2.000 & = 6.104 \text{ m}^2 \\ & -a2= 2.047 \times 1.500 \times 1/2 & = -1.535 \text{ m}^2 \\ & \hline & \text{計} & 4.569 \text{ m}^2 \\ \\ \text{ハンチ} & a1= 0.500 \times 0.500 \times 1/2 & = 0.125 \text{ m}^2 \\ \text{平均長} & L1= (2.400 + 2.400 + 2.400) \times 1/3 & = 2.400 \text{ m} \end{array}$$

$$V3= (4.562 + 4.569) \times 1/2 \times 0.500 + 0.125 \times 2.400 = 2.58 \text{ m}^3$$

(4) 合 計

$$\Sigma V= 1.67 + 2.60 + 2.58 = 6.85 \text{ m}^3$$

2. 型 枠 (鉄筋構造物)

(1) 土留壁部

$$\begin{array}{lcl} \text{外側} & a1= (0.677 + 0.652) \times 1/2 \times 5.000 & = 3.323 \text{ m}^2 \\ \text{内側} & a1= (0.682 + 0.657) \times 1/2 \times 5.000 & = 3.348 \text{ m}^2 \end{array}$$

$$A1= 3.323 + 3.348 = 6.7 \text{ m}^2$$

(2) 左側ウイング部

$$\begin{array}{lcl} \text{外側} & a1= (3.087 + 3.077) \times 1/2 \times 2.000 & = 6.164 \text{ m}^2 \\ & -a2= 2.087 \times 1.500 \times 1/2 & = -1.565 \text{ m}^2 \\ & \hline & \text{計} & 4.599 \text{ m}^2 \\ \\ \text{内側} & a1= (3.092 + 3.082) \times 1/2 \times 2.000 & = 6.174 \text{ m}^2 \\ & -a2= 2.092 \times 1.500 \times 1/2 & = -1.569 \text{ m}^2 \\ & \hline & \text{計} & 4.605 \text{ m}^2 \\ \\ \text{ハンチ控除} & -a1= (2.400 + 2.400) \times 1/2 \times 0.500 & = -1.200 \text{ m}^2 \\ \\ \text{側面} & a1= (1.000 + 1.000) \times 1/2 \times 0.500 & = 0.500 \text{ m}^2 \\ & a2= (2.570 + 2.574) \times 1/2 \times 0.500 & = 1.286 \text{ m}^2 \\ & \hline & \text{計} & 1.786 \text{ m}^2 \\ \\ \text{ハンチ} & a1= (2.400 + 2.400) \times 1/2 \times 0.707 & = 1.697 \text{ m}^2 \end{array}$$

$$A2= 4.599 + 4.605 - 1.200 + 1.786 + 1.697 = 11.5 \text{ m}^2$$

(3) 右側ウイング部

外側	a1=	(	3.042	+	3.052	)×	1/2	×	2.000	=	6.094 m ²	
	-a2=		2.042	×	1.500	×	1/2			=	-1.532 m ²	
										計	4.562 m ²	
内側	a1=	(	3.047	+	3.057	)×	1/2	×	2.000	=	6.104 m ²	
	-a2=		2.047	×	1.500	×	1/2			=	-1.535 m ²	
										計	4.569 m ²	
ハンチ控除	-a1=	(	2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.500	=	-1.200 m ²	
側面	a1=	(	1.000	+	1.000	)×	1/2	×	0.500	=	0.500 m ²	
	a2=	(	2.534	+	2.538	)×	1/2	×	0.500	=	1.268 m ²	
										計	1.768 m ²	
ハンチ	a1=	(	2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.707	=	1.697 m ²	
	A3=		4.562	+	4.569	-	1.200	+	1.768	+	1.697	= 11.4 m ²

(4) 合 計

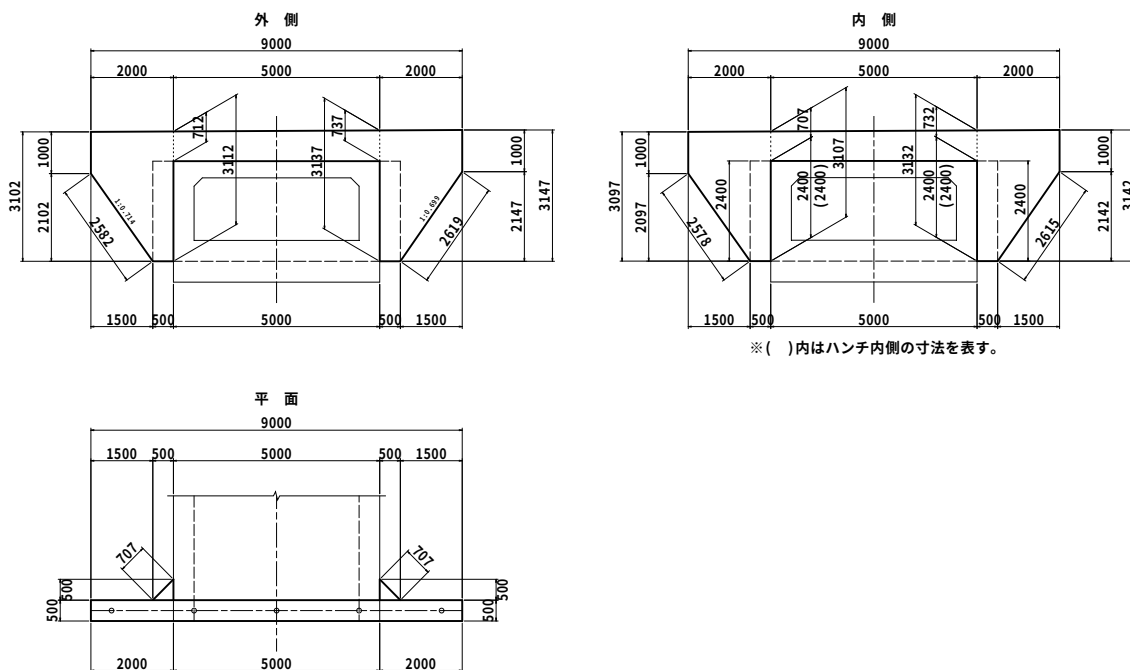
$$\Sigma A = 6.7 + 11.5 + 11.4 = 29.6 \text{ m}^2$$

3. 鉄 筋 (SD345)

D13	・・・	0.384 t
合 計		0.384 t

※上流側ウイング配筋図より

§ 3. 下流側ウイング工



1. コンクリート (普通24-12-25(20)-55%BB)

(1) 土留壁部

$$\text{外側 } a_1 = (0.712 + 0.737) \times 1/2 \times 5.000 = 3.623 \text{ m}^2$$

内側 $a_1 = (0.707 + 0.732) \times 1/2 \times 5.000 = 3.598 \text{ m}^2$

$$V1 = (3.623 + 3.598) \times 1/2 \times 0.500 = 1.81 \text{ m}^3$$

(2) 左側ウイング部

外側 $a_1 = (3.102 + 3.112) \times 1/2 \times 2.000 = 6.214 \text{ m}^2$

$$-a_2 = 2.102 \times 1.500 \times 1/2 = -1.577 \text{ m}^2$$

計	4.637 m ²
---	----------------------

内側 $a_1 = (3.097 + 3.107) \times 1/2 \times 2.000 = 6.204 \text{ m}^2$

$$-a_2 = 2.097 \times 1.500 \times 1/2 = -1.573 \text{ m}^2$$

計	4.631 m ²
---	----------------------

ハンチ $a_1 = 0.500 \times 0.500 \times 1/2 = 0.125 \text{ m}^2$

平均長 $L_1 = (2.400 + 2.400 + 2.400) \times 1/3 = 2.400 \text{ m}$

$$V_2 = (4.637 + 4.631) \times 1/2 \times 0.500 + 0.125 \times 2.400 = 2.62 \text{ m}^3$$

(3) 右側ウイング部

外側	a1=	(	3.147	+	3.137	)×	1/2	×	2.000	=	6.284 m ²
	-a2=		2.147	×	1.500	×	1/2			=	-1.610 m ²
										計	4.674 m ²

内側	a1=	(	3.142	+	3.132	)×	1/2	×	2.000	=	6.274 m ²
	-a2=		2.142	×	1.500	×	1/2			=	-1.607 m ²
										計	4.667 m ²

ハンチ	a1=		0.500	×	0.500	×	1/2			=	0.125 m ²
平均長	L1=	(	2.400	+	2.400	+	2.400	)×	1/3	=	2.400 m

$$V3 = (4.674 + 4.667) \times 1/2 \times 0.500 + 0.125 \times 2.400 = 2.64 \text{ m}^3$$

(4) 合 計

$$\Sigma V = 1.81 + 2.62 + 2.64 = 7.07 \text{ m}^3$$

2. 型 枠 (鉄筋構造物)

(1) 土留壁部

外側	a1=	(	0.712	+	0.737	)×	1/2	×	5.000	=	3.623 m ²
内側	a1=	(	0.707	+	0.732	)×	1/2	×	5.000	=	3.598 m ²

$$A1 = 3.623 + 3.598 = 7.2 \text{ m}^2$$

(2) 左側ウイング部

外側	a1=	(	3.102	+	3.112	)×	1/2	×	2.000	=	6.214 m ²
	-a2=		2.102	×	1.500	×	1/2			=	-1.577 m ²
										計	4.637 m ²

内側	a1=	(	3.097	+	3.107	)×	1/2	×	2.000	=	6.204 m ²
	-a2=		2.097	×	1.500	×	1/2			=	-1.573 m ²
										計	4.631 m ²

ハンチ控除	-a1=	(	2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.500	=	-1.200 m ²
-------	------	---	-------	---	-------	----	-----	---	-------	---	-----------------------

側面	a1=	(	1.000	+	1.000	)×	1/2	×	0.500	=	0.500 m ²
	a2=	(	2.582	+	2.578	)×	1/2	×	0.500	=	1.290 m ²
										計	1.790 m ²

ハンチ	a1=	(	2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.707	=	1.697 m ²
-----	-----	---	-------	---	-------	----	-----	---	-------	---	----------------------

$$A2 = 4.637 + 4.631 - 1.200 + 1.790 + 1.697 = 11.6 \text{ m}^2$$

(3) 右側ウイング部

外側	a1=	(	3.147	+	3.137	)×	1/2	×	2.000	=	6.284 m ²	
	-a2=		2.147	×	1.500	×	1/2			=	-1.610 m ²	
										計	4.674 m ²	
内側	a1=	(	3.142	+	3.132	)×	1/2	×	2.000	=	6.274 m ²	
	-a2=		2.142	×	1.500	×	1/2			=	-1.607 m ²	
										計	4.667 m ²	
ハンチ控除	-a1=	(	2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.500	=	-1.200 m ²	
側面	a1=	(	1.000	+	1.000	)×	1/2	×	0.500	=	0.500 m ²	
	a2=	(	2.619	+	2.615	)×	1/2	×	0.500	=	1.309 m ²	
										計	1.809 m ²	
ハンチ	a1=	(	2.400	+	2.400	)×	1/2	×	0.707	=	1.697 m ²	
	A3=		4.674	+	4.667	-	1.200	+	1.809	+	1.697	= 11.6 m ²

(4) 合 計

$$\Sigma A = 7.2 + 11.6 + 11.6 = 30.4 \text{ m}^2$$

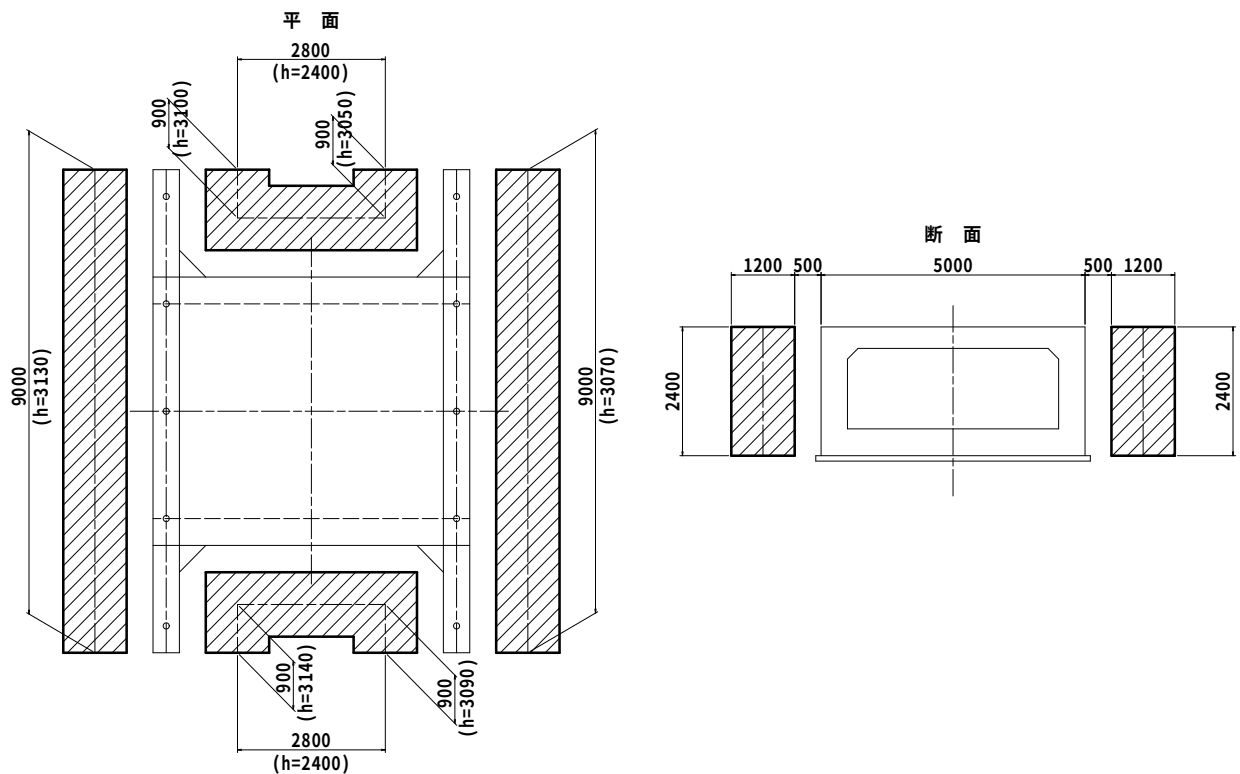
3. 鉄 筋 (SD345)

D13	・・・	0.388 t
合 計		0.388 t

※下流側ウイング配筋図より

§ 4. 仮 設 工

1. 足 場 工 （手摺先行型 枠組足場， $H \leq 30\text{m}$ ）

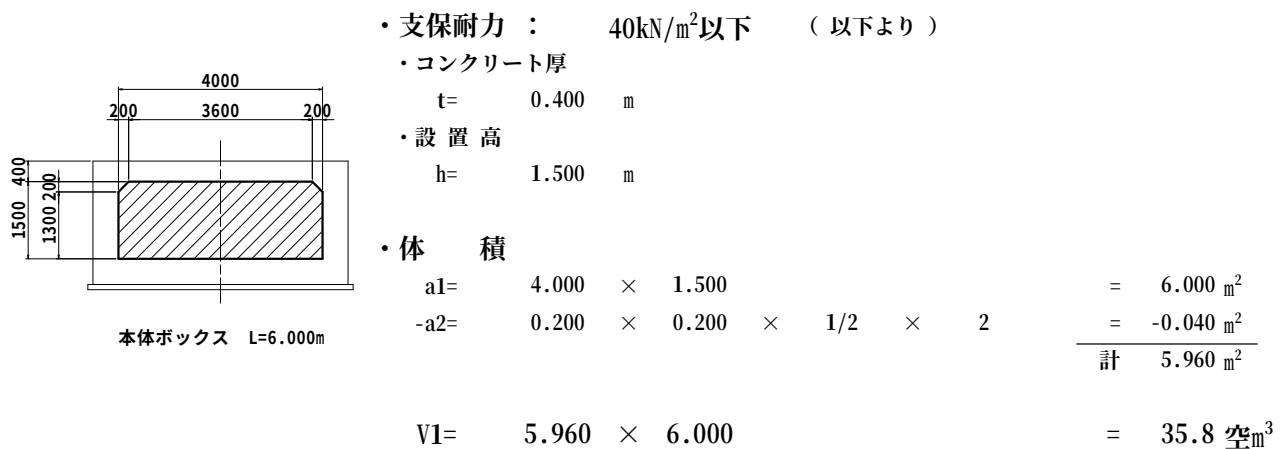


$$\begin{aligned}
 A = & 9.000 \times 3.130 + 0.900 \times 3.100 + (2.800 + 2.800) \times 2.400 \\
 & + 0.900 \times 3.050 + 9.000 \times 3.070 + 0.900 \times 3.090 \\
 & + 0.900 \times 3.140 \\
 = & 80.4 \text{ 掛m}^2
 \end{aligned}$$

2. 支 保 工

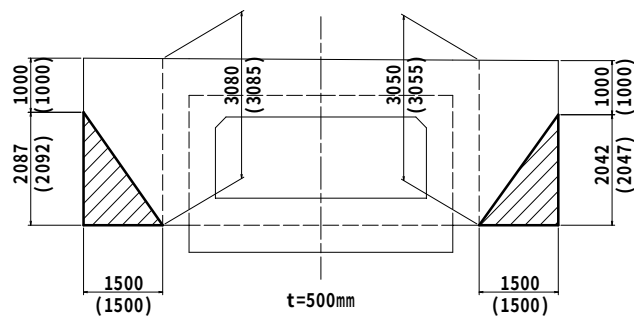
2-1. パイプサポート支保工 ($H < 4.0\text{m}$)

(1) 本体函渠内 (40kN/m^2 以下)



2-2. くさび結合支保工 ($h \leq 30\text{m}$)

(1) 上流側ウイング (40kN/m^2 を超え 80kN/m^2 以下)



※ ()内は内側の寸法を表す。

・左 側

・支保耐力 : (40kN/m^2 を超え 80kN/m^2 以下)

$$\begin{aligned} V &= 2.041 \times 1.500 \times 0.500 &= 1.531 \text{ m}^3 \\ W &= 1.531 \times 24.5 &= 38 \text{ kN} \\ A &= 1.500 \times 0.500 &= 0.750 \text{ m}^2 \\ P &= 38 / 0.750 = 50.7 \text{ kN/m}^2 &= 51 \text{ kN/m}^2 \end{aligned}$$

・コンクリート厚 (平均)

$$t = (1.000 + 3.080 + 1.000 + 3.085) \times 1/4 = 2.041 \text{ m}$$

・設置高 (平均)

$$h = (2.087 + 0.000 + 2.092 + 0.000) \times 1/4 = 1.045 \text{ m}$$

・体 積

$$\begin{aligned} a1 &= (2.087 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.565 \text{ m}^2 \\ a2 &= (2.092 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.569 \text{ m}^2 \\ V1 &= (1.565 + 1.569) \times 1/2 \times 0.500 &= 0.8 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・右 側

・支保耐力 : (40kN/m^2 を超え 80kN/m^2 以下) (以下算式より)

$$\begin{aligned} V &= 2.026 \times 1.500 \times 0.500 &= 1.520 \text{ m}^3 \\ W &= 1.520 \times 24.5 &= 37 \text{ kN} \\ A &= 1.500 \times 0.500 &= 0.750 \text{ m}^2 \\ P &= 37 / 0.750 = 49.3 \text{ kN/m}^2 &= 49 \text{ kN/m}^2 \end{aligned}$$

・コンクリート厚 (平均)

$$t = (1.000 + 3.050 + 1.000 + 3.055) \times 1/4 = 2.026 \text{ m}$$

・設置高 (平均)

$$h = (2.042 + 0.000 + 2.047 + 0.000) \times 1/4 = 1.022 \text{ m}$$

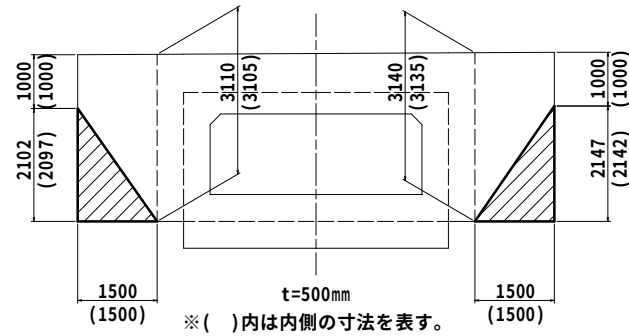
・体 積

$$\begin{aligned} a1 &= (2.042 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.532 \text{ m}^2 \\ a2 &= (2.047 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.535 \text{ m}^2 \\ V2 &= (1.532 + 1.535) \times 1/2 \times 0.500 &= 0.8 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・合 計

$$\Sigma V = 0.8 + 0.8 = 1.6 \text{ m}^3$$

(2) 下流側ウイング (40kN/m²を超え80kN/m²以下)



・左 側

・支保耐力 : (40kN/m²を超え80kN/m²以下) (以下算式より)

$$\begin{aligned} V &= 2.054 \times 1.500 \times 0.500 &= 1.541 \text{ m}^3 \\ W &= 1.541 \times 24.5 &= 38 \text{ kN} \\ A &= 1.500 \times 0.500 &= 0.750 \text{ m}^2 \\ P &= 38 / 0.750 = 50.7 \text{ kN/m}^2 &= 51 \text{ kN/m}^2 \end{aligned}$$

・コンクリート厚 (平均)

$$t = (1.000 + 3.110 + 1.000 + 3.105) \times 1/4 = 2.054 \text{ m}$$

・設 置 高 (平均)

$$h = (2.102 + 0.000 + 2.097 + 0.000) \times 1/4 = 1.050 \text{ m}$$

・体 積

$$\begin{aligned} a1 &= (2.102 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.577 \text{ m}^2 \\ a2 &= (2.097 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.573 \text{ m}^2 \\ V1 &= (1.577 + 1.573) \times 1/2 \times 0.500 &= 0.8 \text{ 空m}^3 \end{aligned}$$

・右 側

・支保耐力 : (40kN/m²を超え80kN/m²以下) (以下算式より)

$$\begin{aligned} V &= 2.069 \times 1.500 \times 0.500 &= 1.552 \text{ m}^3 \\ W &= 1.552 \times 24.5 &= 38 \text{ kN} \\ A &= 1.500 \times 0.500 &= 0.750 \text{ m}^2 \\ P &= 38 / 0.750 = 50.7 \text{ kN/m}^2 &= 51 \text{ kN/m}^2 \end{aligned}$$

・コンクリート厚 (平均)

$$t = (1.000 + 3.140 + 1.000 + 3.135) \times 1/4 = 2.069 \text{ m}$$

・設 置 高 (平均)

$$h = (2.147 + 0.000 + 2.142 + 0.000) \times 1/4 = 1.072 \text{ m}$$

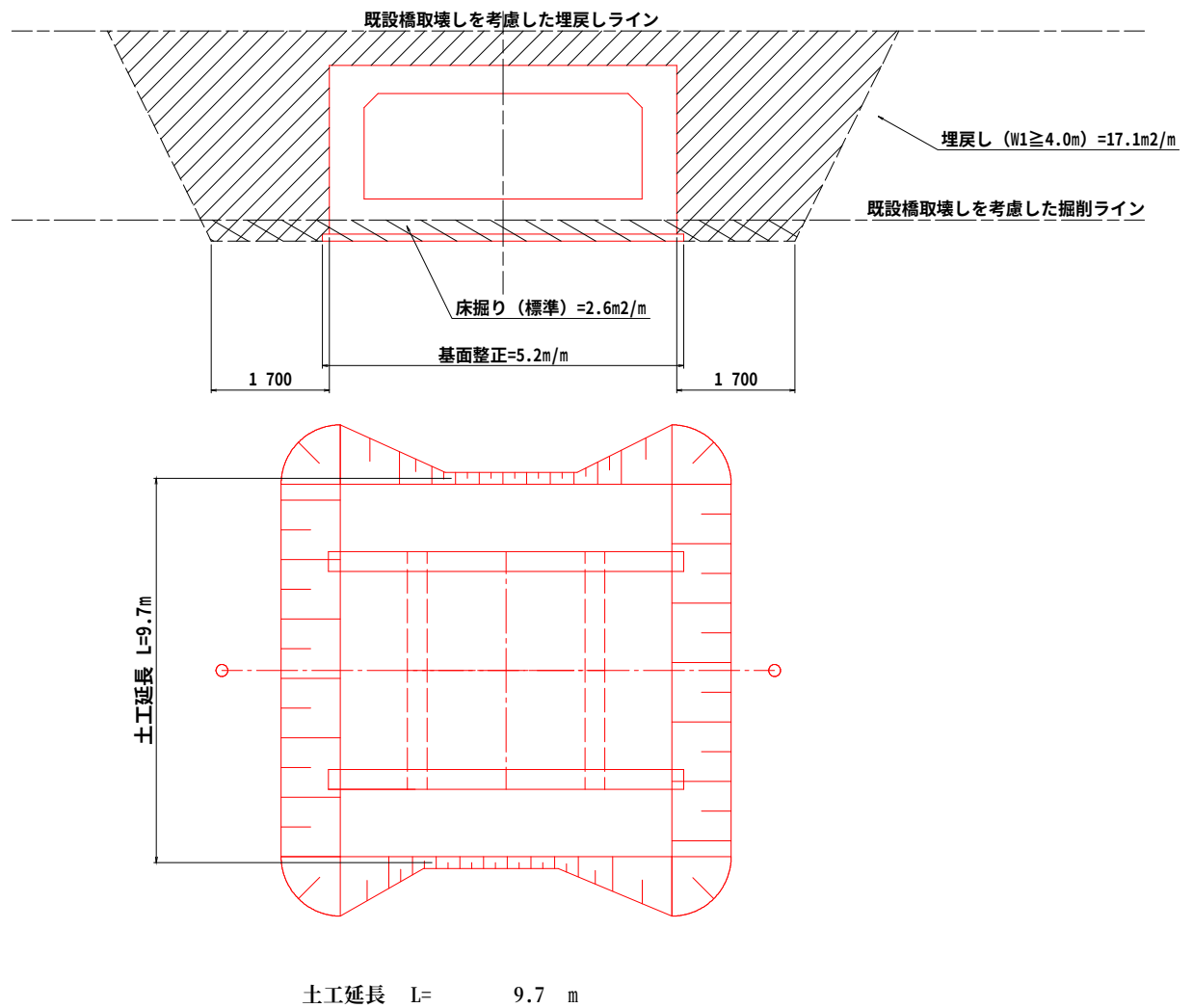
・体 積

$$\begin{aligned} a1 &= (2.147 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.610 \text{ m}^2 \\ a2 &= (2.142 + 0.000) \times 1/2 \times 1.500 &= 1.607 \text{ m}^2 \\ V2 &= (1.610 + 1.607) \times 1/2 \times 0.500 &= 0.8 \text{ 空m}^3 \end{aligned}$$

・合 計

$$\Sigma V = 0.8 + 0.8 = 1.6 \text{ 空m}^3$$

§ 5. 作業土工



1. 床掘り (標準)

$$V = 2.6 \times 9.7 = 25.2 \text{ m}^3$$

2. 埋戻し (W1≥4.0m)

$$V = 17.1 \times 9.7 = 165.9 \text{ m}^3$$

3. 基面整正

$$A = \text{均しコンクリート数量より} = 28.1 \text{ m}^2$$

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 舗装工

[illegible]

レベル2(工種) 排水構造物工

[illegible]

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 道路撤去工

[illegible]

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 仮設工

[illegible]

4. 橋梁撤去工

4.1 数量総括表

工 種	数量区分		単位	数 量	備 考
橋梁撤去工	AS舗装破碎工	面積	m ²	31.5	バックホウ使用、t=50mm<推定>
		体積	m ³	1.6	
	AS舗装	殻運搬工	m ³	1.6	
		産業廃棄物処理	t	3.8	
	高欄撤去		m	14.0	25t吊ラフテレーンクレーン使用
	撤去鋼材運搬工、産廃処理		t	0.2	
	桁1次切断・撤去・運搬処理		t	15.5	25t吊ラフテレーンクレーン使用
	撤去鋼材運搬工、産廃処理		t	15.7	スクラップ
	水管橋台座・旧橋上部工地覆コンクリート撤去		m ³	0.6	人力取壊し
	下部工コンクリート撤去		m ³	25.6	油圧ブレーカー使用
	水管橋台座・旧橋上部工地覆コンクリート・下部工コンクリート殻運搬工		m ³	26.2	有筋
	水管橋台座・旧橋上部工地覆コンクリート・下部工コンクリート産業廃棄物処理		t	65.5	有筋
	旧橋地覆取壊し		m ³	0.1	人力取壊し
	旧橋床版取壊し		m ³	4.4	油圧ブレーカー使用
	旧橋上部工運搬工		m ³	4.5	有筋
	産廃処分		t	11.3	有筋
	旧橋高欄取壊し		m ³	0.1	有筋
	旧橋下部工コンクリート撤去		m ³	17.1	油圧ブレーカー使用
	旧橋護岸コンクリート撤去		m ³	3.2	油圧ブレーカー使用
	旧橋下部工・護岸コンクリート殻運搬工		m ³	20.3	有筋
	産業廃棄物処理		t	50.8	有筋
	床掘工		m ³	98.0	バックホウ使用
	大型土のう仮締切		袋	13.0	1.0mx1.0mx1.0m 25t吊ラフテレーンクレーン使用
	単管足場		掛m ²	22.8	シート防護
	水替工		箇所	2.0	(ポンプ排水据付・撤去 口径150)

4.2 数量計算

(1) AS舗装破碎工 (バックホウ使用、t=50mm<推定>)

・面積

$$\begin{array}{rcll} A & = & 4.500 \times 7.000 & \\ \hline & & & = 31.5 \text{ m}^2 \\ & & A & = 31.5 \text{ m}^2 \end{array}$$

・体積

$$\begin{array}{rcll} V_1 & = & 31.500 \times 0.050 & \\ \hline & & & = 1.58 \text{ m}^3 \\ & & V & = 1.6 \text{ m}^3 \end{array}$$

・重量

$$\begin{array}{rcll} W & = & 1.6 \times 2.35 & \\ & & & = 3.8 \text{ t} \end{array}$$

(2) AS舗装殻運搬工 (10t積ダンプトラック使用)

・面積

$$\begin{array}{rcll} A & = & 4.500 \times 7.000 & \\ \hline & & & = 31.5 \text{ m}^2 \\ & & A & = 31.5 \text{ m}^2 \end{array}$$

・体積

$$\begin{array}{rcll} V_1 & = & 31.500 \times 0.050 & \\ \hline & & & = 1.58 \text{ m}^3 \\ & & V & = 1.6 \text{ m}^3 \end{array}$$

・重量

$$\begin{array}{rcll} W & = & 1.6 \times 2.35 & \\ & & & = 3.8 \text{ t} \end{array}$$

(3) 高欄撤去 (25t吊ラフテレーンクレーン使用)

$$\begin{array}{rcll} L_1 & = & 7.000 \times 2 & \\ \hline & & & = 14.00 \text{ m} \\ & & L & = 14.0 \text{ m} \end{array}$$

・重量

$$\begin{array}{rcll} W & = & 90.0 \times 2 / 1000 & \\ & & & = 0.2 \text{ t} \end{array}$$

(4) 床版・主桁ボルトガス切断 (M16)

・本数

$$\begin{array}{rcll} \text{床版}N_1 & = & 410 & \\ \text{主桁}N_2 & = & 24 & \\ \hline & & & = 410 \text{ 本} \\ & & & = 24 \text{ 本} \\ & & N & = 434 \text{ 本} \end{array}$$

・延長

$$\begin{array}{rcll} L_1 & = & 410 \times 0.016 & \\ L_2 & = & 24 \times 0.016 & \\ \hline & & & = 6.56 \text{ m} \\ & & & = 0.38 \text{ m} \\ & & L & = 6.9 \text{ m} \end{array}$$

(5) 支承アンカーボルトガス切断 (φ16)

・本数

$$\begin{array}{rcll} A1 & = & 3 & \\ A2 & = & 3 & \\ \hline & & & = 3 \text{ 本} \\ & & & = 3 \text{ 本} \\ & & L & = 6 \text{ 本} \end{array}$$

・延長

$$\begin{array}{rcll} L_1 & = & 3 \times 0.016 & \\ L_2 & = & 3 \times 0.016 & \\ \hline & & & = 0.05 \text{ m} \\ & & & = 0.05 \text{ m} \\ & & L & = 0.1 \text{ m} \end{array}$$

(6) 上部工撤去重量 (25t吊ラフテレーンクレーン使用)

$$W = 15455 / 1000 = 15.5 \quad t$$

(単位: kg)

材種	材 質	形 状	3号橋	総計
PL		9	2	2
		6	6	6
PL 集計			8	8
H		350*350*12*19	5670	5670
		300*300*10*15	930	930
		200*200*8*12	8733	8733
H 集計			15333	15333
RB		16 φ	2	2
HTB		M 16	108	108
NUT		M 16	2	2
WASH		M 16	2	2
加工重量 集計			15455	15455
総計			15455	15455

(7) 水管橋撤去 φ230 (25t吊ラフテレーンクレーン使用)

・延長

$$L_1 = 7.500 + 0.600 \times 2 = 8.700 \quad m$$

$$L = 8.7 \quad m$$

・重量 ※PIPEφ216.3*8.2の単位重量採用

$$W = 8.7 \times 42.1 / 1000 = 0.4 \quad t$$

・ガス切断延長

$$L_1 = \pi \times 0.230 \times 2 = 1.45 \quad m$$

$$L = 1.4 \quad m$$

(8) 撤去鋼材運搬工、産業廃棄物処理

$$W = (15.5 + 0.2 + 0.4) = 16.1 \quad t$$

(9) 水管橋台座・旧橋上部工地覆コンクリート撤去 (人力取壊し)

・体積

$$\begin{aligned} V_1 &= 0.600 \times 0.600 \times 0.600 \times 2 &= 0.43 &\text{m}^3 \\ V_2 &= 0.190 \times 0.190 \times 0.320 \times 3 &= 0.03 &\text{m}^3 \\ V_3 &= 0.120 \times 0.195 \times 4.000 &= 0.09 &\text{m}^3 \\ \hline V &= 0.6 &&\text{m}^3 \end{aligned}$$

・重量

$$W = 0.6 \times 2.5 = 1.5 \text{ t}$$

(10) 下部工コンクリート撤去 (油圧ブレーカー使用)

・体積 ※図面より

$$\begin{aligned} V_1 &= 2.708 \times 5.000 &= 13.54 &\text{m}^3 \\ V_2 &= 2.402 \times 5.000 &= 12.01 &\text{m}^3 \\ \hline V &= 25.6 &&\text{m}^3 \end{aligned}$$

・重量

$$W = 25.6 \times 2.5 = 64.0 \text{ t}$$

(11) 水管橋台座・旧橋上部工地覆コンクリート・下部工コンクリート殻運搬工、産業廃棄物処理工

$$V = 0.6 + 25.6 = 26.2 \text{ m}^3$$

$$W = 1.5 + 64.0 = 65.5 \text{ t}$$

(12) 旧橋主桁玉掛け用吊孔コア削孔工 (ϕ 100)

※小型のRC桁であるため床版用の吊孔径を採用

※断面をワイヤーで囲うことが可能である場合、吊孔数やサイズを調整すること。

・延長 削孔長

$$\begin{aligned} L_1 &= 2 \times 2 \times 6 \times 0.320 &= 7.680 &\text{m} \\ \hline L &= 7.7 &&\text{m} \end{aligned}$$

(13) 旧橋上部工コンクリート撤去 (25t吊ラフテレーンクレーン使用)

・体積 ※図面より

$$\begin{aligned} V_1 &= 0.882 \times 5.000 &= 4.4 &\text{m}^3 \\ \hline V &= 4.4 &&\text{m}^3 \end{aligned}$$

・重量

$$W = 4.4 \times 2.5 = 11.0 \text{ t}$$

(14) 旧橋上部工運搬工

$$V = 4.4 = 4.4 \text{ m}^3$$

(15) 旧橋下部工コンクリート撤去 (油圧ブレーカー使用)

・体積 ※図面より

$$\begin{aligned} V_1 &= 1.745 \times 4.900 &= 8.55 &\text{m}^3 \\ V_2 &= 1.745 \times 4.900 &= 8.55 &\text{m}^3 \\ \hline V &= 17.1 &&\text{m}^3 \end{aligned}$$

・重量

$$W = 17.1 \times 2.5 = 42.8 \text{ t}$$

(16) 旧橋護岸コンクリート撤去 (油圧ブレーカー使用)

・体積 ※図面より

$A_1 = 5.256 \times 0.300 \times 2$	$= 3.2 \text{ m}^3$
	$V = 3.2 \text{ m}^3$

・重量

$W = 3.2 \times 2.5$	$= 8.0 \text{ t}$
----------------------	-------------------

(17) 旧橋下部工殻運搬工、産業廃棄物処理工

$V = 17.1 + 3.2$	$= 20.3 \text{ m}^3$
------------------	----------------------

$W = 42.8 + 8.0$	$= 50.8 \text{ t}$
------------------	--------------------

(18) 床掘 (バックホウ使用、河川内は人力)

・体積 ※図面より

$V_1 = 3.750 \times (1.700 \times 2 + 1.500 \times 2 + 6.000)$	$= 46.5 \text{ m}^3$
$V_2 = 0.339 \times 7.400$	$= 2.5 \text{ m}^3$
$V_3 = 3.750 \times (1.700 \times 2 + 1.500 \times 2 + 6.000)$	$= 46.5 \text{ m}^3$
$V_4 = 0.339 \times 7.400$	$= 2.5 \text{ m}^3$
	$V = 98.0 \text{ m}^3$

(19) 大型土のう 1.0mx1.0mx1.0m (25t吊ラフテレーンクレーン使用)

$N_1 =$	$= 13 \text{ 袋}$
	$N = 13 \text{ 袋}$

(20) 単管足場 (シート防護)

$V_1 = 5.700 \times 2.000 \times 2$	$= 22.8 \text{ 掛m}^2$
-------------------------------------	-----------------------

(21) 水替工 (ポンプ排水据付・撤去 口径150)

$N =$	$= 2.0 \text{ 箇所}$
-------	--------------------

材料計算書

(単位:mm,kg)

3号橋 床版											
員数	部材名	材種	断 面	長 さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
35	DECK	H	200* 200* 8* 12	5000	49.9	249.5	8733				
10	CONN	PL	45* 6	145	2.120	0.261	3		85		
10	CONN	PL	95* 6	75	4.475	0.336	3				
410		HTB	M 16* 70			0.249	102				
床版							8841 kg				
3号橋 主梁											
員数	部材名	材種	断 面	長 さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
6	GIRDER	H	350* 350* 12* 19	7000	135	945	5670				
24		HTB	M 16* 70			0.249	6				
主梁							5676 kg				
3号橋 橋台											
員数	部材名	材種	断 面	長 さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
1	ABUT	H	300* 300* 10* 15	5000	93.0	465	465				
3		RB	16 φ	160	1.58	0.253	1				
3		WASH	M 16			0.011	1				
3		NUT	M 16			0.034	1				
3		PL	50* 9	50	3.533	0.177	1				
橋台							469 kg				
2@ 橋台							938 kg				
3号橋 防護柵											
員数	部材名	材種	断 面	長 さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
1	GUARD	PIPE	60.5* 3.2	7000	4.52	31.7	32				
5	GUARD	PIPE	60.5* 3.2	1172	4.52	5.30	27				
4	GUARD	PIPE	60.5* 3.2	1700	4.52	7.69	31				
防護柵							90 kg				
2@ 防護柵							180 kg				
3号橋							15635 kg				

特記仕様書

工事番号： 2026000744

路線河川名： 押釜・馬場線

工事名： 道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕（押釜・馬場線3号橋）工事

工事施工箇所： 南相馬市原町区馬場字川原田地内

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年10月1日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第20章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第21章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
- ・第22章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
- ・第23章 週休2日確保モデル工事等
- ・第24章 建設キャリアアップシステム活用工事
- ・第25章 ふくしまME資格取得者の現場活用
- ・第26章 法定外の労災保険の付保
- ・第27章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第28章 再生資源利用計画書
- ・第29章 再生資源利用促進計画書
- ・第30章 その他

3 第2章～第3章、第9章～第25章、第29章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※ 福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図面名	図面番号	葉数	適用
平面図	1/22	1	
ボックスカルバート工一般図	2/22	1	
ボックスカルバート工構造図	3/22	1	
ボックスカルバート工配筋図（1）	4/22	1	
ボックスカルバート工配筋図（2）	5/22	1	
ボックスカルバート工配筋図（3）	6/22	1	
上流側ウイング配筋図（1）	7/22	1	
上流側ウイング配筋図（2）	8/22	1	
下流側ウイング配筋図（1）	9/22	1	
下流側ウイング配筋図（2）	10/22	1	

摺付け工構造図	11/22	1	
舗装展開図	12/22	1	
取壊し工構造図	13/22	1	
撤去寸法図 (1)	14/22	1	
撤去寸法図 (2)	15/22	1	
撤去寸法図 (3)	16/22	1	
撤去寸法図 (4)	17/22	1	
撤去寸法図 (5)	18/22	1	
計	全 1 8 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
施工計画図	19/22	1	
撤去ステップ図 (1)	20/22	1	
撤去ステップ図 (2)	21/22	1	
撤去ステップ図 (3)	22/23	1	
水管橋一般図	23/23	1	
計	全 5 葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市土木課

☑第1章 一般共通事項

- 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 5) その他 () | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |

☑2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☐無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

~~□4 河道掘削に伴う工事測量~~

~~——河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。——~~

~~□第2章 フレックス工事~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~——本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。——~~

~~□第3章 準備期間確保工事~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~——本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（○○日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。——~~

☑第4章 総 則

☑1 施工計画書

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

□2 工事用地等の使用

- 1) _____作業に係るヤードとして、別添「_____図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

- 2) 使用にあたっての条件、制限等

□ 3 関連工事

- 1) 工 事 名 : _____
- 2) 路河川名 : _____ 線・筋 _____
- 3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内 _____
- 4) 注意・指示事項 : _____

□ 4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

□ 5 工事現場発生品

- 1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

- 2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

☑ 6 建設副産物処理

- 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- ☑ 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	加藤道路
コンクリート(無筋)	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	小林建設工業
コンクリート(有筋)	(再資源化)・中間・最終)施設へ搬入	小林建設工業

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- ☑ 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

☑ 7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事(工種)の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の

回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☒ 有 ・ ☐ 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	函渠躯体完了時 足場撤去前
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	☒ 有 ・ ☐ 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

2) ②不可視部の工事(工種)とは次のものとする。

- ☐杭基礎、☐場所打杭、☐深礎杭、☐ケーソン基礎、☐地盤改良
- ☐捨石均し、☐被覆・根固め均し、☐井筒潜函基礎、☐山腹基礎床掘
- ☐上層路盤(1,000m²以上の工事)
- ☒現場打ちのボックスカルバート、擁壁(鉄筋 Co)
- ☐橋台・橋脚、☐現場制作 P C 橋、☐床版
- ☐水門・樋門
- ☐ブロック製作、ケーソン製作
- ☐覆工 Co の前段工事
- ☐その他【

】

3) ④その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

- ☐桁の仮組立
- ☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐栈橋
- ☐堰堤 (Co、盛土)
- ☐堰 (工場制作)、ラバーダム
- ☐地盤変動等の影響が予想される掘削
- ☐仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
- ☐仮堤防 (本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
- ☐その他【

】

□ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考

□ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

☑ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要
現場打函渠工	24-12-25(20)BB 55%	
重力式擁壁工	18-8-40BB 60%	

□ 11 用地取得及び支障物件

□ 1) 工事区域内の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

□ 2) 工事支障物件： ☑ 有 ・ □ 無

水管橋 (新設)

【支障物件移転予定時期】 令和8年12月 (□ 上旬 □ 中旬 ☑ 下旬)

☒ 12 工事の履行報告（工程会議）

工事着工後、履行状況については、翌月5日に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☒ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は本工事に2人配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☒ 14 作業工程

1) 全ての 作業は、昼間 とし、時間帯は 8時30分 ～ 17 時までとする。

2) 作業工程における注意事項：

3) 現道の使用規制について

現道は、全面通行止めにより本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☐ 無 _____ 年 月 日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☐ 無 : ~ :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ _____ に適用
する。

□ 15 仮設

☐ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ☐ 無

☐ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

☐ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： 数量等：

存置期間：

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計 上	実施する	実 施 す る 内 容
-----	------	-------------

費 目	項 目 数	(率 計 上 分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 昇降設備の充実 ② 環境対策の充実 ③ ICT 設備の充実 ④ 作業負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舎の充実 ③ 現場休憩所の充実 (交通誘導警備員待機室を含む) ④ 衛生設備・厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設の充実 ② 盗難防止対策 ③ 結構関連施設の充実 ④ 野生生物・害虫対策等
地域連携	()	① 広報活動等 (完成予想図、パンフレット、工法説明、PR 看板等) ② 見学会・イベント等の開催 (見学施設等設置・管理運営等含む) ③ 社会貢献・地域対策経費等 (地域行事等の経費含む) ④ 現場景観向上 (美装化・デザイン看板等)

☑ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験 (及びタンクリーチング試験) を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(六価クロム溶出試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(タンクリーチング試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

□第5章 材 料

□ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□ 2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

- 2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第6章 一般施工

☑ 1 建設発生土の処理

- 1) 他工事への流用: □ 有 ・ □ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____ km

☑2) 搬出先

受入場所： 南相馬市原町区下渋佐字赤沼 333 地内

運搬距離 12.8 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□2 他工事からの流用土

□1) 他工事からの流用： □ 有 ・ □ 無

① 工事名： _____ 路河川名： _____

② 指定・施工場所： _____ 市・郡 _____ 町・村 _____ 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無： □ 有 ・ □ 無 (_____ km)

④ 品 質： _____

品質の確認試験 (_____) については、 _____ で実施する。

☑3 購入土等

☑1) 購入土等の有無： ☑ 有 ・ □ 無

☑2) 購入土等の種類： ☑購入土 ・ □岩ズリ ・ □その他 (_____)

□3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□4 建設汚泥（泥土）の処理

□1) 汚泥（泥土）は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。

□2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。

□3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。

なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

□4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

☑5 レディーミクストコンクリートの養生

☑1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の□印のとおり。

コンクリート種別	☐ 普通ポルトランドセメント
	☒ 高炉セメント B 種 1) ☐ 混合セメント B 種 ☐ フライアッシュセメント B 種 ☐ シリカセメント B 種
	☐ 早強ポルトランドセメント
気象条件	☐ 暑中コンクリート(日平均気温が25℃を超える場合)
	☐ 寒中コンクリート(日平均気温が4℃以下になる場合) ☐ 連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態 水で飽和される部分 2) ☐ 普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

□ 6 塗装工

- 1) 塗装回数は下塗____回、中塗____回、上塗____回とする。
□ 2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り 1 層		
	下塗り 2 層		
現場塗装	中塗り 1 層		
	中塗り 2 層		
	上塗り 1 層		
	上塗り 2 層		

- 3) 素地調整(ケレン)は____とする。
□ 4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

☑ 7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

- ☑ 1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。
□ 2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

☑ 第 7 章 その他施工

☑ 1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考
仮設工	仮設排水管(高密度ポリエチレン管)φ600	

□ 2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□ 3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□ 4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満	1,500	
第 4 種第 1 級			
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□ 5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□ 6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第8章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のㄥ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ☐① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ☐② 右利き、左利きに対応した施設
- ☐③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ☐④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ☐⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ☐⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ☐⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ☐⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ☐⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ☐⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ☐⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ☐⑫ プライバシーに配慮された施設
- ☐⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ☐⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ☐① 使い方を直感的に理解できる施設
- ☐② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ☐③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ☐⑦ 四季を通じて安全な施設
- ☐⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ☐① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐第9章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- ☐1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- ☐2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

☐第10章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

☐第11章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、△△工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所○○）とする。）

☐第12章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第13章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事の発注方式は (□受注者希望型 ・ □発注者指定型) である。

□2 ICT活用工事(土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工等)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工)」の対象工事である。

□3 ICT活用工事(舗装工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(舗装工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(舗装工)」の対象工事である。

□4 ICT活用工事(浚渫工(港湾))

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(浚渫工(港湾))」の対象工事である。

□5 ICT活用工事(土工1,000m³未満)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工1,000m³未満)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工1,000m³未満)」の対象工事である

□6 ICT活用工事(小規模土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(小規模土工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(小規模土工)」の対象工事である。

☑第14章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第15章 「総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

——(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)——

□第16章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：●日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和●年～●年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したもの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

3 基準とする気象庁の気象観測所は施工現場によって次のとおりとする。

i) 施工現場が小高区の場合 「浪江」

ii) 施工現場が鹿島区及び原町区の場合 「相馬」

~~第17章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~第18章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~——本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~——記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事
令和○年○月○日まで 時間帯○:○○～○:○○
河川(交付)工事(開削)
発注者 福島県○○建設事務所 ○○課 施工者 ○○○○建設株式会社 電話 ○○-○○○○-○○○○

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

第19章 電子納品

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~電子納品保管管理システムへのオンライン納品は、電子媒体納品書を監督員に提出し、成果品が登録済みであることの確認を受けることで完了とする。~~

第20章 情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報共有システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電子媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、「南相馬市建設工事情報共有システム実施要領」によること。

第2-1章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舎の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

第2-2章 快適トイレの設置

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページ『快適トイレの設置について』『土木部発注工事における快適トイレの設置に関する運用』を参照のこと)~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。当初設計においては、~~

~~□ 快適トイレ □ 快適トイレ男女一体型（ハウス型）~~

~~設置基数：__○__基 設置期間：__○__月として計上している。~~

~~現場に快適トイレを設置しない場合は、発注者と協議すること。~~

~~現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、上記設置基数以上の快適トイレを設置する場合は、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

~~また、実際に現場へ快適トイレを設置した期間が確認できる資料を監督員に提示すること。~~

第2-3章 週休2日確保モデル工事等

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」「南相馬市発注工事における「週休2日確保モデル工事」試行要領」に定める工事のうち、☑としている箇所の対象工事である。~~

~~☑「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☑月単位 □完全週休2日~~

~~□「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 □月単位 □完全週休2日~~

~~なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「完全週休2日」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。~~

~~また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。~~

第2.4章 建設キャリアアップシステム活用工事

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~

~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~

~~（※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）~~

第2.5章 ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

第2.6章 法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第2.7章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

（1）大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

（2）震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、

FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

第28章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第29章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書(※技術管理課ホームページ参照)の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。(※試行要領は技術管理課ホームページ参照)

4 受注者は、土壤汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第30章 その他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

(2) 撤去橋の脇に水管橋添架されており、水道課との協議により新規水管橋工事発注を水

道課で予定しているが、水管橋が新設される間については当工事を着手できない。

水道課とは工事発注時について常時確認をとり、当工事受注者には周知する。

(3) 本工事については、全面通行止めによる工事となるため、付近住民にはチラシ等の配布により工事の内容を十分に周知すること。なお、道路通行止め機関については水管橋工事も考慮すること。

(別紙様式)

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇 行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇-41300-〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事	
場 所	市	地内
請負者	〇〇〇〇〇(株)	
現場代理人	〇〇〇〇	
点検日時 (24時間表示)	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
点検項目	異常の有無	
○現場内の状況		
・法面の崩壊	無し	
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)	
・法面からの湧水	無し	
・路面の陥没	無し	
・仮設の設置状況	無し	
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し	
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し	
・河川、水路の水位の上昇状況	無し	
・土石流の発生	無し	
・地すべりの発生	無し	
○現場周辺の状況		
・法面の状況	無し	
・路面の状況	無し	
・流末排水の状況	無し	
・雨量計の読み取り	000 mm	
・土石流危険渓流の状況	無し	
・砂防指定地の状況	無し	
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し	
・地すべり危険区域の状況	無し	
・その他異常の有無	無し	
処置内容		
・No. 0～No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。		

